滿洲日報
夕刊
十一月十四日

濱口首相狙撃され出血甚しく危篤狀態

けさ東京驛ホームで

犯人は愛國社同人

（東京十四日發電通）濱口首相は十四日午前九時東京驛發列車にて岡山縣下に於て行はれる秋季大演習陪觀のため西下すべく同八時五十七分驛プラットホームに入つたとき何ものかのため狙撃され首相は大腿部に近き腹部を撃たれその場に倒れたので直ちに鐵道從業員の手で驛長室に運び込まれたが出血甚だしく重態である、犯人は日比谷署の中村高等主任にその場で逮捕されたが、長崎縣東彼杵郡彼杵村生れで當時東京市赤坂區田町二ノ一三松本義雄方居住東京市麴町區永田町愛國社なる右翼政治團體の同人佐郷屋留雄（二三）なるものであることが判明し警視廳に押送された（寫眞は濱口首相）

聖上陛下に容體上奏

【東京十四日發電通至急報】岡山行幸中の聖上陛下に對し奉り濱口首相の容體につき政府より左の如く上奏方を打電した
午前十時十分衝動のため脈搏惡しかりしも輸血の結果脈搏良好に向ひ意識亦明瞭となる

危險狀態に陷り輸血

（東京十四日發電至急報）濱口首相は愈々危險狀態となり輸血を行つた

出血を防ぎ彈丸摘出に努む

【東京十四日發電通至急報】濱口首相狙撃個所は腹部と大腿部の中間で貫通せず留まつてゐる、兇器はモーゼル拳銃で彈は下腹部に留まつてゐるので、林病院長その他驅けつけ多數の醫師の手で出血を防ぎ彈丸の摘出に努めてゐるが首相は非常に苦悶してゐる

帝大鹽田外科に運ぶ

【東京十四日發電通至急報】濱口首相はリンゲル氏液の注射をなした後更に輸血を行ひ元氣回復に努めてゐる、尙ほ鹽田博士の手にて驛長室にて彈丸摘出をなした上十一時半寢臺車にて帝大鹽田外科に運ばれた

景氣を恢復さすため

犯人の自白した犯行動機

【東京十四日發電通至急報】犯人の自白する處に依れば現内閣の存續は不景氣を益々深刻にするので濱口首相さへ倒せば景氣を回復し得るものと信じて行つたものである

稻田博士談

内出血がひどい 何んともいへぬ

【東京十四日發電通至急報】濱口首相の應急手術は午前十一時大體終了したが濱口首相を診察した稻田博士は語る

走馬燈

一記者

濱口首相

史記に刺客列傳あり、曹沫、專諸、豫讓、聶政、荊軻の徒を擧ぐ。明治維新以來、わが要路者の劍に斃るゝもの甚だ多し。井、安藤、大久保、大隈、板垣降りては星、原の如き、あるひは死し、あるひは死を免るといへども、危險千萬なりといはざるべからず。

◇濱口首相、けさ東京驛構内にて狙擊さる。匕首にあらざるは從來、刺客の傳統を破り、歐米化せるものといふべきか。大隈の爆彈におけるに比し、規模の小なるものといはざるべからず。

◇濱口首相、その德望において近來、稀に見るところの首相といはざるを得ぬ。これ封建時代と憲法政治、政黨政治の今日とを混淆したものといはざるべからず。輿論政治の時代にありては、政策の是否善惡を議政壇上において決せればならぬ。一人の存否よく政治の大勢を左右し得るものぞ。然るを「濱口を斃せば」などの觀念は、すくなくとも時代錯誤たるを免るべからず。慷慨悲憤、たゞ「濱口首相さへ斃せば景氣は回復し得るもの」と信ずるに至つては沙汰の限りはる。容貌魁偉、青年時代よりライオンを以て許さる。必ずしも風丰のみにあらざるものゝ如し。その行藏またライオンの如く男性的、默々として勇往邁進、時に或は大に獅子吼せんと欲す。しかも彼に些の驕慢の相なく、而して今朝の難に會ふ、惜しまざるべからず。

◇ロンドン海軍條約の樞府に議せらるゝや、濱口首相は刻苦勉勵ついに樞府の人々を屈伏せしめたり。五億八百萬圓の海軍計畫剩餘金は一億三千四百萬圓を國民負擔の輕減に、而して三億七千四百萬圓を補充計畫に振り向くべく決定し、來る第五十九議會に臨むべき準備も出來、岡山縣下の大演習を陪觀すべく、出發せんとする刹那であつたのである。

◇この上は、たゞ、あらゆる手段方法を盡して首相の生命を延長し、快癒せしめることである。而して國民は擧つて濱口首相の遭難に會し緊褌一番、不景氣突破、失職苦打開に努力せねばならぬ。

遭難模樣

スワと驚愕した刹那 首相、崩るゝ如く倒る

拳銃の爆音とともに卷き起された大混亂

創は貫通して居らぬ腹膜及び腸の方に可なり重傷あり内出血甚だしく兎に角動かせぬ一命の點は何とも云へぬ重傷たるは勿論である

【東京十四日發電通】岡山縣下に於ける陸軍大演習陪觀のため濱口首相は今朝九時東京驛發超特急「燕」にて西下すべく午前八時五十五分東京驛着驛長室に小憩の上八時五十七分プラットホームに入るべくホーム出入口の階段からホームに步を移した其の時幣原外相は既にホームに入り濱口首相はその後に次ぎ首相の直前には吉田驛長と藤原巡査が行き首相の後には中島秘書官が喰つ附いて居りその後に二、三間おいて澤衆議院議長が行き後には黨員や新聞記者が隨行したが首相は階段を離れ十五、六間行きホームに橫附けられた七番車の前まで行つた時突如拳銃の爆音起り「スワ」と一同驚愕した時首相は最早やホームの上に崩るゝ如く坐り込み顏色は見るく蒼白と化し泡を吹き俯むいて倒れんとし驅けつけた黨員はこれを抱き上げて驛長室に入れ直に築地林病院より院長看護婦を招き手當を行つたが負傷個所は右下腹部大腿骨に近く彈丸は下腹に留まつて居り首相は驛長室に連れ込まれた時は周圍の者と話をしてゐたが次第に元氣を失ひ醫師の驅けつけた時は餘程苦悶してゐた、斯くて九時半首相夫人が驅けつけ來つた、犯人は木綿の絣に小倉袴を穿ち朴齒の下駄を履きホームの反對側の群衆中に紛れ込んでゐた

現場目擊者の談

マグネシウムかと最初の内は思つた

【東京十四日發電通】首相狙擊現場に居合はせた目擊者の談
今朝八時五十五分首相は多數の黨員等に取り卷かれホームに入つたホームは恰度廣田ロシア大使出發の際とて混雜して居た首相はこの間を縫つて私服や黨員等に守られ自分の乘る汽車の約一間半前に達した時車の反對側から餘り强くない爆音が聞かれ寫眞班のマグネシュームに思つてゐたところその刹那首相はホームの上に坐り込んでしまつた、そしてウーンとさもくるしさうな聲を發した周圍の人が駈付けた時は首相は片手をホームの上に突き片手をもつて創口を押へ一方中村警部は犯人を物色しそつと捕へんとしつかく二、三步進んだ時犯人はピストルを右手に持ち更に二發目をやつて來た、その時中村警部が捕へた、更に囑崎刑事が後から犯人を押へ二人して犯人をホームに押へ附けたのであつた

「男子の本懷」と獨語

◇—鈴木翰長語る

【東京十四日發電通】鈴木翰長は語る
私も首相と共に九時二分前頃列車に乘らうとしてゐたが突然の銃聲にて首相は腹を搗いた、その犯人は警官のため捕へられ私は首相を抱きかゝへ驛長應接室に運んだ、その時總理は「男子の本懷だ」と獨語し自分に對し「今は何時位か」と聞かれたので時間を繰返し報告したが聞き取れなかつたらしい、傍の人が「どうですか」と言ふのを聞いて首相は「大丈夫」と落付た語調であつた、夫れから直ちに都下の外科の大家に來て貰ひ鹽田、近藤、林、眞鍋、入澤その他各方面の大家が續々來て呉れ應急手術の結果大體命に別條なしと認めらるゝに至つたので井上、江木、松田、町田等の閣僚と協議して帝大の鹽田博士に一任することゝなつた

いやな豫感がした

犯人逮捕の中村警部談

【東京十四日發電通】狙擊犯人佐郷屋を逮捕した日比谷署高等主任中村淺太郎氏語る
恰度今日は廣田大使出發とぶつかつてホームは大變な見送へだつた、首相の身邊警戒もこんな都合で非常に氣持が惡かつた、何だか異樣な氣持がしたので自分は首相にくつ附いてゐたが突然廣田大使の出發を見送る集團から萬歲の聲湧き起つたと思ふ間もなくズドンと音がした寫眞班のフラッシュの音と思つてゐると首相がベタリと地べたに坐り同時にピストルを擬した一青年が自分目掛けて血相變へて突進して來たので私は夢中で押へたが同時にワッと群衆が自分の上に押しかぶさつて來たので自分は犯人の上になつたまゝ群衆の下敷となつた、その時犯人は旣にピストルを取落してゐた

狙擊事件檢證

【東京十四日發電通】東京地方裁判所金山檢事正と松阪次席檢事は首相狙擊事件檢證の爲め直に東京驛の現場に急行した

東京驛

警官隊固む

【東京十四日發電通至急報】傷ける濱口首相が驛長室に居る爲め東京驛構内は警官隊で固め殆ど戒嚴令下にある如くである

狙擊犯人身元記事差し止め

【東京十四日發電通】濱口首相狙擊犯人佐郷屋留雄の身許に關する一切の記事の差止め命令を發した

首相の容體

午前十一時

【東京十四日發電通至急報】松田拓相は午前十一時左の如く濱口首相の容態を發表した
次男巖根の血を輸血し經過を見てゐるが脈搏も顏色も大變よくなつた 彈丸は拔けてゐるのかゐないのか判明せぬが本人は拔けてゐると云つてゐるから今少し經過を見た上で帝大鹽田外科に入院せしめるつもりである

十一時卅五分

【東京十四日發電通至急報】手術の衝に當つた東京鐵道病院近藤博士は十一時三十五分首相の容態を左の如く發表した
下腹部臍下一寸中央の場所で銃創を受け腹部稍膨滿、兩足の輪血は々百九十五で輸血後は著しく體々脈搏も回復したが稍々呼吸困難な模樣で意識は明瞭應答も殆んど常の如し

排泄物が出ぬ

【東京十四日發電通至急報】帝大鹽田近藤阿部の諸博士は驛長室に驅附けカンフル及リンゲル注射をなしたが創は腸を破り排泄物が出ない、出血甚だしく首相は「丸は腸を貫き臟の底に留まつてゐるからもう駄目だ」と口ずさんでゐる有樣である

濱口首相は應急手術と輸血を受けた結果非常に意識を回復して來た五時間以內に切開手術を行ふか他の方法を執るかにつき協議中である

松田拓相の談

【東京十四日發電通至急報】濱口首相を帝大鹽田外科に送り込んだ後松田拓相は語る
輸血の結果元氣を回復したが途中車で搖られた爲め多少又元氣がなくなり苦痛を訴へてゐる容體は何ともない

渡邊法相發表

【東京十四日發電通至急報】渡邊法相發表

平田鐵道醫談

【東京十四日發電通】平田鐵道醫

首相の創は重態で意識は明瞭で時間を尋ねたり男子の本懷だと云つゝり漢詩を口ずさんだりして元氣はある、創は臍下半センチ位ゐのところで人指し指の頭位ゐの大きさで貫通してゐるかどうか背部を見ることが出來ぬので分らぬが分盲貫と思ふ出血は內出血である

宇垣陸相急遽歸京

【東京十四日發電通】宇垣陸相は急報を聞き國府津別莊から急遽上京驛長室に濱口首相を見舞つた

幣原外相驛長室に駈込む

【東京十四日發電通】首相と同車し西下すべく列車に乘込んで居た幣原外相は首相の急變に列車を飛び降り首相を擔ぎ込んだ驛長室に駈込み容態を氣遣つてゐる

閣僚等見舞ひ

【東京十四日發電通】江木鐵相、町田農相、小泉遞信次官等は東京驛長室に濱口首相を見舞つた

止宿先の松木事件直後檢束

【東京十四日發電通】犯人佐郷屋の止宿先赤坂區田町二ノ一三松木義雄は事件直後赤坂警察に檢束された

狙擊犯人は大島村の私生兒

原籍には關係者なし

【長崎十四日發電通】濱口首相狙擊犯人の原籍は東彼杵郡彼杵村と判明したが同村役場戶籍面を見るに同人は長崎縣北松浦郡大島村生れの私生兒で一家創立の爲め同村役場に戶籍の屆け出でをなし居るに過ぎず又戶籍面には兄弟等ある樣記載され居るも何れも居所不明で同村には親戚その他の關係者は一人も居ない

愛國社事務所家宅搜索

◇—事件は計畫的か

【東京十四日發電通】事件直後日比谷、赤坂兩警察署員多數は麴町區榮ホテルに急行、十七號室の愛國社事務所を襲ひ厳しく鎖されたドアの鍵を破壞して踏入取調べたが社員は一人も居らず、直にホテル內を隈なく搜査したが何等得るところなく引揚げた、ホテルの言ふところに依れば愛國社員は最近殆ど事務所に出入しなかつたが十日頃から頻繁に出入し出し恰て今回の事を畫策してゐた模樣であり犯人佐郷屋留雄及その止宿先の松木義勝等もこの畫策に參加してゐた模樣である

はるびん丸船客

【門司特電十四日發】十六日入港豫定のはるびん丸船客中主なる者左の如し
市村富久氏（法博、辯護士）、杉浦幸次郞氏（報知新聞記者）、片村少佐、外三郞氏（第三高等學校長）村地正司氏、勝本榮次郞氏、高橋卓氏（奉天軍務校）、信家珍氏（同上）丘襄二氏（實業家）、大瀧幹氏（滿鐵協會委員）、松村光氏（同上）、宮戶繁氏、中村精七郞氏（中村汽船社長）、本間謙吉氏（海軍補佐人）、細川清氏、村木俊次氏、高野氣次郞氏

人事

▲大津義雄（遞信局經理課長）十七日上京の筈
▲脇屋次郞氏（南滿公醫）十四日上り機にて福岡へ
▲高木陸郞氏（中日實業公司副總裁）十四日入港大連丸にて來連
▲澄田賴松氏（彌生高女校長）同上歸連

大觀小觀

◇濱口首相、東京驛に現はれ、プラットホームに斃たる。
◇併し次男巖根君の輸血、效を奏し、意識體力、恢復す。
◇景氣不景氣、一首相の一存にて決すと思ひ込むは幼稚。
◇不景氣は全國民の力を以て之を打開せねばならぬ。
◇併し、この遭難をキッカケに國民が非常の覺悟をなさば不幸中の幸ひである。

天氣豫報

十五日（北の風）晴一時曇

	十一時	昨日最低
大連	一、三	零下三、〇
旅順	三、二	同 四、三
營口	零下六、〇	同 九、五
奉天	同 五、七	同 一二、九
長春	同 八、四	同 一六、〇

滿潮（午前四時卅五分 午後五時卅分）
干潮（午前十一時卅五分 午後十一時卅五分）

本日號外發行

濱口首相狙擊事件に暗然たる旅大知名士

岡山縣下における陸軍秋期特別大演習陪觀の爲め十四日午前九時東京驛頭に立つた濱口首相は白面の一青年佐郷屋某の放つた兇彈によつて下腹部に銃創を蒙り死生線上に彷徨してゐる曩には同じ東京驛頭で原白頭宰相の兇變あり今日再びこの兇事を見るこの報を齎せば旅大知名士は悵然として左の如く語る

濱口を殺さんでも惡者は他に居よう
狂人には手のつけようがない
星ケ浦別邸で　仙石滿鐵總裁談

オレの所にはまだ何等の通知も來てないが濱口を殺さんでも他にまだ惡い者はゐようがのう

可哀想 なことをしたものだ、世間には狂人が幾らもあるからこんなことは常に覺悟もつらうけれど、彈丸が足とか手なら別として腹部であればいろんな副作用を起すから困つたものだ、原が殺されたときも群衆の中から中岡艮一が飛出して短刀を突差した、原がその突差に體を横に避けたので原は腹部を抉られたことになり斃れたが、警察官が如何に嚴重な警戒をしてもやッつけやうと決心してる狂人には方法がないもんぢや、無論

濱口を 狙撃した犯人も群衆の間からピストルを突き出したゞらうが人を殺すには餘程の度胸がいるから親觀前とはいくまい警視總監の責任問題か、それは何人が警視總監であつても狂人がやるときは警戒の方法はないもんだ內閣問題なども斯る際いふべきことでない、わしやそんなことは考へてもゐない、原因か、勿論判らんが犯人が不景氣だからと自白してゐるとすれば、假りにそうでなくともそういふことにならう、若し他から

使嗾し たものがあるとしても、そういはせることにならうといふものだ。◇

同樣に總ての血顏を見てゐた仙石總裁は濱口首相の狙撃事件を聞いて事の意外に驚き且つ落膽した樣樣であるが、記者と語る態度は流石に平常と變らぬ落つきを見せてゐた

あるまい、首相とはつい先達て兩三回お目にかゝつて來たが健康も最近勝れ元氣であつたが、狂人の仕業とは云へ實に殘念なことだ、人も知る通り濱口さんは政治家であつて嘘が絶對に云へない眞面目一方の日本における政治家としては稀に見る大政治家で、個人としての濱口さんには殆ど敵のない人格者である、仙石總裁は公人としての濱口さんは得難い首相とし、私人としては自分の

政治期を前に非常な損害
大平滿鐵副總裁談

濱口首相が東京驛頭で狙撃されたことは實に意外であつた、政治期の總迫して來た今日、首相が負傷したことは民政黨にとつて非常な打擊であらう、議會における豫算の説明なども濱口首相によつて初めてなされるものである、若し首相が議會出席不可能となればその被る

打擊も 決して僅少では

子供の如く思つてゐられたので人一倍に力を落し表面泰然自若として人に接してゐられるも內心では泣いてをられる、勿論濱口さんとの關係が關係であるから假りに輕傷であつても御見舞のため上京されるわけだが重傷であれば滿鐵の豫算なりその他の重大案件が片付けば直に上京御見舞なさることゝ思ふ、兎も角政治期を目の前にして斯る事件を起したことは國家としても非常な損害である

困つた者
土屋高等法院長

實に困つた事だ、譯のわからぬ奴ほど困るものはない、今後は國家の重臣に對しては大いに警戒の必要がある、何も現在の首相や現內閣のなした事でもないのを間違つた考へを起して困つたもの、只管輕傷である事を祈つてゐる

聖上の御許に參る際 この兇行
一層よろしくない
厚東要塞司令官談

眞に困つた事が出來た、われわれは政治的の事は分らぬが、國家の重臣がコンナ事になる事は實に困つた事である、しかも演説中とかその他の場合と違ひ大元帥陛下の御許に參る際として一層よろしくない、簡單で詳細は不明だが大した事でない事を祈る、犯行は時節柄、生活上からとか緊縮とか、就職難とかゝら來た簡單な動機ではないかと思はれる

憂ふべき世相
安岡檢察官長談

先年原首相が東京驛で兇刃で殪れた日より一週間前に私は首相と親しくお目に掛り種々お話を承つたがその際首相は伊藤傳右衛門と白蓮女史の例を欷いて思想問題を歎じたものだが、果して

原首相 は思想問題で斃れた人である、今回濱口首相が兇彈に見舞はれたことも原さんと同じく思想問題より出發してゐるものと私は思ふ、然し濱口首相とも原さんの時と同樣、根柢ある思想的背景があつた譯ではなく單なる淺薄な思想かぶれ、乃至は煽動的なものから生じたものであらうと推察する、何れにしても憂ふべき世相といふべきで、爲政者は餘程

政策の 上に氣を付けなければならぬと思ふ、私は濱口首相を當代稀な偉人だと崇拜してゐる人で氏の遭難は國家の爲め洵に惜むべきものである

滿鐵が見舞電

滿鐵會社及び仙石總裁は濱口首相遭難の報に接し直に首相官邸宛見舞電報を打つた

邦家のため實に遺憾千萬
三浦內務局長談

未だ公報もなく負傷の程度なども詳らかでないが現下內外多事多端の折に國民の總代表たる總理大臣の生命を狙つて危害を加へるなどの事件が突發した事は、何としても國家、國民にとり實に遺憾千萬のことです、この事件によつて今後の政局がどうなるかなどソンな事は兎も角、一日も早く全快されて舊態に復されんことを衷心より祈るのみである

「首相の仕事をしてゐて恨みを受ければ詮なし」
濱口さんは常から覺悟してゐた
大連取引所長　小林和介氏談

東京驛頭において遭難の濱口首相と緣戚關係にある大連取引所長小林和介氏を所長室に訪へば既に急を聞いて馳けつけた見舞客に取卷かれて心配の面持で語る

私の娘 の直子が首相の令息の雄彥君に嫁いでゐるのです、雄彥夫婦は今ニューヨークの日本銀行支店に在勤してゐますが心配してゐるでせう、濱口さんは腹部を撃たれたといふから餘程心配しましたが大腸部と腰部との間ださうですね、命だけは取止めるらしいので安心してゐます、不斷から周圍の人はあんな地位にあるんだから何時どんな危險が迫るか知れないと心配して絶えず注意してゐましたが本人は至つて平氣で、外出の時でも警官が仰々しく警護するのを

嫌つて ゐました、私が東京に居る時よく一緒に汽車に乘つたこともありましたが、そんな時よくある事なので何處からか兇漢が飛び出して來て危害を加へやしないかと考へたりすると私は思はず身慄ひしたものです、然し本人は平氣で常に「自分は眞面目に首相の仕事をしてゐるんだからこれで恨みを受けるなら止むを得ない」とそれ位の覺悟はしてゐました、しかし實に殘念なことです、やつと軍縮條約や難關の豫算も終つてほつとした時ですのにね、あるひは外科療治も案外輕く濟むかも知れません、大藏大臣當時よりもこの頃は大分身體が

丈夫に なつてゐますから思つたよりも早く癒るかも知れませんね、たゞ一刻も早く全治を祈つてゐます

兇彈に傷いた首相の一家

【寫眞】向つて右から令息雄彥氏夫人直子さん、夏子夫人、濱口首相と親族知友

警部の息子を引入れ萬引、窃盜荒し廻る
贓品は賣り飛ばして遊び歩く
稀代の不良少年捕ふ

叔父を賴つて來連した關東廳督府の現職警部の息子をそゝのかし所持金を卷き上げたうへ仲間にひき入れ萬引、窃盜で市中を荒し廻つてゐた稀代の不良少年團が大連署司法係に檢擧された、十三日午後十一時ころ市內逢坂町遊廓を三名の少年が素見してゐるのを大連署司法少年係が

不審に 思ひ本署に引致取調べると、右は住所不定無職岡村貫一(一九)森山安喜(一七)吉村賢次(一七)——假名——といひ、岡村は奉天紅葉町に兩親と暮してゐたが父はピストル密輸で入獄し母は歸國したので本年三月來連、各所で窃盜を働き暗い生活を續けてゐるうち去る十一月初旬、市內浪速館で活動寫眞見物中、住所不定の森山と知り合ひ同じく見物中の吉村が六、七十圓持つてゐるのに目をつけ巧に誘惑して鮮人料理店やカフエーで消費して終つた

無一文 になつた三人は支那宿に轉げ込み岡村が團長格となり青年會館、活動常設館、遍照院、連鎖街、圖書館、各商店などを所嫌はず大膽な萬引や窃みを働き贓品は賣り飛ばして相變らず廓遊びやカフエーで蕩盡し少年とも思はれぬ犯罪を重ねてゐた旨を自白した、なほ吉村少年は父が總督府警部を奉職してをれど家庭は繼母であるため折合ひが惡く、父と相談のうへ現金七十圓を貰ひ大連の叔父を賴つて來連した處を不良團に誘惑されたものである

手に入つた蕃童の教育
支那も眞面目に勉強してゐる
澄田彌生高女校長視察談

臺北において開かれた全國高等女學校長會議に列席、臺灣における教育視察並に厦門、汕頭、香港、上海、南京における教育界を具に見て來た當地彌生高女校長澄田繁氏は十四日入港の大連丸にて歸連したが船中語る

臺北に おける協議會がすんでから私達は本島各地の教育を視察し、本島人蕃童の教化といふ事に特に留意して見て來た、恰度例の霧社事件の最中であの事件の惹起の前日二十五日には私は角板山の蕃舍を視察し引揚げの軍隊と一緒に下山、臺北に歸つて初めて霧社の事件を聞き身ぶるひしたんでしたが私はむしろ蕃童に對する教育ぶりは實に手に入つたもので

本島人 教育の行詰れるに反して同教育の立派さには感動してゐたものでした、それがあんな事件を惹起そうとは思ひませんし意外でしたれ、まあ臺灣における本島人教育はもつと考へる餘地があります、それから厦門、汕頭、香港の學校を見て上海、南京の學校を見たが、新しい若い人達が新興支那の建設と云ふ事に眞面目に勉強してゐるのを隨所で見せつけられて感心してしまひました、劃一教育ではないが襟卷なぞして聽講してゐる生徒も

教鞭を 執つてゐる先生も立派に教育の骨を握つてゐた、亂暴なところもあるが、空氣は熱心なもので北支那に比較して大きなへだゝりがありました、上海では城內の務本女子中學校を見ましたが設備その他もかなりなものです、恰度南京に今一度行つてよく研究しようと思つてゐるとき長府の母の死の電報が入りやむなく中止して上海から急いで歸つて來たものです

俳句川柳畫展
けふから本社講堂で開らく

印度研究者として名ある長谷川竹友畫伯および大連各派聯合の俳句川柳畫展は十四日から十六日まで三日間本社講堂で開會中であるが、開會間際にたまたま來連中の泥谷文景畫伯も參加、得意の南畫及俳畫とりまぜ三十六點を出品したので場內一入の盛觀を呈してゐる、長谷川氏の氣品に富める印度風物、中にも莊嚴感にグロテスク味を多分に盛られた印度の破壞神カーリイ女神像等は頗る注目に値する、泥谷文景氏の南畫は勇躍の筆致獨特の境地で長谷川氏の作品と好對照をなしてゐる、其他俳畫、川柳畫の色紙短冊數十點何れも高雅飄逸とりどりに面白く氣持のよい畫展として好評を博してゐる(寫眞は會場の賑ひ)

總裁の上京繰上げか
十八日に

仙石滿鐵總裁は十五日に來年度豫算全部を決定し更に社員給與規定その他の懸案諸問題を解決その一段落を見たうへ二十一日出帆のうらる丸で上京の豫定であつたが、濱口首相狙擊事件から(殊に首相が重態であるため)十八日出帆のはるびん丸に繰上げ上京することになりはせぬかと滿鐵でもその準備を進めてゐる

生活苦に喘ぐ哀れな夫婦
警察へ保護願

本籍熊本縣天草郡高濱村二七四四當時市內東關街四〇東亞旅館止宿中の倉田藤六(五二)同人妻タヨ(三七)の兩名は四年前來滿しハルビンにおいて理髮業を經營して居つたが三年六月多少の貯蓄も出來たので內地に歸還せんと準備中、匪賊に襲はれ家財道具を悉く掠奪され身をもつて漸くのがれ大連に落ちのびたが、來連後再び理髮業を營んで居つたところ夫藤六は遂に脫腸及び心臟病にかゝり營業も出來なくなり、兩名は妻タヨの筆墨紙類の行商によつて漸くその日の糊口を凌いでゐたもの〻借りて居つた市內永安街の支那人家屋も家賃三ケ月の滯納に追拂はれ、現在では前記東關街の鮮人旅館に止宿してゐるが、同所にも長期に亘つて止宿も出來ず夫の病勢は益々惡くなる一方であるので妻タヨは十三日小崗子署へ保護を願出でると共に夫を聖愛病院へ施療患者として入院方を願出でた

世界一周の獨逸少年團員

ボーイスカウトの世界一周、十四日出帆の奉天丸でドイツのボーイスカウト體育教師セリエス(二七)カーチ(二二)ガルベ(二七)の三名がボーイスカウトの姿も雄々しく上海に向つたが、同人等は昨年自國を出發、アメリカを經由して日本に渡り印度を通過して歸國し、本年初め又々逆のコースでシベリヤを横斷してハルビンに出て朝鮮を經て昨日大連に顏を出したもので上海に行くと共にジャバ、スマトラに行くといつてゐたが、その後は本部の指令によつて決定するとのこと

俠艶一代男 (114)

米田華紅作
伊藤幾久藏畫

江戸の華(六)

「まア、お前はお父さん!」
一粟は崩れるやうに、目明き按摩道玄の前へぴつたりと坐つて
「お前はいつ、どこからお這入りでござんす?吃驚するではないか?」
「ふむ、吃驚もするだらうよ。情夫かお客か知られえが、あんなか細の溝浚ひに、大切な親父を賣るんだからな。それをすつかりと聴かれたとあつちや、仰天するのは當り前よ」
「お前はまア大それた人殺し!」
「しッ、靜かにしろッ!壁に耳がある世の中だ。迂闊なことを吐すと承知しれえぞ」
「でもお前は、長家にゐた御浪人依田さまを殺したと云ふではないか?何て云ふ情ない……情無いことをしてくれました?」
怨みとも見える悲痛の瞳を据えて
「媛の私から親へ向つて、こんな事を云つたなら定めし親不孝者と思召すか知らないが、どうかお父ッさん、自身番へなり、お役所なりへ自首して下さいまし。お願ひでござんす」
「何ッ?何だと?ぢや手前は今の青僧が可愛ゆくて、年取つた父親をお處刑にやらうと吐しやアがるんだ」
威猛高にのしかゝる權幕でキッとなつた。
「いえ、さうぢやない。憎いことをして、いつ迄も旺た例はない。私とてお父ッさんが自首してくれゝば、切めて依田さまやお千賀さんへの申譯、このまゝ生きてゐやうとは思ひませぬ。屹度お後からお供へ参ります」
「縁起でもねえことを云つてくれるな。浪人者を殺したのは俺ぢやねえんだ。御家人三藏のやつた仕事よ」
「さア私の前は幾ら騙したとて、世間の前は騙されませぬ。もういゝ加減に悪いことをお止めになり心を入れ變へて下さいまし」
「殺してくれ!それ程、親父の身を案じるなら、江戸市中はおろかなこと、街道筋まで手が廻つての人相書、手前も俺の媛なら、なぜこれくの金があるから、これを持つて上方へでも高飛びをしてくれとは云はれえのだ。偶に逢つて顔を見るなり、やれ自首してお處刑をうけてくれとか、悪事の旺た例はれえなどゝ、生臭坊主の説教ぢやあるめえし、そんな事は百も承知だ。疵の入つたこの身體が今更元には返られえ。二度と再び見られれえ娑婆に未練が大有りなのに、生命を振つて、名乗つてなど出られるものか?それとも手前、この親父を自身番へ突き出すとでも吐すのか?いやさ恐れながらと訴へて出る積りなのか?」
媛とても、返事次第では許さぬ氣配を見せて、ジリジリと詰め寄つた。
「お父ッさん。お前、まだ私の心が判らないのかえ?これ程に案じてゐる私の氣持がお分りでないのかえ?」
一粟は切ない聲で、道玄を見据た。
「だからよ。今も云つてるぢやれえか?俺の身も十手と役人の眼に追ひ廻され、けぶくなつたから氣を抜いて、餘炎がさめるまで、上方へでも高飛をしやうとするんだ。急場に迫つた旅銀の入用、危れえ橋を渡つて、ひつそりと還つてきた。な、たびたびの無心で濟まれえが、どうか少し纏まつた金を工面して貰ひてえ」
「私ア嫌です」と、思ひ迫つた風で、キッパリと云ひ切つた。
「何ッ?嫌だ。するとうぬッは俺の處刑を待つてるんだな?」
「さア!私アお父ッさんが自首して、お處刑になる日を待つて居ります」
「うぬッ!よく吐した!」
道玄は突如立上りざま、足をあげると、「あッ!」と、仰向けに一粟を蹴飛して仁王立。つかつかと恐ろしい勢ひで寄り進んだ時、襖の外から轉がり込んだ下地ッ子の初代。一粟の身をかばひ、なるべく壁で、顫えながら「姐さん……」と、獅咬みついた。
先刻から奥座敷の様子を伺つて居たらしい道玄の闘先、眼の鋭い浪人風の男が
「御免下さい!」と、氣ぜわしく詰ふて居つた。

キネマと演藝

舞踊研究所 新舞踊大會 櫛木氏が出演

大連舞踊研究所の主宰者たる櫛木氏は、十年振りに自ら舞臺に立つて多年研究の氏獨得の新舞踊を發表するさうだ。氏が大連に腰をおちつけて足かけ三年、その間、童謡舞踊の振付に專心して來たが、他人に敎へる者が自ら踊る事を忘れてしまつてはいけないと云ふので、大決心を持つて舞踊會を開く事になつた、假面舞踊ヒヨットコの幻想、舞踊獻符命、バレー青春の夢等を櫛木氏主演し、荒川清子孃は櫛木氏獨創の日高川を、その他田中佐々市氏、吉井正子孃、山本展子孃等の大連舞踊研究所師範科生及普通科生徒稻垣滿壽子孃外數名出演する、純藝術的舞踊會で十二月六日夜七時協和會館にて開くと

遞信從業員 慰安會 今夜の番組

關東廳遞信局主催の遞信從業員慰安會は既報の如く今十四日より三日間大連劇場において盛大に開催されるが今夜のプログラムは左の如くである

▲ジヤズ オール遞信ジヤズバンド
一、和曲「君が代行進曲」
二、洋曲「ダニューヴ河の漣」
三、滿洲小唄「枯木原」
指揮酒井、ピアノ御幡、ヴアキオリン打越、小池、打越弟、堂本、屋地、松村、花本、入本、マンドリン增川、松田、岩澤、江頭、マンドラ持永、大太皷赤木、小太皷シンバルトライアングル春木、サキソフオン持永弟

▲新派笑劇「叔父の意見」遞信局
伊勢屋榮一郎(工務杉山)藝者〆龍(電氣御幡)舞子茶目丸(經理山本)叔父正兵衛(監理吉村)母親お蝶(監理前田)女中お久(工務金子)大工金造(貯金古賀)幇間大勢

▲ハーモニカ合奏 大連局電信課
ハーモニカバンド
一、オリエンタルキヤラバン

▲童謡舞踊 オール遞信
一、證城寺の狸囃子 川末チエ子 持留エミ子、西谷睦子、田中ハツ子、石川トメ子
二、餅ひき 中島政江、西谷八重子
三、雨降りお月さん 川末チエ子 持留エミ子

▲琵琶劇「仇敵一體」大連郵便局
沙門禪海=俗名市九郎(酒田武士)中川實之助(宮崎)村人吾助(森永)村人作造(藤本)石工太平(中村)石工勘助(山本)石工三郎(戸村)琵琶(福田)

▲舞踊 中央電話局
「川霧」みちな姫(姉姫)峰松、すくな姫(妹姫)井上妹、郞女=西谷姉、西谷妹、林姉、深澤、安永、野中、野上、鳥居、大曲、片島妹

▲舊劇曾我物語「蝶千鳥二度の敷皮」大連郵便局
五郎時致(伯井)源賴朝(榎木園)御所五郎丸(内田)一田四郎(丸)梶原景時(宮本)梶原景高(尾崎)大坊丸(安部)太刀持(江頭)勢子(松田)勢子(清水)諸大名一一の大名(室本)二の大名(佐伯)三の大名(櫻井)四の大名(荒川)

▲小唄と舞踊 オール遞信ジヤズバンド
「唐人お吉」舞踊高田、小林、藤森、竹田、田中、中島、萩原、大岡、上村、唄本川、山本、伴奏ピアノ小池、ヴアキオリン打越、打越弟

▲社會劇「隅田の夜話」市内聯合
百姓茂作(電話岡田)娘お光(山縣通吉田)大生神田新一(無線矢島)親友齋藤純一(沙河口小野)女優美崎かほる(大山通瀧北)僞紳士村上丑松(電・中島)書生山本(大山通小田)通行人鍋造(無線安廣)興夫權(大山通小田)撮影監督信田(山縣通大上)俳優政夫(電話山口)同三吉(電話村井)同出淵(山縣通大平)同良太(寺・妻橋谷澤)商人幸四郎(無線田中)キヤメラマン吉井(沙河口小野)新内流し(電話岡田)うどん屋由造(山縣通大上)夜巡り孫市(無線安廣)巴里方青木(山縣通大平)車掌高崎(大山通小田)壯士遠山(無線田中)大工三平(寺・妻橋谷澤)村人大勢安廣、田中、鈴木、三井、山口永井、谷澤、村井、山口、中島吉田、大上、大平、小田、名富

「常磐津を聽く」 二佐太夫の披露

▲常磐津二佐太夫改名披露演奏會は既報の如く十三日夜七時からヤマトホテルで催された、聽衆は遊樂館の素義會に殺がれた故か先づ六分の入り、さし松幹事に言はせるさ、唄ふ張り合ひがなかつたさうなが、聽手が斯道愛好者の粒選りだつたと思へば滿足すべきだ、但し北村、鴛奈津サンは同門の誼廣サンへの義理合ひと見え子寶一つで遠慮。

▲子寶では鶴廣の賑、舉して鷺然光つてゐた。唄はさし松の一人舞臺の觀あり駒吉に代つたかいゝは後の權八の時同樣調子が低いので苦さう七福神は流石太夫連だけあつて聲に變化あり、イキが合つてゐた。司太夫のオツな節廻しが受けてゐた今回勝一の名を許された藤田幹事の今息の絃も上出來

▲權八は失望した、いつか南華園で聽いた司太夫と小花の時の氣分が出ない、たゞさめの絃に敬意を表して置く。次の釣女は當夜の壓卷たるは豫期の通りだつた。二佐太夫の節廻し、聲調の變化、顏る巧妙を極めたるものに美事なもの、宛然、踊の舞臺を目の當りに見るの觀あり、觀衆期せずして嘆賞措かざるものがあつた。

▲さしまけ輔菜のアヂな姿とかしくの粹な調子にただ恍惚たるのみ、小花、玉吉兩幹事の出來も惡からず小美代の絃の上達前途恐るべし。最後にいつも感ずる事だが正惠師の極じめの好さ、清元畑から出た人とは言へ常磐津の重々しさから脫離した輕快な調子は延壽から何ものかを得んとする二佐太夫の常磐津界革命には好個の伴侶であらう

ラヂオ

大連 JQAK

十一月十五日午後五時五十分
▲獨逸語講座(第十六課續)大連語學校講師荻榮
▲陸軍特別大演習實況(岡山より)講演、大演習を陪觀して、ポーランド公使館附武官少佐、ヘ・フ・ライヒマン
以下內地中繼(六時二十三分)
▲放送軍事劇(大阪より)演習中隣、砲兵大尉淺野一男作脚色、出演者、郡啓一郎、小笠原茂夫其の他
▲小唄(イ)戀しき人(ロ)はやつてる(ハ)枯柳(ニ)まじらくく(ホ)つがひはなれぬ(ヘ)船路や寒かろ、唄田村てる中、三味線田村伊都
▲落語(こうらん幸助)三遊亭圓宵
以下大連放送局より
▲ラヂオ體操
▲職業紹介事項
▲料理獻立
▲天氣豫報

劇話

常盤座が久しく宣傳してゐたウフア映畫「ニーナプトロヴナ」を愈々廿七日から上映▲「この太陽」の大入御禮興行として大日活がけふから「空行かば」と「双影悲帖」で蓋をあけたが▲「空行かば」が無聲版である代りに「双影悲帖」をスーパーメカニックトーキーと稱して三巻目から臺辭入りで面白い映出をやる▲それから正月興行にまた一本「アジアの嵐」を加へて陣容をかためたとの事▲メトロ京城支社の中野氏が目下來連してゐるが、正月興行をめがけて活躍をしてゐる

第廿四回 滿日勝繼碁戰

互先先番 秋元豐二郎氏 濱田俊介氏
【秋元氏一回勝二回目】

●六一ヌの十 ○六二リの十二
●六五ワの十二 ○六六ヌの十五
●六九チの十五 ○七〇チの十六
●七三ルの十四 ○七四チの十四
●七七ワの十四 ○七八ワの十一
●六三チの十三 ○六四チの十二
●六七リの十五 ○六八リの十六
●七一ヌの十四 ○七二ルの十五
●七五チの十五 ○七六ワの十三
●七九チの十三 ○八〇カの十二

▲清水二段講評 黑七七は兎も角八〇に伸びる所でしよう右邊の黑は何時にても活がありますから連絡の必要はありません

—【4】—

映畫案内

滿洲日報

社說

濱口首相の遭難
聖代の大不祥事 直接行動を排す

濱口首相、兇漢のため東京驛にて狙撃さる。國政のため憂慮に堪へざるものが存する。

兇漢の自白なりとして報ぜらるるところによれば、彼は「現内閣の存續は不景氣を益々深刻にするので濱口首相さへ倒せば景氣は回復し得るものと信じて行つた」と稱してゐる。しかも彼は二十三歳の青年である。思ひ違ひもまた甚だしいといはねばならぬ。よし濱口内閣を倒さば景氣が回復するものとしても、かれが如き直接行爲に出づるが如きことは言語道斷、斷じて許すべからざることである。時代錯誤もまた甚だしい。法治國にありては政治運動といへども常に適法に行はれねばならぬ。まして立憲治下の政黨政治にあつては、政治は須らく政策の優劣により、議政壇上において民衆の支持を要求するところに存することを知らねばならぬ。一人を倒して景氣が回復するもの如く考ふるは愚もまた甚だしいといはねばならぬ。

一人の力によつて天下の政治が支持せられたといふが如きは、全く封建時代の舊思想であらねばならぬ。今日の英雄はヒーローでなくして寧ろレプレセンタテブマンであらねばならぬ。民衆を代表として英雄たり得るのである。吾人といへども濱口内閣の政策を以て一から十まで悉く可なりと信ずるものではない。勿論、濱口首相が誠心誠意、政治の公明に向つて努力しつつあることは、何人も認めざるを得ぬところであらう。併しながら、誠心誠意の披瀝と政治政策の可否とは全く別箇の問題であり、政策の可否については正々堂々、これを論議すべきである。そこに政黨政治、議會政治輿論政治の特色が存する。ただ併しながら、昨今の不景氣は、いはゆる世界的不景氣であつて、必ずしも濱口内閣の施政のみに不景氣の責を負はす譯には行かぬのである。

勿論、議會政治は責任政治であり、昨今の不景氣、而して失業難就職苦は、その責任、たしかに現内閣にありといはねばならぬ。ただ併しながら、その責任政治は適當剴切なる政策を掲げ來りて正々堂々、内閣を倒し、それに更るの覺悟がなくてはならぬのである。封建時代の思想を以て直接行動に出で、濱口首相、一人を倒さば不景氣は直ちに回復するものと謂ふが如きは、聖代の痛恨事とせねばならぬ。ゆゑに英國の如きにありては、陛下の在野黨といふ言葉があるのである。在野黨といへども常に政治を行つてゐるのである。すくなくとも間接には政黨政治を行ひつつあるのである。これ即ち議政壇上に政策の優劣を以て國民の輿論に支持を要求せんとするに外ならぬのである。

然るに動もすれば、この種の直接行動に出でんとするものあるは折角の政黨政治、議會政治を破壞するものなりといはねばならぬ。濱口首相は「男子の本懐なり」といふかも知れぬ。併し一路の責任者が、苟しくも血を流すといふが如きことは、要するに聖代の不祥事であらねばならぬ。また實際問題として、この遭難によつて不景氣が回復するものでも何でもなくむしろ吾人は濱口内閣の從來の努力、而してまた今後の施政、努力に多大の希望を懸けて居つたものである。世界的の不景氣は歸するところ歐洲戰亂の結果、世界的に生產[illegible]が膨脹し、それに伴つて消費が起らぬ現象に外ならぬ。整理緊縮の結果、徐々に不景氣は底を入れんとするの秋に當り、すなはち濱口首相としては、海軍問題明年度豫算編成、而して不景氣對策としての大調査機關を新設せんことを決し、特別大演習を陪觀すべく出發せんとする途次、今次の兇變に襲はれたのである。

吾人は繰り返していふ。如何なる場合にても直接行動は不可である。不平不滿は正々堂々、これを帝國議會に持ち出すべきである。立憲政治は民衆政治であり、輿論政治である。勿論、多數黨といへども少數黨の意見は尊重せねばならぬが、少數黨としては常に自己の政策を民衆の前に披瀝し、多數黨の支持たらしむべく努力せねばならぬ。そこに政治家の努力が必要とせらるるのであつて、その努力奮闘の間にありて最善最良の政策が最後の勝者となり、多數黨の支持によつて實際政治として實施せらるゝものとなるのである。かくの如き意味において吾人は濱口首相の遭難を悲み、一日も早く、その快癒せんことを希望して已まぬものである。

餘病さへ併發せねば 三週間位で全治せん
大手術の結果頗る良好
狙撃された濱口首相

【東京十四日發電通至急報】帝大鹽田外科手術室に運ばれた濱口首相の彈丸摘出手術は午後一時十分より一時卅五分まで掛つたが彈丸は右の臍下から左の腰骨の骨盤に喰め込んで居りこのまゝ置くも當分差しつかへなきため營養回復後第二回手術をなし摘出することゝし本日は彈丸を摘出しなかつた、尙ほ小腸には八ケ所の傷が連續的に附いて居りこれを縫ひ合せた上最も惡い腸の部分を八寸程切り取つた、尙ほ手術後中島秘書官の血を以つて第二回輸血をなしたが經過目下良好で脈搏もよく腹膜炎を併發しなければ三週間位で全治の見込みである、尙ほ手術には中島秘書官、鈴木翰長、川崎法制局長官、夏子夫人及令息巖根氏等立會つた

【東京十四日發電通】濱口首相手術の模樣は廻盲部から約四十センチ上百十センチに至る長さ七十センチの間に七ケ所の貫通創あり腸間膜四十ケ所に傷があるので七十センチ間を切り取り繼ぎ合せた大手術であつた、尙彈丸は左腰關節部に留まり居るため左足は全く自由を失ひ腸間膜の血管からの内出血は甚だしいものがある

脈搏良好精神も明確
大手術後＝鹽田博士語る

【東京十四日發電通】手術後鹽田博士は語る
彈丸は臍下三センチより入り空腸上部六ケ所及び下行結腸腸間膜を貫き後腹壁より左腎部に入る空腸五十二センチを切除し腹腔内に溢出せる血液を除去し、腹腔を清拭し、綿紗誘導法を行ひ午後二時手術を終つた、手術中首相は脈搏良好精神明確で絶えず普通なる談話を交された

豫て覺悟はしてゐた
宇垣陸相の見舞に首相判きり答ふ

【東京十四日發電通】手術後濱口首相は意識も明瞭で元氣も回復し看護の夏子夫人を身近く呼び寄せて岡山の觀兵式と來る二十三日の新嘗祭に參列出來ぬからそのお斷りを間違ひなく宮中に屆け出る樣呉れぐ〳〵も注意をしてゐた、國府津から急遽見舞に來た宇垣陸相が枕邊に寄り『大變な事になつたなア』と見舞を述べると首相は『こんな事は一度はあるものと覺悟してゐたのだ』と判きりした聲で答へたと

首相の希望により 身邊警戒は寛大に
警視廳高橋警務部長の談

【東京十四日發電通】警視廳高橋警務部長の談
首相の身邊警戒は首相自身の希望もあり特に出來る丈け寛大な警戒をすることゝして來た今朝も常の如く數人の警官で首相の身邊を警戒してゐたが斯る事件を惹き起したことは誠に遺憾千萬である

聖上
御愛馬吹雪にお召 大演習を御統監
御座所高く錦旗燦然と輝き 龍顏に御微笑を拜す

【岡山十四日發電通】今十四日は大元帥陛下が今次特別大演習を三備の野に統させらる最初の日である、陛下にはこの朝六時早くも御起床、大元帥の御軍裝にて金谷參謀總長、奈良武官長等と戰況を按ぜられたるのち八時四十三分、野外自動車御召を整へさせられて大本營御出門、沿道を埋める赤子の群に擧手の御會釋を賜ひつゝ岡山驛御着、八時五十分岡山驛御發車、廣島縣織山驛に向はせられ九時五十五分織山驛御着、兩備線清に御乘り替へ十時二十二分兩備假驛に御着、此處にて御愛馬吹雪に召され野外統監部に駒を進め給ふた、この時御座所高く掲げられた天皇旗は金光燦然として折柄の秋光に輝き映えた、野外統監部には閑院、梨本、賀陽、朝香の各宮殿下、李鍵公殿下を始め金谷幕僚長以下幕僚將校、上原元帥以下各陪觀將校外國使臣等奉迎申し上げた、畏くも陛下には直に演習統監に移らせられ双眼鏡を御手に金谷幕僚長の御説明を御聽取あらせられつゝ最も御熱心に兩軍力戰の模樣を御統監、時折龍顏に御微笑さへ拜された、斯くて統監を終へさせられた陛下には織山高等女學校教諭たる豫備陸軍中尉堀本龍作氏の御前講演を御聽取の後織山市役所に行幸、縣治功勞者等に御賜謁學業品、獻上品等天覽の後二時四十五分織山驛御發、三時五十七分御機嫌麗しく大本營に還幸あらせられた

三備平野に息詰まる白兵戰
空には飛行機隊が 地に自動車隊の活躍

【岡山十四日發電通】作戰計畫を終へて戰機の熟するを待つた東西兩軍は十四日午前五時大演習の火蓋を切つて進撃を開始した、西軍は廣島第五師團長に加ふるに西尾中將の率ゆる後備混成一旅團、之に對する東軍は第十師團のみ、三備平野爭霸戰は息詰る緊張の裡に展開され午前十一時に至り兩軍前衞部隊は既に銃火を交へ戰ひは正に兩軍主力の接戰に移つた、二隊に分れて東進せんとする西軍を東軍は地の利を以て邀へ撃たんとし、本庄東軍司令官の企圖する各個擊破の作戰も成績見るべきものあり、兩軍後續部隊の戰線參加と共に激戰又激戰、果敢な白兵戰すら繰返され午後一時演習中止の喇叭が鳴り響いた、午後五時再開、再び薄暮の内に戰鬪が續けられたが戰況東軍に不利なるに及び東軍は芦森南方方面に退却を開始するものと見られる、此の日兩軍飛行隊は午前七時半から行動を起し敵狀偵察に殊勳あり、殊に西軍機は東軍の背後を脅かし橋梁爆破を敢行し又東軍自動車隊も活躍を爲した

戰線二里に亘る 御視察

【岡山十四日發電通】天皇陛下には十四日統監部に於て大演習御統裁の後金谷幕僚長以下を從へさせられ御愛馬吹雪に召されて往復二里に亘る戰線を御熱心に御巡視遊ばされた、純白の吹雪は秋空に浩然と嘶き燦たる天皇旗は三備の平野を拂ふ秋風にひらめいて全軍の士氣天を衝くものあり、休戰喇叭を後に天皇陛下には兩備假驛に向はせられた

濱口首相の兇變を安達内相より奏上
内相は昨夕發歸京

【岡山十四日發電通】安達内相は十一時四十分濱口首相兇變につき奏上したが陛下には全く氣の毒であつた旨の御見舞の御言葉を賜つた、尙内相は齋藤次官に代理を命じ午後五時二十五分岡山發歸京することに決定した、なほ内相は當地にて語る
今後どうするかこの内閣がどうなるかと云ふことについても何とも言へぬ、兇變に就いても陛下に言上せねばならぬかも知れぬ云々
丸山警視總監は左の如く語る
公報がないので連絡を取るのに努めてゐるが邊鄙で困つてゐる自分は午後四時發福山發急行で歸京する

政局、經濟の動搖と人心の衝動を防ぐ
首相官邸で各閣僚の申合せ

【東京十四日發電通】濱口首相遭難の爲め在京各閣僚は十四日午後二時十分より首相官邸に參集首相の手術に立會つた川崎法制局長官鈴木書記官長より鹽田博士の言によれば今後腹膜炎さへ併發せぬ限り三週間位で退院出來ようとの事である、首相は鹽田外科十二號室に移り見舞いに來た宇垣陸相が「ゑらい事になつたのふ」と見舞つたら總理は「難有ふ時に君の病氣は何ふか」とあべこべに見舞つた有樣で

意識は 極めて明瞭である從つて此點については今後の經過を見なければ判きりした事は言へぬが大體に於て樂觀して可なりと思はれると報告し、首相遭難により地方の人心に衝動を與へ政局及び經濟方面に動搖を與へぬ樣各所管の機關を通じて指導する樣申し合せた、尙臨時首相代理設置問題については何等觸れる處なく散會したが、各閣僚の意見を綜合するに首相は目下意識も明瞭であり、故障久しきに亘り事務を執れぬといふ事もきまつては居ないから臨時代理を置くべきか否かは今後三、四日の經過を見た上で

決定す べきものであるが大體今日の經過では緊急止むを得ぬ分には首相自ら署名出來得べく設置の必要はあるまいと思はれる勿論その經過が今日の見込と違つた場合は臨時代理も考慮すべき事とならう、何れ安達内相の歸京を待つて三、四日間の經過を見て決定すると言ふにある

陸相國府津へ

【東京十四日發電通】宇垣陸相は首相の見舞後十四日午後三時發國府津別莊に歸つた

侍醫頭を 御差遣
御見舞遊さる

【東京十四日發電通】畏き邊では濱口首相負傷を聞し召され午前十一時佐藤侍醫頭を東京驛長室に御差遣御見舞遊ばされた

けふ閣僚協議會
安達田中兩相も參加

【東京十四日發電通】在京閣僚は十五日午前十時から首相官邸に參集協議會を開く事となつたが、安達内相、田中文相は十五日午前八時半東京驛着にて歸京直に濱口首相を見舞ひたる上之に參加の筈

首相邸は 大混雜
見舞客詰掛け

【東京十四日發電通】首相狙撃の報に安達内相、井上藏相、原脩次郎、手塚東京府知事、近衞文麿公、林權助男、上山滿之進氏その他朝野の名士が相官邸に詰めかけ官邸内は見舞客のため非常な混雜である

首相の容體
鹽田博士診斷後發表

【東京十四日發電通至急報】首相容體につき十四日午後六時鹽田博士診斷の結果左の如く發表された
▲體溫三十七度三分▲脈搏百六、正調にして強い▲呼吸十九
腹部に輕き疼痛ある外安靜此の儘で行けば腹膜炎併發の惧れはなからう

此調子で行けば心配はない
更に輸血を行ふ

【東京十四日發電通至急報】首相は午後八時半更に中島秘書官の血を二百瓦輸血し經過頗る良くこの輸血は念のため行つたものである
八時半の容體は脈搏百六、呼吸十九、體溫三十七度三分で鹽田博士は此の調子で行けば心配はないと語つた

人材を傷けては良くない
犬養政友會總裁語る

【岡山十四日發電通】來岡中の犬養政友會總裁語る
犯人はほんとうか、氣の毒なことだ、犯人は若いやうだが若い者は激昂し易くて困るれ、不景氣で血迷つたのだらうが人材を傷けることは良くない

今さら感想は ありません
令息巖根氏語る

【東京十四日發電通】嚴父手術後令息巖根氏は語る
今朝突然勤先の勸業銀行に電話があつたので驚いて駈けつけました、輸血は私から百五十瓦中島秘書官から二百瓦を遺りました、今の處非常に落ちついて元氣な樣ですから大丈夫と思ひます、今日の事件に就ては日比谷署も嚴重警戒されてゐたことですし父も日頃からこう云ふことは覺悟してゐたことですから今更ら感想等はありません

若槻氏見舞ふ

【東京十四日發電通】濱口首相遭難の報に伊豆の別莊より歸京した若槻禮次郎氏は十四日午後六時二十分帝大鹽田外科に首相を見舞つたが
手術後の事で昂奮されるからいけないと思つて奥樣にお目に懸り取敢へず御見舞ひ申しました大へん經過が良くお元氣の事ですから安心致しました

東支鐵道の 借款成立
二百二十五萬元

【ハルビン特電十三日發】缺損をした東支鐵道は特產出廻り收入増加を見越して支那側銀行から哈大洋百六十萬元、ダ、リシクから金七十五萬一千圓を期間四ケ月八分利にて借款の協定成立した、これは緊縮政策による從業員淘汰および購入材料の支拂に充てると

滿洲各地に於ける兇變の及した影響

奉取は一時動搖

濱口首相の兇變が傳はつたため奉天取引所の金銀相場は寄付百七十七圓から百七十四圓に下落したが後場で追付いた【奉天電話】

哈市は目下平穩

【ハルビン特電十四日發】濱口首相兇變の報あるも支那側はこのために政變なきものと見一時市場の氣迷ひ哈大洋は四十七圓二十錢まで伸びたが、買手なく今の處影響は薄い

十時間に亘り 激論
未了の儘散會す 明大聯合委員會

【東京十四日發電通】明大學生騷動の解決の鍵を握るものと見られてゐた聯合委員會は十三日午前十一時から午後九時過まで前後十時間餘に亘つて既定スローガンの逐條審議を行つた、圖書館建設追試驗改正その他數項目は圓滑に協定を見たが受驗料三割値下げ、總務委員の選擧權を學生に與へる件、學生自治權の確立等の難問題に逢着し激論起り未了のまゝ十四日に持越された

菊花五鉢を 御下賜
枕頭に飾る

【東京十四日發電通】畏き邊りでは濱口首相御見舞の爲め新宿御苑栽培の菊花五鉢を御下賜あらせられたが夏子夫人は感激して首相の枕頭に之れを飾つた

恩給法改正

【東京十四日發電通】政府は恩給法改正案を昭和七年度より實現する事に決定調査を行ふ事となつた

兇變と支那要人
何れも驚愕して語る

【南京十四日發電通】濱口首相狙撃の報を齎し開會中の第四次全體會議を訪へば左の如く語る

戴天仇氏 それは眞實かれ、平素身體の強くない濱口氏の事だから生命に別條はないかれ、萬一の事がないやうに祈る、僕から鄭重な御見舞を申上げると傳へて呉れ給へ

蔣介石氏 それは實に御氣の毒に堪へぬ、この種の兇行は眞に遺憾だ

王家楨氏 濱口氏は人格者で人の怨を買ふやうなはずはないと思ふが原さんの時のやうに思慮なき青年の仕業と思ふ、濱口さんが再び首相となれぬとしても民政黨には幾等も代りをする人があるから内閣の更迭等はあるまじく自分等も亦之を祈るものである、國民政府としては公電の到着を待ち汪公使を通じて御見舞申上げることにする

國民編遣兩會議
執監會議の爲取消し
蔣張聯合武斷政治の現れか

【北平特電十四日發】第四回執監會議にて國民會議召集と編遣議は取消すに大勢決す、この形勢は蔣張聯合の武斷政治實行の現れと觀測される

張學良氏
天津北平に行く

【北平特電十四日發】張學良氏は上海より軍艦にて天津にも北平にも來る豫定
北上するが、天津、北平に立寄るか否か不明である

張氏近く歸北

【北平特電十四日發】張學良氏は南京に一週間滯在し上海より海路

支那時局も先づ一段落
時局好轉で蔣介石氏有頂天
高木陸郎氏の視察談

中日實業公司副總裁高木陸郎氏は社用を帶び南京、上海視察中であつたが十四日入港大連丸で來連、最近の支那事情につき語る
先月の終り大連から上海方面に行つたが南方の空氣は隨分變つたものだ、北方とは全然

お話に ならぬスマートなところがある、恰度蔣介石氏は時局の好轉に有頂天になつてゐるし、副司令に押された張學良氏も全く蔣氏の心持通り動きまあ支那時局も一段落と云ふところだらう、私が出發の前日、張學良氏が南京に入つたが大した人氣で素晴らしい歡迎を受けてゐた、財界方面もどうやら小康を得たらしく餘り騷いでゐなかつた、全體會議も十二日から開催されてゐるが今度はまあ

顏合せ と政府の一部に人事の異動を見る位の事だらう、行政委員長の椅子が空いてゐるしその他今度の東北抱込みに有力な功を樹てた張群氏や李石曾氏の拔擢も考へられるところだしその他今次の時局に關係した人々の論功行賞もあると思はれる、一部に外交部長王正廷氏が辭める如く傳へられてゐるがそんな事はあるまい、要するに南方支那は東北支那に比較して日本には假令

表面的 にしても好感をもつてゐる、一面これは東北省とは全然立場が異つてゐて滿蒙の地ほど直接利害關係がないためであらう、要するにこの時局の一段落によつて日本に對する態度が變つて來やしないかと思ふといふのはまだ南の人達には滿蒙におけるすべての事は日本の諒解を得ればならないと思つてゐたものが、直接東北省側との握手によつて

奉天側 が何等日本側の制肘を受けず交通方面の事にしても經濟方面の事にしてもドシドシ自力でやつて行くのを見て寧ろ驚異の目をもつて見てゐる位だ、張群氏邊りは痛切にそれを感じてゐるらしい、次に永井外務次官の事件だが支那側も永井次官はあゝいふ人だと諒解し今では何等問題になつてゐない、自分は數日滯在のうへ再び上海方面に行くつもりでゐる

全體會議開く
初日決定事項

【南京十三日發電通】全體會議豫備會議は十三日午前八時より中央黨部會議所で開かれ蔣介石氏以下各委員出席胡漢民氏を主席として議事に入り左記四項を決議した
一、胡漢民、蔣介石、于右任、丁惟汾、戴天仇五名を主席團とす
二、陳立夫を第四次全體會議の秘書長とす
三、今次の全體會議の會期を十三日より十八日まで六日間とす
四、張學良の全體會議出席を認めこの旨各委員に通知す
これに引續き午前九時より第一次本會議を開き蔣介石氏以下中央執行委員三十三名出席、吳稚暉、張靜江の兩監察委員及張學良氏列席蔣介石氏主席の下に嚴かに議事の進行開始された、張學良氏が遠路參加したことは大會の空氣を一層活氣附けた、本會議では議案審議に入る前蔣介石氏提出の左記事項を討論し滿場一致可決された
一、譚延闓の後任として朱培德を中央執行委員會常務委員に任命す
二、議案審査のため黨務、政治、軍事、教育、經濟の五委員會を組織しそれ〴〵委員を任命す

市制改正
きのふの委員會

大連市制中改正に關する委員會は十四日午後三時から市役所助役室に於て開會、若月委員長以下各委員(野本委員缺)出席、協議の結果「關東州市制第九條第二項中」「市長又は助役と父子兄弟たる緣故ある者は」とあるを「市長若は助役の職にある者又は此等の者と父子兄弟たる緣故ある者」と改正す
の件は市長有給制の建議と重複するの故を以て審査するの必要なきに至つたので審議を取止め
關東州市制第十四條二項中「名譽職參事會員は六人とす」とあるを「名譽職參事會員は十人とし」と改正す、同條第三項の「名譽職參事會員の任期は市會議員の任期に依る」を削り「名譽職參事會員は隔年之を選擧すべし」を加ふ
とあるを
名譽職參事會員は十人とし市會に於て市會議員中より毎年之を選擧すべし
同條第三項を左の通り改正す
名譽職參事會員は後任者の就任するに至る迄在任す市會議員の任期滿了したる時亦同じ
と改正し同四時半閉會した、尙市會は十七日午後四時から開會の筈

旅順市參事會

旅順市役所にては來る十七日(月曜日)午後一時三十分より「市營住宅貸付規程設定の件」「特別會計に關する一時借入の件」「市吏員宿舍料支給規程改正の件」等につき市參事會を開催すると

勅選議員補充
財界から四名

【東京十四日發電通】貴院勅選議員は現在八名の缺員を生じてゐるが政府は内四名を近く銓衡決定するはずであるが今回は與黨圈内より取らず主として財界方面より任命する方針で東株取引所理事長岡崎國臣氏その他が銓衡されてゐる

歐亞連絡手荷物運賃引上げ

【ハルビン十三日發電】萬國鐵道聯合國は東支鐵道に對し來年一月一日から歐亞連絡關係のドイツ、ラトヴイヤ、エストニヤ各鐵道の旅客手荷物運賃率を値上する旨通告した、尙値上率は未定である

人事

▲黑田鵬心氏 十三日夜奉天へ
▲風見章氏(代議士) 十四日朝急行にて朝鮮經由歸東

安樂椅子

笑へぬナンセンス首相狙撃犯人と同姓の巡査が當地水上署に勤務してゐるが▲事件發生と共に逸早く報ぜられた本紙の號外を見て顏を眞蒼にしてゐる▲事情を聞くと佐鄉屋巡査の弟が目下東京に出て生活してゐるがこの名前が留雄と云ひ狙撃犯人が留雄とあるからは一字違ひでモシヤと身も世もないと云ふのだ▲しかも犯人の身元は巡査の身元の隣村▲さあ居ても立つても居られなくなつた同巡査電通に聞いて貰ふと「リウチ」で留雄に違ひなしその上犯人は私生兒であると聞かされホッとして「私の弟によ」と胸をなで下してゐた、笑へぬ話の一つ

市況(十四日)

株式

內地大引暴落 新東新高値

內地大引は東西兩市場共期の新東は百二圓臺と暴落し諸株共高値配を入れたので當市現物の新東も二圓高を演じ大新鐘紡新共強調を辿つた

◇現物(甲部) 後場引

銘柄	寄付	高値	安値	大引
商信	—	—	—	—
新豆	—	—	—	—
錢鈔	—	—	—	—
氷新	—	—	—	—

◇現物(乙部)

大新(寄 [illegible] 引 [illegible]) 新東(寄 [illegible] 引 [illegible]) 鐘新(引 [illegible])

特產

各品强調

一般見送乍ら後場の相場は依然として一般見送り商狀に推移し場面閑散ながら氣配は概して强調を辿つた但し豆油は出來不申

◇定期後場(銀建)
▲大豆(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 九十一車

▲普通大豆(出來不申)
▲豆粕(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二萬四千枚

▲豆油(出來不申)
▲高粱(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三十四車

▲包米(出來不申)

◇現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)	五八三〇	五八九〇

大豆(裸物)出來高 二十車
普通豆(出來不申)
豆粕 一七七〇 一七[illegible]五
出來高 五千枚
豆油、高粱、包米(出來不申)

錢鈔

標金高に鈔票の弱保合

後場の相場は人氣落付き一般氣乘薄ながら標金漸次しつかりし地場鈔票は五錢安と弱保合を辿つた

◇定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近 二百八十一萬圓

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金 一萬八千圓 銀對洋 一萬三千圓)

商品

綿糸區々 麻袋變らず

大阪三品後場引は前場引に比べ近物保合、中、先物一圓內外高を報じ當市も小手合せあり、麻袋は變らなかつた

銘柄	約定期	値段	數量
綿糸定期	一月限	一三六三	三〇
同	四月限	一二九六	三〇

出來高 六十梱

銘柄	約定期	値段	數量
麻袋定期	一月限	一二五〇	一〇〇
同	三月限	一二四八	二〇〇

出來高 三萬組

市場電報

神戸特產

銘柄	
大豆現物	[illegible]
先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	一七八〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	五九八〇	五九六〇
大新	四六二〇	四六四〇
紡新	一四五五〇	一四五六〇
鐘新	六四六〇	六五四〇
東新	一〇〇〇	一〇八〇
日糖	三〇四〇	三一九〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十一月	一四三五〇	一四三六〇
十二月	一三八六〇	一三九〇〇
一月	一三五六〇	一三五七〇
二月	一三三七〇	一三三九〇
三月	一三一一〇	一三二〇〇
四月	一二九一〇	一二九二〇
五月	一二八八〇	一二八九〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十一月	一七九九	一七九九
十二月	一六四四	一六四九
一月	一六五六	一六五三

神戸期米

限月	後場寄	後場引
十一月	一八四七	一八五三
十二月	一六四七	一六四九
一月	一六三一	一六三五

本日聽報を添ふ

家庭

虚弱兒童を收容する 保健學校と保健學級
州内校長會の實施案

「虚弱兒童を健康兒と同樣な取扱ひをすることは大きな間違ひである、これは何とか特殊な施設をして救濟しなければならない」さうした聲は大連の教育者間に早くから聲高く叫ばれ校長會などにも度々

議題 に上つたのであるが何しろ特別の經費を要することなので具體的計畫を進めるまでには至つてゐなかつた、ところが最近保健學級實現の氣運が漸く高まり遂に衛生委員の手によつて虚弱兒童救濟の實施案が最近立案されるに至つた此の案によると各學校に保健學級を設置し、之に尋常二年から四年までの虚弱兒童を收容して

特殊 な教育を施さんとするものである、而して一學級の兒童數は二十名を限度とし、教科目は普通の學科と大差なく唯國語算術其の他の教科より幾分の時間を割いて保健上必要なる手當に充當する、學級擔任は一學級一名それに數校を兼れた專任學校醫を置く以上の施設完成の過程としては先づ大連に於ては朝日、嶺前、伏見臺、下藤の五校、旅順に於ては一校を限定し明年度より三年計畫を以て保健學級を設置し

先づ 第一年次には各校に尋常二學年生の中から二十名の虚弱兒童を選定して收容し、之に必要なる教室、安息室等約五十坪を增築、擔任教員は上記の各校一名づゝを增員し六校兼務の校醫を置くことにする、更に第二年次には尋三を、第三年次には第四學年を置き斯くして順次完成を期せんとするものである、尚此の施設の外別に經費約五萬圓を以て建坪約五百坪の

獨立 した保健學校を創立し之に尋二から尋四まで六學級百二十人を收容 實施要項としては

一、保健を中心とした個人調査
二、日常健康本位の生活相談指導
三、個人的治療
四、保健體操、矯正體操、紫外線治療
五、大氣浴日光浴、土砂、海水浴等の自然に親しましむる施設
六、手工業、育尊重
七、營養給食並びに驅虫等の實施
八、休養に關する考慮
九、授業

此の校は明年度から向ふ二ケ年繼續事業として完成せんとするものである

以上 は大連尋二より尋四までの在籍兒童六千三百八十九人の中虚弱兒童を五分としての實施案であるが財政緊縮の折から今直に之を實現するとは恐らく絶望に近いものであらうと見られてゐる

羽織……や訪問着に 黒地の流行
黒の持つ落つきと上品さ

季節に從つてそれぞれ相應しい流行色が現れますが、それとは別につれに一種の好みを見せてゐるのは黒であります。それは黒と云ふ色の持つ上品さからでもありませうが、元來日本人は昔から黒好みである事は爭はれぬ事であります

今年 の流行として特に訪問着や繪羽々織等に此の黒の好みが現れて居ります、先づ繪羽々織の黒がみの一例として、黒の紋綸子地に、葛と松の葉とを紫、茶、緑等ろい配色で現はしたもの、或ひは黒の紋金波の裾ぼかし地に白を鼠で暈の花を開かせ、ぼかしの部分に黒で現すといふ風のもの なほ黒紋綸波地に驟雨の鷺と、繪染の葉の模樣を金茶、鼠その他の淡彩りですきりと染め出したもの等あります

訪問 着の方では配色に用ひて模樣を引き立たせたものが多く、葡萄色に茶、鼠、黒等で氏と蔦とを濃く上品に現はしたものなどその良い例であります。丸帶にも白茶色に白の水と黒と、古代紫、錆青磁、茶等の色變り色紙に四季の花を染出したものなどあり、なほ小紋にも黒地を利用されて、何れも黒の落付きと、上品さを見せて居ります

危險な 木炭の使用
一酸化炭素の害

木炭の燃料によつて發散される一酸化炭素は空氣の流通のよい内地のやうな構造の家屋では大して影響はしないが滿洲のやうな洋式建築では思はぬ中毒を起すことが少くない、そこで一酸化炭素の中毒極量はどの位であるかといふと空氣中の含有量一萬分の五であつてそれより以下であれば頭痛とか、めまひ程度で濟むが、之を越えると危險の度が加はり時には生命を奪はれることが少くない、そこで最もありふれた有毒ガスの中毒量を示すと

	中毒量%
炭酸瓦斯	三〇〇
一酸化炭素	〇、五—一
アンモニア	〇、三
硫化水素	〇、二—〇、三
亞硫酸	〇、〇三—〇、〇四
硫化炭素	一、五—一、六
クロール	〇、〇〇四
鹽酸瓦斯	〇、〇五—〇、一
青酸	〇、〇五—〇、〇六

即ち自動車等のガソリンによつて發生する炭酸は案外危險が少く、クロールは最も危險である事が分る。一酸化炭素は之に比べると猛烈な瓦斯ではないが若し密閉した部屋で盛んに炭火を焚き室内に多量の瓦斯が溜ると自然害を及ぼす事になるから注意をしなければならない

相談欄

▼何事によらず御相談に應じます
▼質問はすべて端書のこと
▼滿日相談欄宛て

虫歯治療

虫歯を治療したいと思ひますが三本の虫歯を治す費用日數、安く治してくれる術のたしかな齒科醫師を御教へ下さい（市内やまと）

虫齒を治療すると言つても單にセメントを充塡するものもあれば金をかぶせるのもあり、又虫齒の程度によつても其の處置が違ひますから費用日數は齒科醫について御尋ね下さい、又治療費は齒科醫師會で協定されてゐますから特に安く治療してくれるところはない筈です。

胃下垂症

胃下垂は治らぬものでせうか放つて置けばどうなりますか胃下垂症による衰弱に肝油はいけないでせうか、同病に對する養生法をお教へ下さい（旅順中西生）

一口に胃下垂症と言つても體質によつて臟器が全體的に下つてゐるものもあれば幽門の狹窄症に續發する胃下垂症もあり此の原因によつて療法は一樣ではありませんが若し後者であれば之に治療をする必要があります、又胃アトニーに伴ふものならば大した心配はいりません、療法としては脂肪の多い食物を攝り胃の周圍に脂を沈着させる肥胖療法を施すか、機械的には下垂帶を用ひるのもよいでせう、若し停滯感があるならば右を下にして寢るやうになさい、肝油は好適の營養であるが食慾を減じないやうにして用ひなければなりません、とにかく一度醫者の診斷を受ける必要があります、

耳鳴りに困る

三十八歳 男、十五年來左耳鳴り困難して居ます、醫療炎電療法等あらゆる良い療法を試みましたが何の効もなく相變らず耳がジージーと鳴り續けてゐます、何かよい全治の方法はないものでせうか（市内藤井生）

今日まであらゆる療法を講じても尚全治しないとすれば他によい方法はないものと見なければなりません、

唾液は神より恵まれた 貴重な消化劑
一日に七八合は分泌される

唾液は食物を思ふことによつて既に分泌されるのであるが、咀嚼時更に澤山分泌されるのであります或學者の計算によると、一日中に分泌される唾液の量は七八合に達するといひます。之は一日中に排泄する尿の量と同じだといふことであります。吾々は毎日尿の量と同等だけの唾液を口の中に分泌して居るのであります

唾液 の作用は食物中に含まれてゐる含水炭素を糖化するものでありますが、同じ含水炭素を糖化するものにヂヤスターゼといふものがあります。食物中の含水炭素を十分に消化させやうとするならば十分な唾液の分泌を計るかヂヤスターゼを服用するかですがヂヤスターゼは唾液の三十倍の消化力をもつてゐると計算されてゐますから、一日に七八合約千瓦出る唾液は約三瓦のヂヤスターゼを服むのに匹敵するわけであります

即ち 唾液は無代價で得られる消化劑であります。然し乍らこの無代價ヂヤスターゼは其の人の心の持ち樣で或は多く、或は少く分泌されるものでありますからフレッチヤー氏が「食事は樂しくせよ」と強調して居るのも誠に意義あることであります胃病を病する人が自ら胃病を苦にして毎食事毎に不愉快な思ひで

食膳 に向ふならば、それは自ら貴重な唾液の分泌を制止してゐるのでありますから從つて食物は十分な消化を遂げることが出來ません。又唾液は腺を十分に運動させることによつてより多く分泌されるのですから嚙めば嚙む程多量の唾液から分泌されます。即ち食物は愉快に十分咀嚼すれば完全な消化を遂げることが出來るのですから食事は出來るだけ

愉快 に落付いた氣分で行ふ樣に注意することが大切であります。以上述べましたことは主として胃に一本の觸蝕もない場合の事であります

童謠 ばてつ
北村しげる

小さな
小さな
レールの上を
白い
白い
お馬が通る
小さな
小さな
おいへをひいて
今日も
何遍
往復したろ
人も通らぬ
一本野道

——傳家庄にて——

支那料理 婦人子供の喜ぶ 八寶飯のつくりかた

支那料理の中頃に「八寶飯」と稱する料理が出ますが、これは「點心」の部に入る料理でお菓子の一種であります、この料理は支那料理の點心中でも代表的なもので、特に婦人や子供達に喜ばれる料理ではあり、作り方も比較的簡單ですから時には家庭でのお八つ代りや婦人のお客さまなどの場合の料理として好適なものであらうと思ひます

▲材料 もち米、砂糖、砂糖漬の果物數種

▼つくり方 先づもち米二三合をよく洗つて普通の御飯より幾分やわらか目に炊き上げ、しばらく蒸してから程よく白砂糖を混ぜ、そこで丸味のある深い丼の中に用意して置いた果物の砂糖漬七種を好みのデザインにならべ美しい模樣をこしらへますこゝらの支那料理店では普通蓮の實、乾葡萄、杏、棗などを用ひてゐますが果物はなるべく數の少い方がよろしい、さてこれらの果物を丼の中にほどよくならべたら此の飾をこはさないやうに前に用意した甘い御飯をそろしづゝ盛つて一ぱいにし、そのまゝ蒸籠に入れてしばらく蒸し別の鉢に受けて型をはづし取ります。

街頭言

▼…大連童話會の處女講演會はいよいよ十六日午前十時から本社主催で開催されるが童話やレコードはいづれも子供達に喜ばれさうなものばかりが選ばれてゐる

▼…日本橋小學校の新築講堂披き祝賀兼ねて開催されることに話が決まる

▼…十一月も中を過ぎんとして氣温漸く下つて來た、これから外出が億劫になるがつとめて外氣に觸れるやうにすることが健康維持の第一要訣である

▼…ストーブの時期に入つて煤煙が街頭に渦巻いてゐる、都市生活者の冬の惱みの一つだ

▼…滿洲寫眞□□主催の寫眞展が明日から三日間三越樓上で開催される

▼…松林小學校では本日□時半から同校講堂で學藝會を開く

午後の斷想

中等學生の上級校へ學志望者が著しく減少して來たといふ

◇これは打ちつゞく財界の深刻な不況にもよるが今一つは上級校を卒業したつてどうせ職業にありつけないのならばいゝ加減に修學を切り上げて今の中に一時も早く就職の緒を見つけて置いた方が得策だと言つたやうなアキラメと悟りがさうさせてゐるらしい

◇しかし、就職難は決して上級學校の卒業者のみの問題ではなくそれは中等學校の卒業生にも小學校の卒業生にも同樣にふりかゝつてゐる問題なのである

◇こうなると人間は生れることが既に就職難の第一歩であるとも

隨筆 支那の多妻主義（一）
千隈次郎

支那における一夫多妻の習慣について、日本人間には「支那人は妾が多い程、世間に對して鼻が高いのださうだ」といふ人のあるのを、往々耳にするが、そんな馬鹿な話は絶對にない。唯社會的に勢力のある人や、財産家の好色漢がその勢力や金力で幾人もの女を納れて妾とするのを、社會が罪惡として深く責めなかつた、社會が深く責めなかつたからこれを敢てしたと云ふに止まつて、決して誇い事とは考へてならないのである。

▽……△

人格の高潔な人や、新人達は、心から之に反對はしてゐるが、何分にも先輩や目上がやつてゐる事ではあり、又如何に反對運動をして見ても、現在の支那の社會においては、未だ徹底せざる状態にあるため、何等表面的活動をするに至らないものが多い。

▽……△

しかし輿論の態度と婦人の覺醒とに因つて、この風習も漸次その影が薄らぎつゝあるが、女ならでは夜の明けぬ國は我が日の本ばかりでなく、支那にこの風習が絶對に無くなる事は、蓋し望み得られまい。支那人は如何なる動機で多くの妻妾を蓄へるかといへば、總括的には妾主義をとつても、社會が深く責めないから、金や勢力のあるものが大つぴらに其の好色心を滿足させるのであるが、これを細別するならば次の四となる。

▽……△

第一は早婚から來るもので、由來支那の男は早いのになると、十三四歳で結婚するため、嫁は自然婿よりも年上で、甚だしいのになると十歳も違ふのがある。結婚の初めこそ若い同志面白可笑しく暮しても行けるが、年が重なるに連れて、夫は三十であるのに妻が四十になり、夫が四十になれば妻は五十であり、男がなほ元氣な中年であるに拘らず、女はもう中婆さんとなつて自然元氣も衰へて來る。如何に可愛い女房でも、日しなびた婆さんの顏を見てゐれば、まあ誰しも若いのが欲しくなるといふやうな譯で、若い佳人を物色するやうになる。

▽……△

第二は許婚から來るもので、支那では氣の合つた同志がお互に、「オイ僕の嫁を君の息子の嫁に貰つて呉れんか」「ウムよからう」といふ調子で、先づ親同志で約束が出來てしまつて、然る後この事を嫁と息子に相談でなく命令する事が普通であつて、この場合嫁も決して否應ないふ事が出來ない、しかもこの二人は結婚式場で初めて顏を合せるばかりで、約束期間内に相逢ふ事は極稀である。又甚だしいのになると、「指腹爲婚」といつて「オイ君の妻君は近々破裂するさうだが、僕の處でも近々生れるが、どうだい生れるものの同志夫婦にしやうじやないか」といふ風に、生れぬ先から手取早く決めておくのもあつて（この場合萬一同性が生れゝば、一生兄弟姉妹として交際させる）婚姻は全く親同志の話合ひで、親達のみによつて決められて、見合も交際もせずに結婚するのであるからお互に容姿の美醜や、性質の善惡などが解らない場合が多い。それで幸ひに嫁が美人で性質が善良で、婿の氣に入れば問題は無いが、萬一これに反すると婚姻のおさまらないのは當然で「いくら親だつて、あんなものを俺の嫁にするとは、人を馬鹿にしてゐる。何が何でもあんな女と一生連れ添はれるものかい」と憤慨するが、憤慨した處で一旦約束して然も式を擧げるに至つたものを破談にする事も出來ず、そこでお定まりの蓄妾貿となつて、遂には妾として、引ッ張込む樣になる。

各校聖諭煥發記念事業瞥見…二… 朝日小學校の 純日本式庭園

大連朝日小學校では聖諭煥發記念事業の一つとして國民思想涵養は先づ國民的趣味の養成から出發しなければならないといふので日本人の父祖傳來の憧憬である山水の美の縮圖として母國の「庭園」を髣髴せしめるべく中庭に純日本式の庭園を築造した、此の庭園には山あり、池あり、橋あり、噴水あり、燈籠ありで、そこに梅、松、櫻、楓等の日本固有の樹木が配置よく植えられてゐる、

【寫眞は十一日の雪の日に寫した朝日校の庭園】

滿日各地版

奉天

石炭の缺斤を嚴重取締り 奉天署が要所に關所を

奉天署では石炭の需要期に際し關所に於て石炭運搬途中檢斤をなし嚴重取締りを行つてゐるが、石炭組合の協定による一噸の目方は正味千六百八十斤、風袋共千七百斤でこれを貫目に換算すれば正味二百七十二貫となつてゐる、そして奉天で取扱はれる石炭の一噸は十袋となつてゐるので一袋の目方は風袋とも十七貫二百匁が正確な目方となる譯である、故に一般需要者は石炭を買ひ入れる際、この目方に注意して檢斤をなし、また石炭組合員外のもので石炭の販賣をなしてゐるものもあるが、豫じめ需要者供給者間に諒解が出來てゐれば兎も角、それでなければ大體前記の通りとなつてゐるので注意されたいと、尙市内水上洋行事務所阿部氏は石炭需要期間だけ臺秤四臺を奉天署に貸與せるため奉天署ではこれを各要所に配置し石炭の檢斤を行ふことになつた

お客が强盜に早變り

十三日午前六時ごろ西塔大街三丁目鮮人權命燮方に一名の鮮人が客を裝ふて入り來り突然强盜に早變りし、隱し持つてゐた出刃庖丁で脅迫し金錢十圓を强要したが、權が驚いて逃げ込むのを見たこの强盜もまた吃驚して一物も得ずそのまゝ逃走した目下犯人嚴探中である

修養團聯合會が 全滿同志大會開催 十六日奉天で盛大に

修養團滿洲聯合會は同團創立二十五周年記念と教育勅語煥發四十周年記念を兼ね十六日奉天滿鐵倶樂部道場で第四回全滿同志大會を開催するが、本年は修養團創立二十五周年に相當し今春以來全國各地では續々記念大會を開催し、殊に去る五月十八日東京日比谷公會堂に於ける全國團員大會には畏くも閑院宮殿下の台臨を辱けなうし優渥なる令旨を拜戴して全團員感激に燃えてゐる際とて、滿洲聯合會に於ても特に本部常務理事宮田修、後援會幹事長瓜生喜三郎兩氏を迎へて教育勅語煥發四十周年記念を兼ね盛大に第四回全滿同志大會を開催することになつたもので、同日午前九時十分より午後五時過ぎまで午前午後に分ち各種の修養行事や講話等を行ふ筈である

明年度も醫大は 斷食豫算？ 森醫大幹事談

滿鐵本社で開かれた豫算會議に出席し十三日歸奉せる森醫大幹事は語る

本年度の豫算もこの會議で漸く承認され次いで明年度豫算について種々審議されたが、本年度の豫算も滿鐵の收入減による經費節約と醫大の收入減により物件費方面まで切り詰め殆ど斷食豫算でどうやら切り拔けられるやうであるが、又明年度の豫算も現狀に基き同樣斷食豫算を繰返すやうにならうが、その後は斷食豫算が續けられ不況に手がつけられるやうになるか、それとも景氣が盛返されるやうになるか現在の處では不明で現狀位なら絶對人件費には手をつけない積りである、尙大學の收入も一時は非常な減少を來してゐたので今後が憂慮されてゐたが今ではそれほどの收入減はないやうである

町のニュース

滿鐵で建設中であつた奉天驛の第一ホームよりの出口の鐵骨屋根は今回愈々出來上り柵のみとなつてゐるので十五日までにこれを完成し十六日から之を利用することになつた

◇安奉毎日新聞奉天支社では十三日午後六時から千歳において新聞通信記者その他當業者の會合を求めカフエー新取締令に關する座談會を開いた

◇吉敦線における共匪に殺害された鮮人に對する慰問に關しては先に在奉鮮人によつて慰問團が組織せられ去る十日西塔の鮮人幼稚園で總會を開催し追悼會、慰問使派遣

◇市内瀋遠通三番地支那雜貨商閻夏子方から十二日午後五時頃出火したが大事に至らず消し止めた、原因は高粱殼に紙で作られた天井に漏電したためで損害廿圓、又午後十一時半頃松島町十二番地岡田商店々員叢永善（五一）方からも發火し壁一枚を燒いて鎭火した原因は煙突の火、損害約十圓

◇鐵山縣生れ鮮人林昌錄の妻崔氏（二六）は十八年前夫に死別しその後は姑の許にあつて眞面目に仕へてゐたが、崔氏は一人居の淋しさのため不圖した事から不義の子を宿し人目を憚り來年六月姙娠のまゝ家出して今日まで歸宅せぬといふので奉天署へも搜査願ひを出した

人事

▲森本地方法院長 十二日安東より來奉 ▲中村第十九旅團長 十三日朝通過奉安東へ ▲仲村奉天署警部 十三日撫順より歸奉 ▲森醫大幹事 十三日入連より歸奉 ▲デ・マルテル氏（駐日佛國大使） 十三日來奉 ▲小關範士 十三日過奉本溪湖へ

長春

市場の魚類取締 嚴重にされたい 月例長春委員會開會

月例長春委員會は十二日午後二時より地方事務所會議室において開催、龍崎議長、得丸副議長、山本、赤羽、阿川三委員、事務所側より大岩所長、竹中地方係長、三原公費主任、龍谷交渉主任の諸氏出席、劈頭、得丸氏より最近着手した富士町六、七、八丁目の步道改修工事に對し施工時機に關し希望を陳べ、龍崎氏適當に處置されたき旨を補足し、三原氏豫算關係を説明して答へる、更に龍崎氏より最近の流行病による入院患者の死者に對し、屍體室において通夜その他の追弔をなす危險に關し病院側に事務所よりの警告方を提議、研究を進める事とし次回に留保、得丸氏より傳染病發生率に關し市場における魚類等の取締を警察側にて今一層嚴重にされたき旨、龍崎氏より家庭研究所の趣旨普及宣傳の強調方を夫々希望、後者に對しては所長もその必要を認める、得丸氏遊興税の調査方針につき質し三原氏より中國人側は印紙納入、內地［illegible］を答へ、得丸氏更にその嚴重調査方を希望、龍崎氏より次回の聯合會提案の愼重熟案を望み、委員張園棟氏の缺格を報告して同三時四十分散會した

北關夜話

◇十二日の地委員會で「敷島寮を初め社宅街――つまり文化施設の完備した處に傳染病患者の多いのは何故だらう？だれ」と龍崎君が直截簡明、同時に微に入り細に亘つて説明した末に「尤もこれは滿鐵社員でも上、中處はその點は大丈夫ですが」▲大岩所長「すると滿鐵社員は命がけで魚を喰つてるわけかな」で大笑ひ▲得丸君の遊興税の質問に三原主任が「自分で調査してゐますよ」若くて好男子の三原君、此の調査は少々心配

滿洲里

露支衝突の 早くも滿一周年 支那軍は當日追悼會

露軍飛行機が廿二臺突如曉暗を破つて滿洲里市上空に飛來し市中に爆彈を投下して正式に戰鬪を開いたのは昨年の十一月十七日であつた、爾來既に一ケ年を經過して尙露支交渉は成立しないが、支那側では滿一周年の來る十一月十六日公園に於て當時の戰死者追悼會を催す筈である、當日は蘇司令もハイラルから態々出席する筈である

義理に堪へかね 少年の鐵道自殺 （上） 崎田少年を繞る哀話

生母と養父母との間に挾まり義理の重みに堪へかね秋に木ノ葉の散るが如く十八の歳を最後として岡山縣下の三石附近の鐵路の露と消え果てた安東中學五年崎田正壽君……幾多春秋に富む彼れは何故に死んだか、生母の無分別か、彼が死ぬにいたるまでの經過をのべて世の親、世の子たるものゝ前に捧げやう

彼の生母は現在安東縣五番通菓子商延壽堂の妻として何の苦勞もなく生活を續けて居るが彼女が娘盛りの十八歲の頃市内市場通に相當の店舖を構へてゐた菓子商［illegible］助堂に知人の世話にて下女奉公に住み込んで居る中、性に目覺めた彼女は其の內に戀の相手を見出し甘い戀に囁きに日の經つのも忘れてゐる內遂に最後の肉體關係迄結び健康體の彼女は姙娠の身となりやがて玉の樣な男兒を分娩したのが本記事の崎田生である

◇此に於て彼女も最も力となるべき戀の相手は無情冷酷にも彼女と嬰兒を振捨て行方を晦ましてしまつた彼女は母とはなつたものゝ未だ十八の小娘しかも下女奉公の境遇此の先此の兒を如何に育てゝ行けるだらうか亦此の不義の兒を引取つて養育してやらうと言ふものもなしそれとて罪もない無心の赤兒を捨てる程鬼の如き心も起らず彼女は日夜惱み悶え淚の渴かぬ日とてはなかつた

◇其の內此の事情を知つた市場通雜貨店山田某氏の夫人が現在の養父母である崎田の妻女に對し此の可哀想なる彼女の物語りをなし子供を引取つて育てゝ吳れる人はないであらうかと相談をされたが崎田は犬猫を貰ふのと違つて人間一人を引取ると言ふ事は其の子が成長した曉には大概問題が起るもので新聞紙上等でよく見受ける事であるから若し問題でも起つた時は世話をした先方に對して申譯ない事となるからと相談には乘らなかつた

◇然し其の後山田夫人より再三此の哀れな母子の物語りを聞くにつけ同情を寄せる樣になり主人と相談の結果他人に世話するより我々夫婦が引取つて養育してやらうと言ふ事となり今より十八年前即ち大正元年十一月二十三日の夜知人である大野某の妻女及び山田の妻女と三人折柄シンシンと降りしきるボタン雪の中を冒して四番通七丁目の彼女の寄食してゐる家を訪れた、寒風肌を刺す十一月の下旬破れかゝつた風の歸る狹苦い三疊の部屋に彼女は無心の嬰兒を抱きしめ寒さに震えて居た

◇此處に於て崎田の妻女は嬰兒を引取つて養育しようと話をもちかけ最後に一言斷つておくが此兒が如何にならうと決して母子の名乘り等はして吳れては困るお互の爲めにならぬからと堅く約束して後赤ん坊を伴れて歸つた、彼女は薄暗き部屋の內から淚の目で之を見送り崎田夫妻の好意を感謝に泣いたものだ。

◇淚の生母から溫かき養父母の懷に引取られた赤ん坊は崎田家の長男正壽と命名入籍されたのであつた母乳でなく牛乳で育てる兒養父母の苦心は並大抵ではなかつた事は勿論蝶よ花よと慈しんで養育に努め早く成長を樂しんでゐたが生れつき病弱な赤ん坊は胃腸を損れ成田、大庭、滿鐵と市中の小兒科專門醫を片端から伴れ歩き鳥の鳴かぬ日はあつても崎田の赤ん坊の病院へ行かぬ日はないと近隣の人々から噂されるまで苦心したものであるが、依然として病氣がつき纒ひ生死の間を彷徨する有樣で此の上は神佛の加護に賴る外なしと姑兒が二歲の時養父は一生涯果物を絶ち養母は髮を切つて神佛に誓ひを立て祈願をこめたのであつた。

◇斯くて漸次小康をたもちつゝ五歲迄育てたが又もや大病に罹り醫者から到底駄目であると最後の宣告を下され玆に於て養父母は棺桶まで準備をしたが流石の難病も薄紙をはぐが如く漸次快方に赴いたのであつたそれより三ケ年間幼稚園に行く正壽八歲の時養母は母子二人連れで知多半島新四國八十八ケ所高野山等を巡つて禮參りを濟ませたと言ふ事である、斯くて病弱ながら小學校を卒業し去る大正十五年安東中學校に入學、在學中は優秀の成績を以て今年の春五年級に進み來春は卒業と迄漕ぎつけたのであつた彼正壽は卒業後は更に內地の高等工業學校に入學する考へで受驗の準備をなしつゝあつた、此處に於て年老いた養父母は苦勞の甲斐があつたと互に喜びかつ行末を樂しんで居たのである。

遼陽

特產漸く出廻る だが一昨年の半數に達せぬ

遼陽及び附近の特產物は昨年遼西一帶洪水の爲め不作、一昨年に比するも尙五割以上の減收を豫想せられ出廻り時期に入れば取引殷賑を呈すべしと豫想されたるに拘らず、銀安と需要地の豐作にたゝられて出廻り更に振はず特產物商も手持無沙汰の氣味であつたが、昨今寒氣が加はると同時に漸く出廻り多くなり遼陽驛への出貨一日二十四五車に達するに至つた、之れとて一昨年の同時期に比すれば半數に達せぬ有樣であるが官銀號の特貸資金の流通により日一日と出廻り盛なるべしと豫想されてゐる

公判延期 ［illegible］事件

の公判は廿日開廷の筈であつたが十二月四日に延期

商民救濟に 官銀號貸出

遼陽官銀號支店では文縣長から縣內商民の窮狀救濟方につき交渉を受けたる結果、今回現大洋卅萬元を取り敢ず地券及び家屋擔保で貸出すことにしたが、利子一步七厘で十三日迄に既に五萬餘元を貸出したと、これがため特產物市場も漸く出廻りが始まり日一日と取引盛になりつゝある

金光教大祭

遼陽金光教會では十六日午後二時から秋季大祭執行、祭典後沿線教會長の講話がある

人事

▲中村旅團長 十三日朝安東へ ▲岩永第十六師團經理部長 同上南行

吉林

孫中山誕生日

省立民衆教育館にては十二日孫中山の誕生記念日のため晝間は同館講演部職員を以て特別講演を開き夜間は第一講演會場に於て幻燈講演を講演主任は孫總理の精神と題して行つた

中學校夜學部

省城東林中學校にては夜間英學部を設置することゝなり、校長林棨自ら教授することになつた、其期間は十一月十五日より十二月末迄である

秦會辦歸吉

省城永衡官銀號會辦秦某は先般大連に赴き在連の大豆取引者間に奔走し同號の北滿方面に於て強制購［illegible］あつたが十一日報告した

最近の在監者

省城第一監獄所に於ける最近の在監者を調査するに七百八名あり又看守所にも拘禁者四百六十名ありと云ふ

營口

輸出終航近づく 日本側の不振に反し 支那側は相當の成績

支那側航船業者の業績は日本側の不振に反し相當の成績を擧げて居る模樣であるが南支方面へは石炭、大豆、豆粕等の輸出活況を呈し相當の利益を得たる趣きで終航も間もなきことゝて一段の活況を呈すべしと

車數を增加

永世街三義興自動車公司は乘合自動車營業開始以來良好の成績を收め目下四臺にて運轉して居るが道路修繕工事完成の曉には全市に亘りて運轉するよしにて尙車數も漸次增加する豫定であると

販路調査員

關東州水產會派遣の奥地販路開拓調査員松村繁雄、村上庄三郎、羽月治郎兵衛の三氏は十三日來營し關係筋と種々打合せをなし歸連した

白塔だより

▲山崎遼陽副領事 十三日奉天へ▲交知事の轉任先は松花江（ハルビン）と張家口の間違ひであつたと、文さん在勤一年足らずで數萬圓儲けたとの噂ほんまかしら▲縣長の交迭で交渉員の張君轉任說があるが後任知事が最初奉天外交辦事處の某課長との說であつたがこれもどこかの鐵道に居る課長が昇任して來るらしい▲從つて張君の轉任も目下のところ未定▲滿鐵は社員の冬季運動に室內でバレーボールを獎勵して居るが、室內と云へば遼陽あたりでは小學校の講堂位、之では到底ものにならぬ殊に遼陽あたりでは經費がないと云ふ話し一層のこと下駄スケート位で屋外運動を獎勵しては如何それとも溫室育ちの方がよいのですかね▲北館集會所も再開はしたが矢張り倶樂部といふ經營問題で惱んでゐる、惡まれぬ北館在住社員のため何とか繼出方法はありませんかなと係の方で考慮中

開原

兒童慰安映畫

滿鐵勞務課主催の第三十九回兒童慰安活動巡映會は來る二十日晝間十二月一日開原に於て開催の豫定なるがプログラムは左の如し

一、實寫 日月譚 一卷
一、漫畫 オイ等のスキー 一卷
一、喜劇 突貫ガラクタ列車 二卷
一、兒童劇 明日天氣になあれ 五卷

語學檢定試驗

滿鐵第九回語學檢定試驗華語科豫備試驗合格者に對する本試驗を十三日開原實業補習學校に於て施行

開原警察署へ 慰問金 軍人後援會から

帝國軍人後援會全滿洲支部にては駐滿軍隊並に警察官の勤勞を犒ふ［illegible］部を通じて娛樂器具その他を贈呈する事となり、去る十一日伊澤理事來開し開原警察署員に對し金五十三圓を贈つた

高等科研究會

高等科研究會は十二日開原小學校にて開催された出席者三十名に達し既報の通り午前中實地授業特に兒童の自治會代議員會並に高等科生徒の職業調査發表會等に一同の注意をひき、午後研究發表批評討議等各自遠慮なき意見の交換をなし午後五時頃終了したと

地方委員茶話會

開原地方委員會にては十四日午後二時地方事務所に於て茶話會を開催し

一、市街地區劃に關する件 一、公費徵收に關する件 一、地方委員權限に關する件

其他に就いて協議をなした

語學試驗委員

滿鐵語學檢定本試驗施行の爲め試驗委員秋交國太郎氏外二名十三日來開

慶應庶務係長出張

開原地方事務所慶應庶務係長は要件を帶び鐵嶺野砲兵聯隊へ出張

安東

安東氷滑部 幹事會

寒氣嚴しくなつてウインタースポーツの季節となつたので安東氷滑部は十二日午後二時から地方事務所會議室に於て第一回幹事會を開催

鴨綠江氷上大リンク設置の件、陸上リンク設置の件、日本代表選手滿洲派遣の件、大選手養成の件、會員募集の件、その他につき協議するところあつたが、鴨綠江大リンクは江上の凍結を待つて適當の箇所に例年通りセパレートコースの理想的リンクを新設し、陸上リンクは六道溝のトラック內に設け、陸上リンク設置に就いて第一の難事とされて居る注水其他は奉天リンクのそれを學ぶ事となり幹事を同地に派遣する模樣である、陸上リンクは要所々々に電燈を點じて夜間の練習に便ならしむる筈である、なほ歐洲派遣代表選手の豫選は地理的關係から奉天リンクの完成を待つて同地に於て十二月中旬頃行はれる事となつた模樣である

送別演奏會

辯護士富永是保氏は近く一家を擧げて東京に轉住する事となつたが安東ピアノ同好者は多年斯界に功勞ありし富永夫人のため來る十六日午後二時から安東高女校講堂に於て送別演奏會を催す事となつた斯界の名手多數出演することゝて盛況を豫想されてゐる

新塊炭値下 一トン十三圓五十錢に 需要者に福音

滿洲冬期間の必需品たる石炭は一般諸物價の低下を外に聳ばかりで更に値下げの實現がなかつたため炭價を下げよの聲は各方面に起り今や輿論化するに至つたので、安東炭友會では率先して滿鐵と交渉を進めてゐたが地一般の振合ひもあり其の實現は困難とされてゐたところ今回漸くにして炭友會の希望が入れられる事となつて十三日より新塊炭一噸十三圓五十錢といふ大値引の上發賣する事に決定した、新塊炭は舊塊炭に比し殆ど遜色なき由にて舊塊炭一噸十六圓に比しその價格二圓五十錢の下値であるため一般家庭の採暖用燃料としては大いに歡迎さるゝに至らう、いづれにせよ石炭代の値下げは一般不況の折柄各方面から歡ばれてゐる

大々的防火宣傳 『油斷大敵』『火の用心』 來る十七日に行ふ

火災事故の續發する結氷季節に入らんとする際、安東署、地方事務所、安東火災保險協會は共同主催の下に來る十七日を期して大々的防火宣傳デーを催す事となつた、當日は數臺の自動車及びオートバイに各當務者が乘込み「油斷大敵」火の用心等の防火標語を印刷した約一萬枚の宣傳ビラを安東全市に撒布し防火宣傳の徹底を期する事となつた

丸中製材所 燒く 溫突の焚過ぎ

十一日午後四時五十分新義州府內本町一番、丸中製材所內宿舍より火を發し忽ち火の手は八方に擴がり事務室及工場に燃え移つた、急報に依り第一、二、三部消防は直に馳せ付けて防火に努め續いて守備隊初め營林署、王子製紙、安東滿鐵の各消防隊も應援消火に努めたるも折柄の北西風に煽られて容易に鎭火せず

工場は

乾燥し切つた木造建であり構內には多數の製材、屑板、鋸屑等山積して居た事とて紅蓮の焰は物凄い渦卷となつて構內を舐め盡し、更に附近に立並ぶ住家に延燒せんとしたが消防隊必死の努力に依り辛うじて喰止め午後七時頃一旦鎭火したるも、餘燼は二度燃え上り消防組再度の出動に依り十二日午前零時三十分に至り全く消し止めたが近來の大火であつた、出火場所は事務室隣りの支那人現場係合錦福住宅で、原因は

溫突の焚過ぎから 引火し

たものらしく當日工場は休業職工苦力は殆ど不在で居た工場主中込精一氏は前記部に火傷を負うた、燒失家屋は木造平家建一戶三棟で住宅、事務室、工場、倉庫合せて建坪二百九十六坪と外に木材多數である損害約六萬一千圓に上りそのうち機械に一萬圓の保險を附して居るのみである

大石橋

士官學校入學

大石橋守備第三大隊本部附高橋曹長は過般施行せられたる陸軍士官學校採用試驗に見事に合格し來る十二月一日少尉候補者として入校する事となつたので本人の喜びは勿論であるが直屬上官たる寺尾大隊副官は本人以上に快然として語る

高橋曹長は人格高潔にして思慮周密而かも業務に對して熱心溢るゝばかりである、大隊本部書記として極めて多忙なる事務に服し殆んど寸暇なきの狀態なるに拘らず此の競爭激甚なる入學試驗に合格したるは洵に偉とするに足る、本人は受驗に志してより酒煙草は固より茶まで廢し、湯水を飲みて勉強したとのことである、同僚中にても高橋は何時就寢し何時起きるのかを知る者無く何時も精勵努力しつゝあつたには驚いてゐたが今回見事に試驗合格の名譽を贏ち得たのも必死の努力に對する當然の報酬として何れも感嘆してゐる次第である

家庭慰安映畫

大石橋地方事務所勞務課特選に係る本年掉尾の家庭慰安活動寫眞は十一月十三日午後六時半より公會堂に於て開催したが吹雪にも拘らず盛會であつた

輸組役員總會

大石橋輸入組合に於ては十三日午後六時より小林理事宅に於て役員總會を開催し業務概況並に聯合會よりの通知事項等の報告をなし各役員の意見を聽取すると共に小林理事自身の組合員に對する希望等を述べ九時過ぎ解散した

撫順

低資借入問題 漸く解決す
六十五萬圓の融通で 死地の撫順救はる

鑛産に鑛産を重ね流動資金涸渇經濟的窮境のどん底にある撫順新市街住民三年越の念願たる不動產組合低利資金借入問題が伍堂理事、築島次長等の最後の骨折で漸く解決死地に瀕せる撫順市が茲に救はれる事と確定した、それは「六十五萬圓」を限度として滿鐵の保證に依り內地より短期の

低利資金 を借入れてやると云ふので而もその利子は年五分乃至六分と云ふ低利で從來の利率一割六分に比すると實に一割年六萬五千圓の差ある上据置一年九ケ月で拂へばいゝと云ふ有利な條件である、但し右低利金貸付には左の三條件がある

一、往時千金市街に居住せる者で露天掘擴張のため新街に移轉自ら家屋を建て現在家屋を持つもの

二、現在窮狀にありと認める者、但し既に會社の保證で低利の融通を受けてゐるものは除く

三、償還能力ありと認むるもの

以上の條項に該當する組合員を主體として金融機關を組織市街移轉に關連し二度と炭礦乃至滿鐵にこれ以上の無理を云はぬと組合員一體となつて責任を持つて誓ふ場合は明日にでも前記六十五萬圓を限度として低資の世話を滿鐵がしてやらうと云ふのである、これは撫順の町が他沿線と全然趣きを異にし滿鐵事業遂行上市街移轉のやむなきに至りたる際次の如き特殊事情ある爲特に保證の便宜を與へてやらうと云ふ事になつたのである卽ちその

特殊事情 と云ふのは概略次の如き事情である、古城子露天掘擴張の爲め千金の舊市街より現在の新設市街に移轉したる際建築規定嚴重なる爲め撫順の購買力に不相應なる家屋を建て一見市區整然大都市の觀をなす町は出來たがその間內輪は何れも火の車で流動資金を尨大なる家屋に固定しつくし流動資金全く涸渇の狀態となり遂に右家屋を擔保として年一割六分以上借金をしてゐるので全市の融資が動きがとれなくなりその肩替りの必要あり昭和三年十一月不動產組合を設立組合一團となつて低利資金の借入方を正隆銀行に依賴せるも同銀行は二年越に組合をひつぱり廻して置きながら當時撫順支店長たりし某の無誠意極まる態度に依つてドタンバで見事背負投げを喰はされし形となり市民を擧げて激昂せるも遂に及ばず遂に本年二月山西炭礦長當時炭礦を通じて左記三案をさげて請願書を滿鐵に提出するに至つた、卽ち第一案

三年越の 鑛產となり本年

百五十萬圓程度の動產會社を設立する故その半額七十五萬圓の株を滿鐵で引受けて貰ひ度し、第二案組合員の不動產を七十五萬圓程度で買收され度い、第三案、五十萬圓程度の融通又は保證をされ度しと云ふのであつたが爾來迂餘曲折の交涉後本年六月築島次長來任、次で七月伍堂部長赴任、兩氏の最後的斡旋で滿鐵本社でも充分研究、考慮の上右撫順市更生案が茲に解決されたのである、この聲一度傳はるや右組合成つて空しく三度目の債鬼門に迎ふ年の瀨を迎へんとし死に直面せる撫順の町至る處に歡聲湧き直接交涉ある組合員は勿論、經濟的關係ある撫順市全體のものが始めて救はれたる如く狂喜してゐる

熊岳城

實習所第二期生 本月末出所
全部滿洲に止まる

熊岳城農業實習所第二期生はいよく所定の實習を終了し本月末を以て出所する事になつたが自らトラックを運轉し率先して土にまみれ收穫にはげむ小原所長の精勵振りがよく所生を感化せしめ良好の成績を收めて來た處より今回出所する實習生も皆滿洲に止まり農耕にいそしむ事となつた、今其の希望申込中の耕作地は鞍山、貔子窩農事會社、普蘭店方面であると

瓦房店

父兄會に寄附

當地澤井清氏は令孃忌明に當り本日父兄會に金二十圓御寄贈した、尙當會を通じて當家政教室に金十圓を寄附した

「僕の研究」 愈々精進
昆虫の慰靈祭

先般「僕の研究」と題してキリギリスの研究を出版した熊岳城小學校生、本宮要君はキリギリスの外幾百千種の昆蟲を研究しつゝあるが該冊子出版せらるゝや各方面の教育者、昆蟲研究者、博物學者よりござしご激勵の手紙が舞ひ着き或は參考書、採集道具等を送り今後益々研究に資すべき種々の贈物が到着して居る、因に同君が其の間殺した幾千の昆蟲の爲めに來る十五日自宅に於て慰靈會を催す由

給水タンク
給水使用開始

豫て工事中であつた給水タンクは舊タンクの二倍餘の高さを有する新式タンクとして竣工し既に給水使用する事となつた、なほ十七萬圓の工費を費したといふ農業實習所第三農場の牛舍其他もいよく落成したので從事員一同も同社宅に移轉したが今回竣工した牛舍は小原氏の發案に成る米國式の牧草壓搾タンクや新式の牛乳消毒場バタチースの製造場等理想的のものだといふ

鞍山

防火の特別警戒
寒氣に向ふと同時に 鞍山消防隊の盡力

鞍山消防隊では愈々嚴寒となり火災期に入つたので萬一の場合を慮り每日機械器具の使用消火栓の故障の有無隊員の出動準備演習等を行ひ目下每日午前九時より一時間市內一圓に渉つて警戒し夜は特別

歸順直後の霧社蕃 (4)
十五年まへの思ひ出
東京にて　旭東生

立鷹 の一夜明けて又も銃手を先導に山を下り霧社に還る途上ロードウ蕃社を訪へば、霧社の上丘半里の稜線傾斜地にある蕃屋約五十此邊の部落としては小なるもので增田警部補・谷田巡査に導かれて部落內に入れば二三年前は吊ぜし人の首ありといふも今は影も形もなく筧の水淺々音をなして落ち、日當り好き地區を選びし山村に蕃人男女頗る歡迎し悉く開放して見せる、恰も農繁で出働き居る者も多く男女兒童は集り來りて觸れ、中には片言交りに內地語を語りて好意を表するもあり、飼養の豚と交はりて各戶に飼へる犬の吠へ立てる間を各戶に入りて見る

家屋 は石盤石又は土砂にて擁壁を築き地下二尺乃至三尺を掘り下げて以前は銃眼を設けたれば今も其跡があり、周圍に割木小石等を積み上げ短き柱を立て屋根は茅葺なるも山地に多き石盤石にて葺けるもあり、銃器は一通り引揚げたれど槍、弓等の武器尙存して勇武を誇る屋內は土間にて其隅に竹張の寢臺を設け冬は割木を焚きて煖を取るも夏は甚だ涼し、什器所狹きまで並べられ其數や種類は內地人にも

愛玩 さる、又各一棟又は二棟の倉庫を有し柱座ひにて地上三四尺の所を床底とし恰も二階建の如く、四邊の柱には大なる傘形の木蓋を附して鼠の攀るを妨ぐ、庫內には粟を貯へ稀に衣服を藏するもあり粟は概の儘一年分を貯へるもあり新作穫らざれば之を食はず一年後れの不味なるを食ふも用心深いが蕃婦之を木臼に入れて舂き糯臼して湯の中に入れ粥の如くして食ふ又冷して食ふもあり醱酵を待ちて所謂蕃酒を製するもあり副食物は

飼養 せる豚、鷄等を用ゐまた川魚を漁り鳥獸を獵す、野菜は作らず果物は天然の儘を採取してゐる、かくして蕃人は頗る呑氣な生活をしてゐるが財產といへば人首は最早問題にあらず生命より二番目の銃器は次第に引揚られたれば(尤も本島人より密輸行はる)

人骨 を飾りたるもの倉庫の糧食と衣服裝飾品であるが裝飾品中には人の齒を以てせるもの…刺墨は禁止後其無きあり蕃婦は少女に刺墨なく…更に示し公學校通ひの少女子の耳の環は本島人も…りて內地人と異らざるもの…

美人 の相少からず…

滿鐵醫院

ガラ空き
珍らしい現象

鞍山滿鐵醫院の入院患者は近年稀な少數にて外來患者も亦昨今非常に減少し傳染病棟は暫くガラ空同樣で鞍山の衞生狀態は頗る良好であると

石川醫師篤行

鞍山赤城町理髮職人坂口源助(一〇)は本年三月朝鮮より來鞍し働いて居たが九月頃助膜炎と腹膜炎に罹り難澁して居るのを石川醫院主石川義助氏が同情し二ケ月間親切に施療投藥して來たが病狀益々惡化入院の外なくなつたので隣家の小川洋服店主が警察署に願ひ出で濟生會に相談し鞍山醫院特別施療患者として入院加療せしめることに決し十二日入院せしめたが石川醫師は貧困者に對し無料診療を施すこと多く其の奇特な行爲に對し其の筋でも感じ亦一般からも喜ばれ

市街整美取締

鞍山警察署では最近市街一圓に廣告ビラや宣傳ポスター等が電柱や並木に貼られ或は人道に立看板を立て掛けたりして甚だ市街整美の點より赤各方面より觀て取締上注意すべきこと多く署では十二日より市街整美の取締を開始したが一般は處罰を受けたり注意を受けたりせぬ樣充分注意されたしと

佛教學校映畫

鞍山知恩寺內鞍山佛教日曜學校では十三日午後六時半より赤城町演藝館に於て日曜學校資金募集の爲め活動寫眞會を開催したが盛況であつた

協和會總會

鞍山北三條町協和會では十二日午後五時より本年度總會を實業協會堂に於て開催し決算並に來年の豫算を行ひ役員の選擧を行つたが大體に於て重任し後觀宴を張つたが盛會であつた

工大の辯論會

旅順工科大學學生第三回辯論大會は十二日午後六時三十分より昭和園に於て開催聽衆約三百餘名先づ學生を第一に職業婦人から公休日に當つた花界の姉さん連で一寸學生の辯論會には不似合な光景、豫定のプログラムに從つて小林周次郎、古賀俊甫、馱野政治、藤崎鐵、森永卓弌、渡邊孝三井武雄の諸氏得意の雄辯を振ひ最後に久保田駐在武官の支那の警備と我が海軍に就て興味ある講演あり同九時四十分盛會裡に閉會した

旅順

晩蠶飼育狀況 甚しく不良
空頭性軟化病發生

旅順管內に於ける晩蠶飼育狀況を見るに▲飼育戶數一六戶▲掃立枚數三八〇枚▲同時期自八月廿日至同三十日▲上簇は期日九月二十五日至十月二日▲收繭量六一五、六五〇匁▲同價格八五六圓七三〇▲上繭一貫最高價格二圓三九〇▲同上最低價格一圓一七〇▲同上平均價格一圓五七〇▲蠶種一枚の收繭量は一六二〇匁卽ち飼育狀況は當地蠶業試驗場に依る日支三元交雜種を漫種にして發生狀況は概して良好を示し本期飼育者全部は日本人にて戶數は前年に比し減ぜるも掃立枚數に於て四十六枚卽ち一割強の增加を示してゐるが一般的には掃立後の經過良好ならず早きは二眠前後より空頭性軟化病の發生を見るに至つて好成績のものは半位、他は全滅に近き狀態である、之れが原因は晩秋の飼育方法當を得ず所謂追掃重摺の弊に陷つたゝめか又秋蠶業後の影響を受けて桑葉の成熟充分ならず飼蠶中不注意に摘葉ぜるものゝ爲め多くは蠶兒をして桑葉不足に陷らしめたるが原因なるべく更に繭取引の合理化を計るべく當期生產繭に就いては各販口に對し特定の方法に依り檢定用繭を取り日挽繰系試驗により生繭百匁に對する實系量を換算しこれに掛目を乘じたるものを眞價として取引せる由にて蠶業に供給の狀況は不足ではなかつたと

刑務所の 街頭進出
作業係の活躍

旅順刑務所の作業係ではたゞさへ官業橫暴、民業壓迫だとの聲を耳にするため近くトラック一臺を購入し狹い旅順より廣い大連への地方進出をなす由で第一着手として作業品の實物展覽並に定價の表示を行ふ由である、因に刑務所現在の作業は二工場を持つて約七十名の作業員が鋭意その業務に努めつゝあるが何んと云つても一番安いのが金網細工、精巧な方面では塗り物細工や表裝類で洋服部の如きは不景氣とはどんなものかと云ふ調子の大盛況である、尙又年賀狀も百枚十五錢、五十枚位だつたら十錢位で印刷して吳れるが申込は十一月末迄であると

法院便り

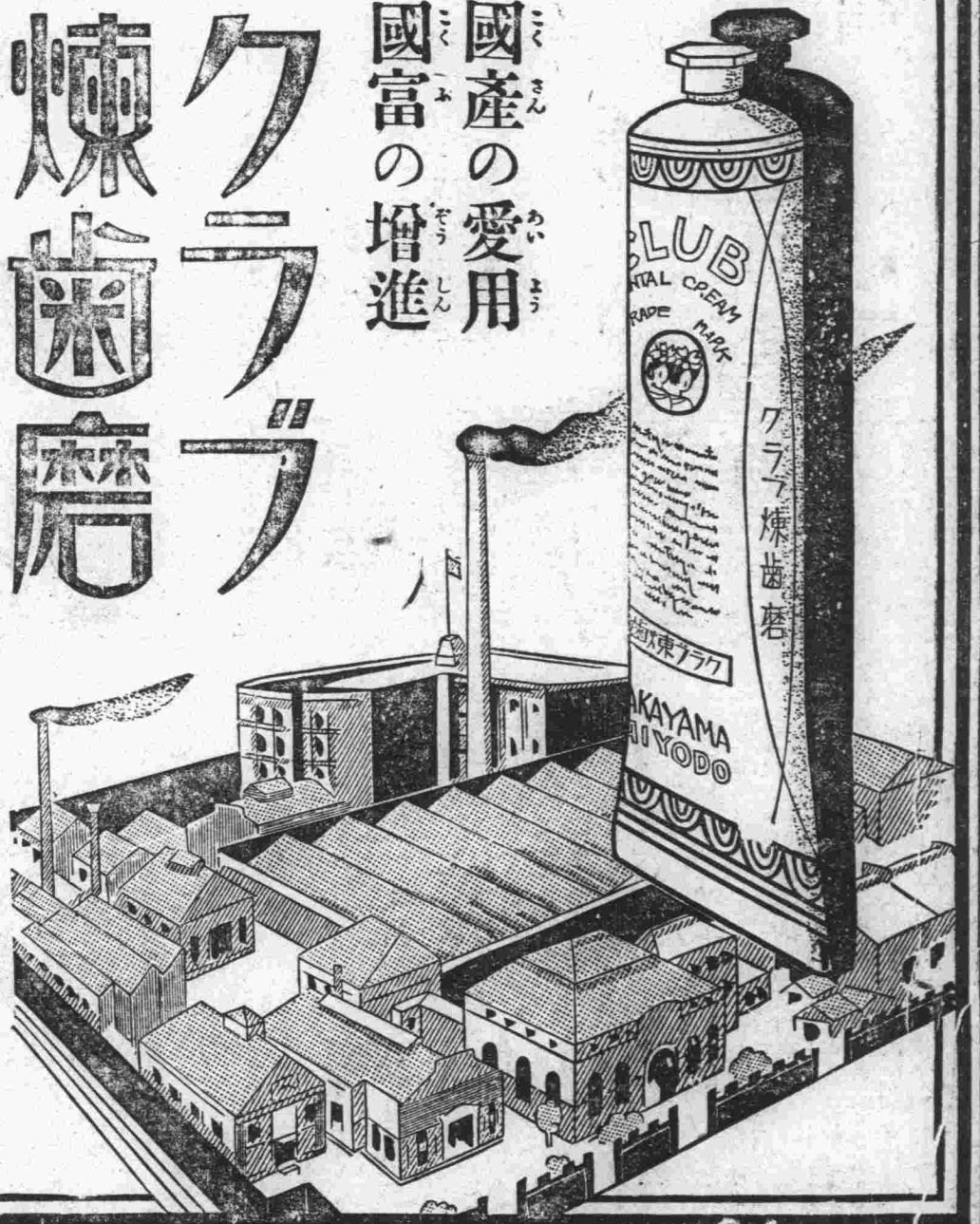
十二日旅順高等法院覆審部に於て開廷せる刑事公判は▲旅順の強姦未遂で一寸人騷せをやつた小出尙(一七)に對しては被害者より告訴取下げをなしたので訴棄却となり▲無線電信違犯和田賢太郎に對しては續行次回は二月十八日▲詐欺永井彌作に對しては安東縣怡隆洋行の主人フミ、ショウ(日本婦人)鮮人店員金文奎兩名の證人調べあり結審となり言渡しは同十九日▲同安田源太に對しては同上▲匪賊姚學玉は職權變更となり次回未定

市中の噂

歩兵第九聯隊から入院中傷病兵の美擧に對し又同聯隊の某兵卒から金三圓を憲兵分隊に送つて來た▲同分隊では「どうも奬勵する樣で面白くないから發表しない…」と云ふ、美談美擧は大に奬勵して好ささうなものだが矢張り之れも「見解の相違」と見える▲旅順醫院の賣店は近く院內の外科部へ通ずる右角の一室に移轉するさうで從來のやうに一々門の處迄買出しに出掛る必要がなくなり患者のためには結構なことである▲入院中であつた管內猴鵝咀王會臣の長女王貞女(一〇)のお腹の膨れる奇病は去る十日加藤外科部長執刀で大手術を行つた▲何しろ珍しい事とて醫官醫員總出で見學した、手術は一時間半ばかりで終つたが取出した肉塊は實に五千瓦、一寸一貫三百目強、コレワ「胎生的腎臟癌腫瘍」と云ふのでコンナ大きなものは全く珍しいと云ふ▲之れが爲め內臟はスッカリ横の方へ押しつけられ肋骨の如きも下部へ突起してゐたさうで胎內から既に此疾患があつたのである▲可哀想に此少女も到底生命は無いのであるが十二日朝遂に學術的貢獻を殘し死亡した要するに刀圭術のため三年間の現世に姿を現した少女であつたのだ

不老不死 仙遊記 (四十七)
竹内克己　淺枝次朗畫

眞仙は去る

國産の愛用
國富の増進
クラブ煉歯磨
衛生第一の國産
セルロイド製柄
クラブ歯刷子
CLUB
NAKAYAMA TAIYODO
新
プランソン天威
球電入斯瓦天威
球電消経な徳お敬かる電く明るよくち
内は鮮消、眞珠の表
放つ光は春の色
TEC
東京電氣株式會社
樽は吉野の甲付樽よ
酒は伏見の高級銘酒
呑めや愛酒家
エイクンを！
エイクン
大連 辻利ビル内
電話四三八七七六番
大理石の御用は
内田石材店大理石部へ
南滿大理石工場
銘酒 白鹿
ニューヒンオール
樂園莊
大連時報
内科専門
安富醫院
耳鼻咽喉科
澤田醫院
小兒科
内科
婦人科
高橋醫院
大連の紙屋
和洋各紙
製圖用紙
大連市
緊縮節約の折柄
特に宿料の勉強と親切叮嚀をモットーと致します
東旅館
富士屋旅館
産婦人科
婦人の病は婦人の手で
永井婦人醫院
新装
カレンダー
ポスター
製造卸
藤井印商店
大連市浪速町
電話五八七四
JANUARY
1
國際運輸作業係
業務の刷新
製品 鐵道車輛、鐵道線路附屬品及信號製置
大連機械製作所
水道器具
衛生器具
私設下水
汚水浄化
消火器
暖房器具
須賀商會滿洲總代理
株式會社 進和商會
選擇の秘鍵
石鹸選擇の必須條件は 優秀 至廉
徳用の三點に他ならず この三拍子を
完備したのが 即ち此石鹸であります
使へば使ふ程 眞價のわかる
ミツワ石鹸
大量生産による 妙味を發揮して
其品質は益々優秀に 而も
溶解は適度にして半途で
溶崩がせず 經濟で頗
る永く保つお徳用さ
この良質の石鹸をよく此廉價にて提供できますのも、大量生産の結果、即ち各位御愛用の賜物に外ならず、厚く御禮を申上げます
Mitsuwa Soap
MADE IN JAPAN
本舗 東京 丸見屋商店

殺人未遂現行犯で首相狙擊の佐郷屋を起訴
金山檢事正以下協議の結果
犯人の黑幕檢擧を命ず

【東京十四日發電通】東京地方裁判所檢事局は金山檢事正以下協議の結果犯人の背後と見らるべき人物の檢擧を命じてゐるが佐郷屋の犯行は法律上計畫的なる殺人行爲と認められ殺人未遂現行犯として今夕までには起訴收容さるゝであらうと

手術室の外で經過を氣遣ふ悲壯な三閣僚
夜に入つても院外團や警官が嚴戒
流石落付いた夏子夫人

【東京特電十四日發】傷ついた濱口首相を乘せた寢臺自動車が帝大鹽田外科門前に停まると驅つけた民政黨院外團は殺氣立つた亢奮のうちに搖めきあひ、悲壯な光景を呈してゐた、擔架に仰向けに寢た首相の顏は白布をもつて覆はれ、遭難その儘の外套が見る人をして痛ましい追憶を呼び起させた、夏子夫人は流石首相夫人さして落付きを失はず健氣にも首相の手術の終るまで令息巖根、中島秘書官と共に夫君を看護つてゐた、首相が別室に這入ると病院入口廊下は警官、憲兵、院外團によつて嚴重に警戒され、通行人はすべて差し止められた、鹽田博士執刀の手術がはじまると井上、江木、幣原らの閣僚は暗い面持ちで手術室の外で經過を憂ひてゐたが午後二時四十分手術を終つて

◇…鹽田博士 より首相の負傷經過良好を聞いて愁眉を開いた、首相の病室鹽田外科十二號室は十六疊敷の廣間で、首相は自邸から運ばれた蒲團とシーツを敷いたベッドに東向に仰臥し昏々として眠つてゐる、首相の枕頭には夏子夫人、令息巖根君、中島秘書官が何くれと世話して醫大病院から選ばれた看護婦二人がまめやかに看護に努めてゐる、夜に入つて首相の病室からは固く下されたカーテンを通して薄

◇…暗い灯の 光が洩れ、隣室十一號室には御下賜の菊花五鉢が飾られ親戚の人や黨員が詰めてゐるが、病室の廻りに並ぶ樹々には晩秋の夜風が木の葉を鳴らし哀愁に鎖された雰圍氣に滿ちくてゐる、病室前には黑白のダンダラ幕の受付が設けられ見舞客は引切なしに續いてゐるが百燭光の大電燈の影に急設された五臺の假設電話のベル音もそぞろに寂しみを與へる、病室の外には夜に入つても憲兵が嚴重に警戒し、首相は絕對面會謝絕さあつて肌寒い

◇…病室の外 には數十名の警官と各社新聞記者詰きり緊張した空氣を漂はしてゐる

水上署で船客名簿調査
犯人在連說に

首相狙擊犯人が曾て在連したといふ確說が入ると共に當地水上署においても同人の動靜に關し調査の必要上當時の船客名簿をめくつて嚴しい調査ぶりを示してゐる

佐郷屋留雄
多少苦學したらしい

【長崎十四日發電通】長崎縣兵事課調査によれば佐郷屋留雄は昭和三年赤坂區で徵兵檢査を受け學歷さしては尋常小學校を卒業したのみであるが受檢の際は中學二年終了の認定を受けてゐる點に見て多少苦學したらしく身長五尺一寸九分體重五十九キロ丙種合格である

大演習は豫定通り遂行

【岡山十四日發電通】[illegible]地にも傳はつたが大演習は統監部に基く、陛下御親裁の純然たる軍事上の行事なれば參謀本部方面では如何なる事あるとも豫定通り遂行する方針だと

證據蒐集の爲
判檢事某方面に出張す

【東京十四日發電通】濱口首相狙擊犯行の物的證據蒐集のため渡邊檢事正、本兩豫審判事、木内、鈴木兩檢事は家宅搜索のため某方面へ出張した

三對一にて帝大勝つ
對慶應ア式戰

【東京十四日發電通】ア式蹴球の一帝大對慶應戰は十四日午後二時半神宮外苑競技場に擧行したが三對一で帝大勝つ

帝大 三{二一／一〇}一 慶大

教專蹴球團
昨夜着連す

來る十六日大連運動場に於て行はれる全國高專ラグビー大會滿洲豫選會に出場の奉天教專ラグビー部一行は齋藤秉吉教授に引率され二十時着列車で多數在連教專先輩の出迎へを受け直に東郷旅館に投宿した

隧道崩れ死者百餘名
フランスの椿事

【リヨン（フランス）十三日發電通】十二日夜半最近の豪雨のため地盤に緩みを來した結果、突然當地サン、ジャン寺院附近の人家最も立混だ區域の地下トンネル崩潰し多數の人々が生き埋めさなつた、この内には多數の尼僧も加はつてゐる、椿事の報に接し直ちに消防手、警官現場に行き救助に努力中である、なほ救助作業中にも其の後二回に亙つて再び地盤の陷沒あり救助者のうち生埋さなつたものも尠くないので大騷ぎを演じてゐる、現在までに判明したところでは消防手、警官約十六名を合し七十人以上に達して居り、このほか二十名の者が救助され病院に送られたが生命危篤である、結局死者總數百名内外に及ぶものと憂慮されてゐる

大連卓球大會
けふ申込締切り

恆例の滿洲卓球協會主催本社後援の大連卓球大會は既報の如く來る十六日午前八時より敷島町青年會館に於て擧行されるが申込締切はいよいよけふ十五日午前中に付き參加希望チームは左記規定に從ひ至急申込まれたしと

◆參加資格　制限なし
◆申込方法　正選手五名補缺選手二名を明記して參加料一チーム二圓を添へて申込みのこと
◆申込場所　山本運動店及び滿洲日報社運動部氣付滿洲卓球協會

『缺食兒童に惠んで……』と投げ出した五百圓
きのふ無名の女性が市役所に長濱社會課長を訪ね

十四日午後二時半ごろ年齡二十二三歲、洋髮色白の美人が大連市役所三階の社會課を訪れモヂモヂしてゐるので係の吏員が「何か御用ですか」とたづねると「いえ濱課長にお逢ひしたいんです」と長濱氏を訪れる模樣なので同氏が外出不在なる旨を答へると同女は悄然として二階に下りたが、折柄長濱氏が歸つて來る姿を認め急に元氣づき同氏を廊下に擁して懷中より袱紗に包んだ手の切れるやうな百圓紙幣五枚——金五百圓を出して驚く長濱氏に手交し

これは私が粒々辛苦して蓄めたお金です、僅かばかりですが小學校の缺食兒童に惠んで下さいと、只これだけの言葉を殘し

呆氣に 取られてゐる長濱課長を振り向きもせず倉皇として歸つて行つた、手に渡された金五百圓を眺め漸く氣づいた時は既に同女は歸つてしまつた後なので同女の住所氏名も判明しないが、同五百圓はソレから濱鐵庶務課長、永井助役、河村學務主任の手を經て市の金庫に匿名者の

寄附金 として保管された、その匿名の美人こそ何者であるか、市役所では今その美人をめぐる噂話で持ち切つてゐるが、本社の探聞するところによればこの美人こそ例の五千圓チップ事件のダイヤカフエー女給高子こと大内衣子であるらしい

兩親と兄弟
留雄は鐵道工事下請負人と藝妓の間に生れた兒

【長崎十四日發電通】留雄の實母イソは明治卅年頃鐵道敷設さる〻頃小櫻亭で藝妓稼ぎをして居たが其の頃原口品吉なるものが妻子あるに拘らずイソと馴染み遂に落籍し當縣八九森山一松方に匿はれ居たが、之れがため原口方に風波絕へず遂に手を切りイソは其の後鐵道工事下請負さして働いて居た森村龍吉と一緒になり、森山方に同居し居たが、工事完成と共に長崎方面に行つたらしく其の後二名の間に生れたのが留雄で同人には兄重行あり重行は森山の廢子として入籍したが諸所放浪して家に寄りつかずよつて森山方では現戸主久治を養子として迎へ家督相續させてゐるもので重行は其の後大正九年頃より數年間長崎市萬屋町長門商會に働いて居た事あり、最近伊勢方面に居た由なるも現在所在不明、なほ此の外姉、信太郎、ヨネ子等の兄弟があるらしいが何れも私生子で一家創立し別々に生活して居るらしい

十四五年前に長崎に一寸來た
其後の消息は判らぬ
緣者に當る森山語る

【長崎十四日發電通】犯人佐郷屋の出身地と傳へらる〻長崎縣東彼杵郡彼杵村を訪ひ警察村役場等種々調査したが佐郷屋なる者は一向判明せず、戶籍簿等にも何等記載されて居らず尋ねあぐみ同村字彼杵鹽館を營む森山久治がその縁者なることを聞き込み同家を訪へば佐郷屋との關係につき古い記憶を遡つて語る

佐郷屋との關係は大分古いことで明治二十八年頃長崎線敷設當時滯在してゐたが當時まだ七、八つの子供で性格素行等

目立つ ものなく、又兄重行は養子に貰はれてゐたので徵兵檢査當時來崎したが、その後消息を絕つてゐた、四、五年前長崎市萬屋町長門商會に雇はれたことがあるが、當時父一松の遺產分與につき一泊がましい行爲あり結局五十圓を與へて離籍した

右の如く留雄は僅か一年足らず居住してゐたので且つ十四、五年前のことでありその後杳として消息なくその後の事は一切判然せぬ尚久治の妻女カメは語る

詳しくは知らぬが留雄が來たのは確か十四五年前の或晚の事で戶外に六七歲の一人の子供がシクシク泣いてゐるので連れ込んで尋ねると嘗て亡父が貰ひ受け入籍してゐた重行の實弟留雄で朝鮮から遙々訪れて來たが恰も

學齡に 達してゐたので當地小學校に暫らく通はせてゐたが其程なく一人で朝鮮に歸つたが其の後消息もなく年賀狀も來ませぬ子供時代の事とて取り立てて云ふ程の特性もありません

尚近所の者は語る

留雄が朝鮮で生れたのは確かに此島で生れた、子供の時は共に遊んだ事がある頗る敏捷なきびきびした性質だつた

木炭屋さんの書き入れどき

ストーヴには未だすこし暖かい——と言ふので今木炭屋さんの書き入れどきです、いよく本格の寒さに這入つてストーヴやペーチカを焚くやうになると反對に賣れゆきが激減するから面白いぢやありませんか、カンカンと起つた火鉢を圍んで栗賣ニーヤの聲をはるかに聞いてゐるさまだどうしても滿洲の冬らしい氣分になれませんね

レントゲンで確實に流產
大阪醫大の長橋博士が成功
學界注目の的となる

【大阪特電十四日發】レントゲン光線による避姙方法は既に醫學界に確證されてゐるが、最近大阪醫大教授長橋正道博士は更に一歩を進めた研究の末レントゲンによる人工的流產の出來得る實驗に成功したので、これを近く學界に發表することになつた、この實驗の成功は我國は勿論世界醫學界においても初めての事で、從つて同博士の成功は學界注目の的となつてゐるが、レントゲン線による人工流產の實驗は單に動物に止まらず、同博士によつて人間にも數十例をもつてゐるから

有力で 實驗の結果によれば流產を行ふ適當な時期は普通姙娠三四ヶ月の場合が最もいへがこれより少くても多くても差支へなく、光線を放射してから流產する迄には普通二週間から七週間位で百パーセントの確實性をもつて胎兒は死亡して出る、しかも光線を適當に放射すると姙婦は何らの苦痛感もなく胎兒の出る時も殆ど苦痛を伴はないといふのだから外科的流產に危險を伴ふ姙婦には特に好結果だといはれてゐる

明大つひに豫科の臨休發表
學生側の要求條項

【東京十四日發電通】明大豫科に關する三派聯合委員會は十四日午前の會談の結果漸く要求條項を決定し學長に提出する事となつたが經の實行委員の要求とは相距る事遠く强硬派豫科學生は大いに不滿を感じ反對氣勢を擧げてゐるので當局は十四、五兩日豫科の臨時休校を發表した、要求條項の主なるもの

一、授業料一割值下
一、圖書館建設
一、記念館寄附金は明年三月で打切る事
一、大學、豫科の自治機關確立
一、學生消費組合の設立

等である

日滿無線聯絡
電報緩和されん

この四日以來内地臺灣間電信線が全部不通さなつたので東京、臺北間無線通信輻輳のため大連、東京間無線連絡は臨時休止中であつたが内地臺灣間有線は十三日夜一線だけ恢復したので當地遞信局では日滿間電信線も目下二線不通の折柄早速日滿間無線連絡を復活し極力無線により電報を疏通することゝしたから日滿間通信は幾分緩和される見込であると

失業を苦に厭世自殺
逢廓鮮妓館で
元電車運轉手

十四日午後四時ごろ大連逢坂町朝鮮料理店代川樓抱へ妓若葉こと朴純伺（二二）にあがつた市内聖德街三丁目居住の元滿電車掌出口傳（二二）がカルモチンを多量に嚥下し自殺を圖り苦悶中を敵娼が發見直に逢坂町派出所に屆け出ると共に大連醫院に擔ぎ込み應急手當を施した結果、生命は取りとめた、原因は失業のための厭世自殺と見られてゐる

三菱造船所大整理
けふ斷行

【長崎十四日發電通】確な筋より聞知するに三菱造船所職工大整理は最早一般職工間に傳はり仕事も手につかぬ有樣で、從業延期するのは能率、至大の關係あり、依つて神戶三菱造船所と共に豫定日の十五日愈々之れを發表する模樣

賭場荒した上縛して强迫

去る十一日午前二時ごろ市内春山町六三番地候錫臣方にて候外數名の支那人が賭博開張中突然二名連れの怪漢侵入し場錢小洋約八圓を奪つた上候を毆々毆打し、更に候を麻繩にて縛し回春街方面に連行しその筋には内済してやるから金五圓を出せと强請したが所持金なきため候の懷中にあつた小洋一圓大洋二圓を强奪して逃走した犯人があつたのを十三日朝に至り沙河口署員が極力犯人搜査中であつたところ同夜九時露天市場内を徘徊して居る本籍旅順管内水師營當時住所不定の前科三犯張有田（二二）を引致して取調べた結果全く同人の仕業であることが判明したので沙河口署司法係りでは引續き餘罪嚴重取調中

鐵道沿線に馬賊接近
出廻期と共に

洮南地方における馬賊は冬期特產物の出廻り期に近づいた爲め漸次鐵道沿線に接近しつゝあり、荷物運搬歸りの馬車夫が頻々として襲はれつゝあるが、去る十日夕刻には洮南市街より停車場まで客を送つた乘用馬車が又復襲はれ馬二頭と馬車夫の所持金全部を奪はれた停車場より市街迄は相當の距離があり其の間人家なき爲め從來もこの地點に於て數度同樣の事件あり、今後も收穫時期のこと〻て何時事件發生するやも知れず、邦人旅行者は同地に夕刻到着の列車を選ばぬ方がよいと

電車と正面衝突して大怪我

市内日吉町十二番地鍋工干占鰲（二二）は十四日午前九時四十分ごろ自轉車にて回春街同善堂病院より歸宅の途中、日吉町急勾配に差しかゝつたところ後方より疾走して來た自動車を避けんとして電車線に入つたところ、前方より進行して來た沙河口行三〇九號電車と正面衝突し線路外に跳ね飛ばされて全治二週間を要する挫傷を負つた

貔子窩長山列島定期船
宇佐丸初航海

當地宇田商會が貔子窩長山島行定期船を東京帝國汽船會社より購入したとは既報の如くであるが十四日朝内地より廻航されて濱町海岸に繫留されたが愈々十五日午前八時初航海の途に上ると、尚船名はたいぶさ丸を變更宇佐丸と命名所轄官廳の手續きを了した

トラック墜落
十二名重輕傷

【岡山十四日發電通】今朝芦田川岸郷村附近を五師團の一部隊がトラックで進行中斷崖より墜落し中隊長以下十二名重輕傷を負ふた

松花江結氷す

【ハルビン特電十三日發】本日の溫度零下廿度、松花江は結氷した

火災急報で賞與

去る一日午前四時半ごろ市内沙河口仲町三六番地圖書文具店小松勉强堂こと小松圓吉方より發火した際逸早く事發見、消防署に急報したゝめ大事に至らず鎭火せしめた市内泉町十五番地滿電車掌末繼海に對し沙河口署で火災早期發見により表彰方を關東廳に上申中であつたところ十四日關東長官より金三圓の賞與があつた

不同社繪畫展
きのふから開催

中日文化協會では十四日から三日間に亘り第四回不同社繪畫展覽會を開催するが日本畫七點洋畫四十餘點が陳列されると

けふの滿日講堂

長谷川竹友、泥谷文景兩畫伯及び大連各派聯合俳句川柳畫展覽會（午前九時より午後四時半まで第二講堂）入場無料

海の唄　〔一二三〕

仲木貞一作　林　　惇畫

秋の訪れ（七）

書生が這入つて來たが、それには氣もとめず玄關へ出て來た。すると和雄をも伯爵邸の書生と間違へたのか、玄關に立つてゐた二人の男は、

「ちよつと、伯爵にお目にかゝりたいのですが――」

と、石を投げるやうに口を揃へて云ふのだつた。

が、和雄はそれが誰人であるかに氣付くと「失禮な奴だなあ」と思つた。逼にその男も和雄を見て自嘲に近い感情に支配されたらしい。

和雄は挨拶もせず突ッ立つてゐた、が素知らぬ風も出來かねて

「今、書生が來ますから……」

と、云つた。相手の一人は例の田部だつた。

その途端、書生が追ひかけるやうに廊下を走つて來て、和雄の袖の下から聲を落して、

「夜分は一切お目にかゝりませんことになつてゐられますので、また、明日でもおいで下さるやうにとのことでございます」

書生の冷然とした調が、一刻も早く二人の立退きを要望してゐるらしく尖つた。

和雄は無關心らしく見せて、かまはず玄關を出て行つた。

「ぢや、明日は何時頃に伺へば、お會ひ下さいますか、それを伺つてきて下さいませんか」

一人の男が、さも苛立しげに書生の顔を見上げた。

「これからいらつしやる時は、電話をかけてからいらして見て下さい」

書生は一層冷然とした態度を應揚に示めた。

「然し電話だなんて云はずに、もう一度伺つて下さい。少し急ぎの用事で伺つたんですから」

と、云ふのは、骨骼の猛々しい偉丈夫然とした方の男だつた。

「あなた方は、今までに伯爵にはお逢ひしてゐる方なんですか？……初めての方は新聞社にしろ、何處の方にしろ……」

「なにを云ふんだ。僕はあの新聞社の田部といふものなんだぞ。もう幾度も伯爵には會つてゐるんだから、さう云ひ給へ」

居睡りのやうに[illegible]な口調に早變りしたかと思ふと、玄關へごつかりと腰を下してしまつた。書生は、その田部の權幕に恐怖を覺えたのか――あゝ、田部さんですか――と云ふと、慌たゞしく廊下を走つて伯爵の居間の方へと行つたが、やがてまた引返してきた。

「兎に角、此度お電話をかけ下すつてから、おいで下さるやうにとのことでございますから……伯爵の御面會時間は此の頃、午前中と限られてますので……」

と、冷たい理智を上塗りしたやうな態度で云つた。その態度に何か侮蔑を感じたのが、田部は――

さうですか、然し――と云ひかけた時、伴れの男から袂を引ッ張られて、そのまゝ口を噤んだ。

「仕方ない行かうよ」

一人の男が腰を下してゐる田部に云つた。

「よし行かう！逢つてくれないと云ふなら是非もない、行かう！」

「さよなら」

二人は牛のやうな恰好をして門を出た。

「えらい權式振つてるもんやなあ中井伯爵と云へば評判の平民的だときいてるのに……」

「フン」

田部は、如何にも面白くないといふ風に佛頂面をして云ひながら

「吉村君！」

と、ちよと丁寧に、伴れの男の苗字を呼んで、

「なに、さう悲觀したもんでもないよ。また此度行つて、執拗に邸に口説くですなあ。それにあの野郎ばかりが何も恰好な擔ぎ物でもないのだから。たゞ秋月の奴、あがつて、邸の伯爵夫人の肖像なんか描きやがつて、巧に夫人に取入つてゐるのが、癪の種なんだ。そいつも序に邪魔してやらうといふんだからな」

「まあ、そりやさうだらうが…」

門を出ると、こんな會話をして行くのを、先刻、歸つたらしく見せかけて門を出た和雄は二人の後をつけてゐた。どうやら、田部の伴れの男の吉村と云ふのは、見覺えのある男のやうな感じがしてならなかつた。

秋雜吟

大連　菅原村句會　紅村

何鳥か聲ひゞきは高し紅葉山
[illegible]の季の故あらたなり　治節
乞ひの聲にめざめし霜の朝
秀峰
小[illegible]日の縁先に椅子持ち出しぬ
小春日の雲を映して野の小川
すぎし日の功もゆかし菊の宴
咲きの菊うそ寒く時ぐれけり
松のこころ／＼に紅葉かな
蔦紅葉茂りし家や琴もろる
竹垣のこわれしところ菊の盛りかな
ゆく秋や巖に波のしぶきかな
みづうみに靜もろ影や紅葉山
古松老杉體として紅葉もなかりけり
水涸れし小川の岸や野菊咲く
乳を慕ふ子なきやみし夜寒哉
大輪の菊一鉢や廣間
國旗交ぜし大玄關や菊薫る
藁干せる山家の畑や櫨紅葉
谿洗
ほこらかに式に大輪の菊白し
細君に水澄む湖や雁のころ
老木立日和もす落葉はりくかな
前庭や菊ほこらかに朝日映ひ
老[illegible]に培かはれ咲く菊の鉢
菊一輪書齋に活けし朝の秋
石垣のこわれしところ蔦紅葉
雨戸くる寢ざめに菊の匂ひけり
さむらひの行列續く秋かな
置く霜に趣へり代朝の菊
聳え立つ奇岳奇岩の紅葉晴れ
神さびし社の[illegible]や紅葉散る
紅葉谷流れに添ふて徑岨し
ゆく水に蘆の葉垂れて雁の聲
危除子
雁のころ[illegible]明け見れば肌寒し
山に鐘つく僧や秋の暮
窓下の芒枯れゆけり秋の風
裏山は昨日にかはる紅葉かな
庭先きも嵐のあとの落葉哉
椽側に小猫いねむる小春日や

新刊紹介

▲恩寵卅年（大連基督教青年會）日本基督教青年會創立五十周年と共に、大連基督教青年會の記念祝賀會を擧行した。その歴史過程二十年の記念出版であるが、日露戰役後漸く五年にして人類愛の大旗を翳して基石を大連の地にてトしたY・M・C・Aが、今日の隆盛を見るに至つた發展段階を年史的に編纂したもので、ロンドン基督教青年會の濫觴たる創始を說き、次いで萬國基督教青年會同盟に至り、これが本に淵來してより大連基督教青年會が生れるに至つた淵源を說き、それより年次的にて施設的に務展して來つた青年會の趨勢を說き及ぼしてゐる、殊に第六章、青年會の過去現在及將來の項は大連基督教青年會創立當時より直接その事業に當つた人々の回顧的述懐といつた意義深いものを收めてゐて、一讀この聖事業に對する敬虔の念を抱かしむるがある、本書は今後に於ける青年會の發展が豫想されればされるだけ一つの聖なるモニュメントとしての役割の上に光彩燦然たる記錄となることを疑はぬ（非賣品、大連市敷島町六七大連基督教青年會發行）

滿洲日報

活社會の活知識まし!

現代公民講座

全十四卷

内容見本進呈

一冊八〇錢　豫約募集　七ケ月完了

公民教育の必要は今や國民「與論」となつた。公民的知識の涵養は現代青年の實社會に進出すべき第一要件である。本講座は正に此の國論の要望に應ずるを以て使命とするものである。沈滯萎微せる現狀を打開して政治・經濟・産業の發展振興を圖るの途は須く活氣横溢せる青年の元氣に俟たねばならぬ。學界權威者の協力に成つた本講座は當に活社會の生活線上に鐵騎を進めんとする現代青年に武器を與へ糧を送るものである。

内容（菊版全十四卷）

1 公民政治論　東京帝大教授　蠟山政道
2 憲法政治　政治學博士　高橋清吾
3 自治政策　法制局參事官　入江俊郎
4 法律綱要（公法篇）　早大教授　中野登美雄
5 法律綱要（私法篇）　東北帝大教授　廣濱嘉雄
6 常識經濟學　經濟學博士　阿部賢一
7 日本財政論　經濟學博士　太田正孝
8 日本の農業　農學博士　佐藤寛次
9 商業經營　商大助教授　増地庸治郎
10 工業概論　文部省督學官　秋保安治
11 産業貿易　商大助教授　佐藤弘
12 社會問題　經濟學博士　永井亨
13 國際問題　法學博士　松原一雄
14 日本文化史　文學博士　笹川種郎

申込期限　十二月十日限
▲毎月二冊宛發行
▲一冊金八拾錢
▲毎月拂　金壹圓六拾錢宛
▲二回拂　金五圓貳拾錢宛
▲一時拂　金拾圓
▲送料二冊（合封）拾六錢（東京市内六錢）

東京・神田・聖橋通
株式會社　雄風館書房
（振替）東京五五六八四番　（電話）神田一四一一番

世界現大觀

第一配本　同

獨逸篇

獨逸研究權威者廿氏執筆
特製美本五百頁・寫眞百五十面

全部十二卷
一冊壹圓八十錢
堂々たる美本
豫約申込金なし

内容見本　全國各書店にあり

各方面の反響日を追うて愈々著しく一般讀書家は勿論各學校・各會社・青年團・婦人會その他各團體より大部數の申込に接し非常の盛況!!既に増版に着手せり

絶好無二の民衆的讀物として推薦する

文部大臣　田中隆三

世界三大國の一たるわが帝國の國民として最も必要なるは、世界知識の十分なる獲得と完全なる國際觀念の涵養である。文部當局も、これに就ての教育にはみをさおさ怠りないのであるが、單に官公機關の活動のみを以てしては、此の大事業を成すに足りない。民間出版物が、更にこれを扶くる事によつて、始めて完成を期し得るのである。近來わが國にも此種の出版が多少無いではないが、極めて斷片的皮相的なものが多いやうで、余の常に遺憾とする所であつた。然るに今回新潮社が、大規模な企畫の下に出版した「世界現狀大觀」は、全くそれ等の類書と異なり、執筆者の撰擇に於ても、材料の蒐集に於ても、殆ど申し分が無く、更に又、記述の平易簡明にして興味饒かなる、寫眞の豐富にして鮮明なる、體樣及び組織の整然として細大洩す所無き、よく世界各國今日の現狀を一目の下に展望せしめ、足自らその地を踏むの感あらしめる。眞に今日の世界讀本たり、明日の國民教科書たるに恥ぢない。新潮社が巨資を投じて、この大事業を敢行し、無二絶好の民衆的讀物をわが國民に提供した事を喜び、心からこの全集を推薦するものである。

幣原外務大臣閣下は、正しい世界的智識と觀念とを得せしむべき唯一の機關として推薦せられた。

發行所　東京牛込　振替東京一七四二　新潮社

子供研究講座

日本〆切

日本兩親再教育協會編
會長　文學博士　松本亦太郎
顧問　法學博士 農學博士　新渡戸稻造
同　文學博士　小西重直

會員日日激増

わが子の現在や將來に御不安の方、丈夫に育て、立派に教育したき方は、今直ぐ本協會に御加入下さい。

十萬の兩親方や教育家が會員として心から感激し、激賞してゐます。

五十三人の博士教授方がその新知識を傾倒して親切に子供に關する總ての問題を御相談下さいます。

新婚の方、嫁入り前の方が盛んに入會されます。これからの日本の子供たちは幸福です。

女學生の間に子供の問題が眞面目に研究されてゐます。日本の爲めにうれしい事です。

團體申込殺到

各地の母の會、兒童保護協會、女學校より教科書として申込の外各小學教師、教會、寺院、等より續々申込殺到す。

實物出來せり!!即刻書店へ!!

國民的聲援・涙ぐましき事實!!

本書一度出づるや全國民の聲援共鳴賞讃の聲各地に起り、諸名家、大政治家、實業家、特に子供愛に燃え盛る中産階級の申込殺到す。又「貧はすれども、子供だけは立派に育てたし」と涙ぐましき眞心をもつて申込む無産階級の家庭多く眞に感激の外なし。

豫約募集　見本進呈

全十卷申込金不要
一冊一圓三十錢（送料各冊十二錢）
四六判四百五〇頁（全部讀みきり）

舊版
舊版二百部に限り一冊一圓に（全十冊九圓半額）一卷より十卷まで取揃へてあります

東京本郷駒込上富士前　振替東京六五一三八番　電話小石川三〇四番
先進社

電氣　具器

新コンドル
蓄音器兼用型
無電池式ラジオ受信機
好評絶大
中央放送局懸賞壹等當選品
内地放送聽取自在

・人は信用　電氣は利用・

・月賦提供御申込次第型錄進呈・

南滿洲電氣株式會社
本店 電話四〇九〇・支店 奉天 長春 安東 鞍山

向銀町伊勢町大連
社會業工家滿
電七七九六八番 振替大連一二三〇九番

三井保險

火災、海上、運送、自動車

契約高の多少に不拘御電話あり次第係員參上御相談申上ます

三井物産株式會社大連支店
大連市山縣通一八二
電話代表七一〇一番

勝山洋行
羽根フトン專門
連鎖街京極
電二二二六番

近藤病院
内科・小兒科
外科・花柳病
X光線科
院長　近藤寛次郎
大連市三河町

資本金壹千貳百萬円

株式會社　正隆銀行
大連市大山通十一番地
電話七一一一・長距（大連）二二〇
頭取　安田善四郎
相談役　安田善次郎
奉天、鞍山、撫順、營口、安東、開原、四平街、鄭家屯、長春、公主嶺、哈爾賓、青島、天津、沙河口、小西關、傅家甸

大連市大山通り浪速町角
滿書堂文房具部
電話四九九〇　六〇三四四

大連市紀伊町建築協會三階
小野木 横井　共同建築事務所
（略稱）共同建築事務所
電話三五五九・四五一九番
工學士　小野木孝治
工學士　横井謙介

最新刊

油繪新技法　案内賞を以て釣る　犬の病氣と手當　世界人横顔　お前の前にお前が　ミスターニッポン　肺病全治法　職員録　肉妖高橋お傳　飛ぶ鳥物語　書窓雜記　輝く人生　ロシアの胴體　獄窓の花婿　獵奇百貨店　殺人結婚　支那史　出門一笑　國民黨と支那革命　思想的嵐を突破して

最新刊

濟・鐵國　基督教人生觀　投資相談　金輸出再禁止論　十分演說　玩具と子供の教育　癌は治る　赤旗勝つか？　ボロ支那服　支那革命史　社會展開の動力　新結婚教程　哲學の運命　山川行住　四〇年　戰爭の軍犬　罌粟は紅いか　蒙古史研究　革命が生んだ今日の獨乙

滿書堂書籍部

社説

濱口首相の遭難

聖代の大不祥事 直接行動を排す

濱口首相、兇漢のため東京驛にて狙撃さる。國政のため憂慮に堪へざるものが存する。

兇漢の自白なりとして報ぜらるるところによれば、彼は「現內閣の存續は不景氣を益々深刻にするので濱口首相さへ倒せば景氣は回復し得るものと信じて行つた」と稱してゐる。しかも彼は二十三歳の青年である。思ひ違ひもまた甚だしいといはねばならぬ。よし濱口內閣を倒さば景氣が回復するものとしても、かれが如き直接行爲に出づるが如きことは言語道斷、斷じて許すべからざることである。時代錯誤もまた甚だしい。法治國にありては政治運動といへども常に適法に行はれねばならぬ。まして立憲治下の政黨政治にあつては、政治は須らく政策の優劣により、議政壇上において民衆の支持を要求するところに存することを知らねばならぬ。一人を倒して景氣が回復するものと做すが如く考ふるは愚もまた甚だしいといはねばならぬ。

一人の力によつて天下の政治が支持せられたといふが如きは、全く封建時代の舊思想であらねばならぬ。今日の英雄はヒーローでなくして寧ろレプレセンタテブマンであらねばならぬ。民衆を代表として英雄たり得るのである。吾人といへども濱口內閣の政策を以て一から十まで悉く可なりと信ずるものではない。勿論、濱口首相が誠心誠意、政治の公明に向つて努力しつつあることは、何人も認めざるを得ぬところであらう。併しながら、誠心誠意の披瀝と政治政策の可否とは全く別箇の問題であり、政策の可否については正々堂々、これを論議すべきである。そこに政黨政治、議會政治、輿論政治の特色が存する。ただ併しながら、昨今の不景氣は、いはゆる世界的不景氣であつて、必ずしも濱口內閣の施政のみに不景氣の責を負はす譯には行かぬのである。

勿論、議會政治は責任政治であり、昨今の不景氣、而して失業難就職苦は、その責任、たしかに現內閣にありといはねばならぬ。ただ併しながら、その責任政治はヨリ適當剴切なる政策を揭げ來りて正々堂々、內閣を倒し、それに更るの覺悟がなくてはならぬのである。封建時代の思想を以て直接行動に出で、濱口首相、一人を倒さば不景氣は直ちに回復するものと做すが如きは、聖代の痛恨事とせねばならぬ。ゆゑに英國の如きにありては、陛下の在野黨といふ言葉があるのである。在野黨といへども常に政治を行つてゐるのである。すくなくとも間接には政黨政治を行ひつつあるのである。これ即ち議政壇上に政策の優劣を以て國民の輿論に支持を要求せんとするに外ならぬのである。

然るに動もすれば、この種の直接行動に出でんとするものあるは折角の政黨政治、議會政治を破壞するものなりといはねばならぬ。

濱口首相は「男子の本懷なり」といふかも知れぬ。併し要路の責任者が、苟しくも血を流すといふが如きことは、要するに聖代の不祥事であらねばならぬ。また實際問題として、この遭難によつて不景氣が回復するものでも何でもなく、むしろ吾人は濱口內閣の從來の努力、而してまた今後の施政、努力に多大の希望を懸けて居つたものである。世界的の不景氣は歸するところ歐洲戰亂の結果、世界的に生産[illegible]膨脹し、それに伴つて消費が起らぬ現象に外ならぬ。整理緊縮の結果、徐々に不景氣は[illegible]を入れんとするの秋に當り、すなはち濱口首相としては、海軍問題明年度豫算編成、而して不景氣對策としての大調査機關を新設せんことを決し、特別大演習を陪觀すべく出發せんとする途次、今次の兇變に襲はれたのである。

吾人は繰り返していふ。如何なる場合にても直接行動は不可である。不平不滿は正々堂々、これを帝國議會に持ち出すべきである。立憲政治は民衆政治であり、輿論政治である。勿論、多數黨といへども少數黨の意見は尊重せねばならぬが、少數黨としては常に、自己の政策を民衆の前に披瀝し、多數黨の支持たらしむべく努力せねばならぬ。そこに政治家の努力が必要とせらるるのであつて、その努力奮鬪の間にありて最善最良の政策が最後の勝者となり、多數黨の支持によつて實際政治として施せらるるものとなるのである。かくの如き意味において吾人は濱口首相の遭難を悲み、一日も早く、その快癒せんことを希望して已まぬものである。

餘病さへ併發せねば 三週間位で全治せん

大手術の結果頗る良好

狙撃された濱口首相

【東京十四日發電通至急報】帝大鹽田外科手術室に運ばれた濱口首相の彈丸摘出手術は午後一時十分より一時卅五分まで掛つたが彈丸は右の臍下から左の腰骨の骨盤に喰め込んで居りこのまゝ置くも當分差しつかへなきため營養回復後第二回手術をなし摘出することゝし本日は彈丸を摘出しなかつた、尙ほ小腸には八ケ所の傷が連續的に附いて居りこれを縫ひ合せた上最も惡い腸の部分を八寸程切り取つた、尙ほ手術後中島秘書官の血を以つて第二回輸血をなしたが經過目下良好で脈搏もよく腹膜炎を併發しなければ三週間位で全治の見込みである、尙ほ手術には中島秘書官、鈴木翰長、川崎法制局長官、夏子夫人及令息巖根氏等立會つた

豫て覺悟はしてゐた

宇垣陸相の見舞に 首相判きり答ふ

【東京十四日發電通】手術後濱口首相は意識も明瞭で元氣も回復し看護の夏子夫人を身近く呼び寄せて岡山の觀兵式と來る二十三日の新嘗祭に參列出來ぬからそのお斷りを間違ひなく宮中に届け出る樣呉れ〴〵も注意をしてゐた、國府津から急遽見舞に來た宇垣陸相が枕邊に寄り『大變な事になつたなア』と見舞を述べると首相は『こんな事は一度はあるものと覺悟してゐたのだ』と判きりした聲で答へたと

佐藤侍醫頭を御差遣

【東京十四日發電通】畏き邊りては濱口首相負傷を聞こし召され午前十一時佐藤侍醫頭を東京驛長室に御差遣御見舞遊ばされた

見舞客で首相官邸大混雜

【東京十四日發電通】首相狙撃の報に安保海相、井上藏相、富田民政黨幹事長、横山勝太郎、原脩次郎、牛塚東京府知事、近衞文麿公、林權助男、上山滿之進氏その他朝野の名士首相官邸に詰めかけ官邸內は見舞客の爲め非常な混雜である

鹽田外科に運び込まる

【東京十四日發電通】濱口首相は東京驛長室で應急手當を受けた結果午前十一時半帝大附屬病院から運ばれた擔架に乘せられ顏は白布にて蔽はれ羽根蒲團を掛けて搬出された、この時一、二等待合室に在つた見舞客多數は容態を氣遣ひ堵を築いて伴すれば擔架の行方を塞ぐので警官隊と小競合を續ける程の混雜の中を漸く東洋軒口から白布で光線除のため蔽はれた警察自動車に移した、此處に又群がつた群衆を騎馬巡査の援けを借りて蹴散らし漸く警察車は出發した、斯くて首相は十一時四十五分帝大鹽田外科に入院直にレントゲン室に運び込まれて腹部の彈丸を搜ぐるためレントゲン寫眞の撮影にかゝつた

首相の希望により 身邊警戒は寛大に

警視廳高橋警務部長の談

【東京十四日發電通】警視廳高橋警務部長の談

首相の身邊警戒は首相自身の希望もあり特に出來る丈け寛大な警戒をすることゝして來た今朝も常の如く數人の警官で首相の身邊を警戒してゐたが斯る事件を惹き起したことは誠に遺憾千萬である

臨時首相設置につき 臨時閣議を開き協議

鈴木翰長より經過報告

【東京十四日發電通】濱口首相遭難善後措置につき首相の手術に立會つた江木鐵相、井上藏相等は帝大鹽田外科病室で協議の結果午後二時より首相官邸に臨時緊急閣議を開き旅行中及び病氣中の安達內相、田中文相、小泉遞相、阿部陸相代理を除き井上藏相、渡邊法相、幣原外相、松田拓相、町田農相、俵商相、安保海相、江木鐵相、川崎法制局長官、鈴木翰長等出席し先づ鈴木翰長より濱口首相遭難より手術に至るまでの經過を詳細報告したる後政府首班遭難の結果臨時首相を置くべきや否やにつき協議した

臨時首相に幣原氏か

【東京十四日發電通至急報】濱口首相遭難の結果容態如何に依つては速かに臨時閣議を開き臨時總理を置く事となるべく其の際は幣原外相が臨時首相となるであらう

濱口首相の兇變を 安達內相より奏上

內相は昨夕發歸京

【岡山十四日發電通】安達內相は公電に接し十一時四十分陛下に濱口首相兇變につき奏上したが陛下には全く氣の毒であつた旨の御見舞の御言葉を賜つた、尙內相は齋藤次官に代理を命じ午後五時二十五分岡山發歸京することに決定した、なほ內相は當地にて語る

今後どうするかこの內閣がどうなるかと云ふことについても何とも言へぬ、兇變に就いても陛下に言上せねばならぬかも知れぬ云々

丸山警視總監は左の如く語る

公報がないので連絡を取るのに努めてゐるが邊部で困つてゐる自分は午後四時發福山發急行で歸京する

若槻氏歸京

傷けることは良くない

【熱海十四日發電通】若槻禮次郎氏は濱口首相兇變の急報に接し午後二時二十分歸京した

人材を傷けては 良くない

犬養政友會總裁語る

【岡山十四日發電通】來岡中の犬養政友會總裁語る

夫れはほんさうか、氣の毒なことだ、犯人は若いやうだが若い者は激昂し易くて困る、不景氣で血迷つたのだらうが人材を

今さら感想は ありません

令息巖根氏語る

【東京十四日發電通】巖父手術後令息巖根氏は語る

今朝突然勤先の勸業銀行に電話があつたので驚いて駈けつけました、輸血は私から百五十瓦中島秘書官から二百瓦を遣りました、今の處非常に落ちついて元氣な樣ですから大丈夫と思ひます、今日の事件に就ては日比谷署も嚴重警戒されてゐたことですし父も日頃からこう云ふことは覺悟してゐたことですから今更ら感想等はありません

滿洲へ横濱から貿易駐在員

【東京特電十四日發】神奈川縣商工協會は同縣特産品の新市場開拓のため曩に大連市で催された滿洲見本市に出品、非常な好評を博したので以來滿洲方面に販路を擴張すべく目論んでゐたが偶々横濱市內の關係業者から同市場開拓に伴ひ滿洲に貿易駐在員設置の要望があつたので新設することに決定し來る十七日午前十一時から神奈川縣廳において開く同協會貿易部會で協議することになつたが右に關聯し將來世界各國の主要貿易港にもこの駐在員を設置する計畫であると

海軍

第一次補充計畫中 空軍擴張の內容

昭和十三年度までに完成し 現在勢力の倍になる

【東京十三日發電通】海軍第一次補充計畫中空軍擴張の內容大體左の如し

一、航空隊十四隊

（內譯）戰鬪機三隊四十八機、攻擊機七隊百十二機、大型飛行艇一隊二機（二十八人乘時速百十二節）航續距離二千哩、機關銃十二連裝二十四門、積載量二十噸　ドイツドル（二エ型）中型飛行艇三隊十八機（九人乘り、時速百二十五節、航續距離千五百海里機關銃四連裝八門、積載量三噸）計十四隊百八十機

二、艦上機八機

總計百八十八機

右は昭和十三年度までに完成の豫定で現在の陸上航空隊の機數百二十機、艦上機七十一機計百九十一機の勢力を倍加するはずである、このために引受會社三菱、愛知、中島、川西、渡邊各社も注文機數倍加し從業員も三割程度の增員となるべく、横須賀に新設の航空研究所は民間會社に對する注文に先立ち設計試驗を行ふはずである

明年度分割當額 九百五十四萬圓の內譯

【東京十三日發電通】海軍第一次補充計畫中昭和六年度分割當額九百五十四萬圓の事業內譯左の如し

一、艦艇建造費六百五十萬圓（材料購入龍骨据付程度）

二、空軍擴張二百萬圓（航空隊百萬圓、艦載機八機百萬圓）

三、横須賀に航空研究機關設置費二十萬圓（地均し程度）

四、內容充實八十四萬圓

なほ第一次補充計畫中艦艇建造費二億四千七百八萬圓に依り建造さるべき制限內及制限外艦艇隻數の正確なる內容左の如し

一、制限內二億二千七百八萬圓

內譯巡洋艦八千五百噸四隻、驅逐艦千四百噸十二隻、潛水艦千九百七十噸一隻、大型潛水艦千三百噸六隻、中型潛水艦九百噸二隻

二、制限外二千萬圓

（內譯）敷設艦何蘇の代換五千噸一隻外敷設艦三隻、水雷艇四隻掃海艇六隻

滿洲各地に於ける 兇變の及した影響

奉取は一時動搖 哈市は目下平穩

濱口首相兇變が傳はつたため奉天取引所の金鈔相場は寄付百七十七圓から百七十四圓に下落したが後場で追付いた【奉天電話】

【ハルビン特電十四日發】濱口首相兇變の報あるも支那側はこのために政變なきものと見一昨市場の氣迷ひ哈大洋は四十七圓二十錢まで伸びたが、買手なく今の處影響は薄い

百萬の軍隊を 中央、東北軍で折半

南京政府が 軍事會議に提案

【上海特電十三日發】執監會議直後に開かるゝ軍事會議に當り南京政府は全國の二百萬に達する軍隊の半數、卽ち百萬を六個師とし、うち五十萬は中央直轄軍、五十萬は邊防軍（地方軍）とするの案を樹てこれを軍事會議に提出する事となつた、なほこの前の編遣會議より內亂を惹起したのに鑑み張學良氏ともこの問題に關し充分の協議をなすべしといはれ、この案は結局において中央、東北の間にのみ軍隊を分け他は全部兵刀を徹底的に除く方針であると見られてゐる

張學良氏熱心に 議事振りを見學

緊張の第四次全體會議

【南京十三日發電通】第四次全體會議は十三日午前八時中央黨部にて豫備會議を開き、午前九時より第一次の本會議に入つた、內亂鎭定後初めての會議で國民政府の施政方針に關する重要緊急會議案が多いので劈頭から緊張を呈した、この日張學良氏は蔣介石氏の案內で初めて會議に出席し設けられた席につき議案の配布を受け熱心に各委員の議事振りを見學し會議は正午散會した

全體會議開く 初日決定事項

【南京十三日發電通】全體會議豫備會議は十三日午前八時より中央黨部會議所で開かれ蔣介石氏以下各委員出席胡漢民氏を主席として議事に入り左記四項を決議した

一、胡漢民、蔣介石、于右任、丁惟汾、戴天仇五名を主席團とす

二、陳立夫を第四次全體會議の秘書長とす

三、今次の全體會議の會期を十三日より十八日まで六日間とす

四、張學良の全體會議出席を認めこの旨各委員に通知す

これに引續き午前九時より第一次本會議を開き蔣介石氏以下中央執行委員三十三名出席、吳稚暉、張靜江の兩監察委員及張學良氏列席蔣介石氏主席の下に嚴かに議事の進行開始された、張學良氏が遠路參加したことは大會の空氣を一層活氣附けた、本會議では議案審議に入る前蔣介石氏提出の左記事項を討論し滿場一致可決された

一、譚延闓の後任として朱培德を中央執行委員會常務委員に任命す

二、議案審査のため黨務、政治、軍事、教育、經濟の五委員會を組織しそれ〴〵委員を任命す

共匪討伐の 徹底を要求

各方面より 蔣介石氏に

【上海特電十三日發】執監會議に當たり各方面よりの要求として共匪討伐を徹底的に行はれたしと云ふのに對し蔣介石氏は、執監會議終らば九江に赴き、湖南、湖北、浙江の三省の共匪討伐を行ひ自らこれが指揮

勅選議員補充

財界から四名

【東京十四日發電通】貴院勅選議員は現在八名の缺員を生じてゐるが政府は內四名を近く銓衡決定するはずであるが今回は專ら黨內より取らず主として財界方面より任命する方針で東株取引所理事長郷誠之助、磯崎國臣氏その他が銓衡されてゐる

東邦配當八分

【東京十三日發電通】東邦電力は十三日午後重役會の結果配當年八分（二分減）案を決定二十八日總會に附議する筈

津浦線全通て 運輸連絡開始

津浦線は數日前から全通したので來る十五日より一時中止されてゐた日中運輸連絡取扱ひを開始することになつた

人事

▲石原重高氏（洮昂鐵路局顧問）要務を帶び來連中のところ十四日九時發列車にて歸洮

無擔保不確實の 外債整理會議に就て

（二）　夏積生

日本の內容

それは第一に西原借款である。

西原借款　一億四千萬圓（日金）

內譯

金額	借款名
三千萬圓（日金）	吉黑林鑛借款
二千萬圓	參戰借款
二千萬圓	交通銀行借款
二千萬圓	山東二鐵道借款
二千萬圓	滿蒙四鐵道前貸
二千萬圓	有線電信借款
一千萬圓	吉會鐵道借款

以上は自分の見る所謂、西原借款であるが由來、西原借款なるものゝ實體がはつきりしてゐない、支那でも日本でも色々にいはれて居る。

この分が未だ一文も利拂ひされたことのないものであるから先づ西原借款といつていゝものであらう。

日本としてはこの借款を今度の會議に於て確實にするといふことは必要なことであつて先年の關稅會議に於ても努力されたが、それは水泡に歸したのであつた。

その後、中日實業の高木氏も現南京政府を相手に交涉したこともあつたが未だ成功したといふことを聞かない。

これらの金は興業、朝鮮、臺灣の三銀行を中心として中華滙業等から主として支出され交通銀行の分は預金部から參戰借款は大藏省から出てゐるのであるが後に至つて財界の不況から各銀行はやり切れず全部政府に肩替りしたと聞いてゐる。

西原借款が我が經濟界に及ぼす關係については先年、小村俊三郎君が東京日日の紙上に於て詳細に論ぜられたから茲には省略する。

（單位千圓）

借款名	金額
泰平公司兵器借款（第一回）	一三、七一六
同　第二回借款	一三、三六五
同　飛行借款	一〇、〇〇〇
三井印刷局借款	二、三五三
三井南京政府借款	一、五〇〇
興亞公司	一、六〇〇
大倉組大藏證劵	一、四六〇
興業銀行利子	三、五七〇
中華滙業	二、〇〇〇
其他	二、八〇〇
（以上財政部借款）	
正金京漢鐵道借款	一一、〇〇〇
東亞興業電信借款	六、〇〇〇
中日實業電信借款	一三、〇〇〇
同　上	二、七〇〇
古河電信借款	二、六〇〇
三井京綏鐵路	三、五〇〇
同　上	四、二〇〇
東亞興業電信借款	三、七〇〇
其他	一、五〇〇
（以上交通部借款）	

大體、今度の會議に提出されるものは以上の程度のものであるが、それ以外にも各省の分とか、滿蒙に於ける滿鐵の借款とかも加算せらるゝかも知れない、併し自分の見解を以てせばそれは不可能でもあるし、且つ滿蒙將來の對策から言つても策の得たものではあるまい。

各省の分を入れるとすると、整理會議は紛糾、日本の爲めの會議でなくなつてしまひ、又支那もそれ程多額の借款を支拂ふといふことは不可能である。

關稅會議に於ての外債整理案中には交通銀行借款について大分、日本政府中にも異論あり、交通銀行は一つの會社であるから、西原借款中に加へて會議に持ち出すのは不可であるとの議論もあつたようである。

併し一般には自分と同意見の向きが多く、支那政府が財政部借款として認め、その金も交通銀行が使つたのではなく、支那政府が消費したので、借款そのものも政治借款である以上、當然西原借款の一つとして整理さるべきものである。

今度の會議には持ち出されることになつて居ると聞いて居る。

その他に問題とすべきは滿鐵の滿洲諸鐵道投資借款であるが、これは後章に於て述べることにしよう。

以上の余の見解と曾て支那財政整理委員會に於て日本の無擔保不確實借款として發表されたものとは大體に於て酷似して居るが參考のために支那では日本の不確實借款をどれくらゐに見て居るか、右委員會の發表數字を擧げて見る

成立期日	借款名	借款額
四、三、一	陸軍部軍需	一八五、一四一圓
同	陸軍部購買軍火	二、五四〇、七四九元
六、一二	第一次軍需	一九、一一二、五四二圓
七、一、一五	財政部印刷局	三、一四〇、四六九圓
七、四、三〇	電報	二一、一八五、八二七圓
七、七、三一	第二次軍需	一三、六五五、一三二圓
七、六、八	吉會鐵路	一〇、三七六、〇〇一圓
七、八、二	吉黑林鑛	三一、一六六、〇六四圓
七、九、二六	滿蒙四鐵道	二〇、八一五、二五四圓
七、九、二六	濟順高徐二鐵道	二〇、八一五、二五四圓
七、九、二六	參戰	二〇、四一六、四三八圓
八、四、九	海軍武器	七二六、六三三圓
八、六、三〇	陝西武器賬款	一、一三五、八七二圓
八、一二、一四	教育經費	一五四、九三九圓
八、一、一〇	公使館陸軍隨員費	四五、〇三七元
八、一二、二四	漢陽兵工廠	[illegible]
九、三、六	林鑛電報（利拂）	五六〇、四八四圓
九、五、八	邊防軍費	九二、五二四圓
九、三、一	山東銅鑛	七二、〇〇七圓
一〇、五、一	西北軍武器	四、〇三七、五八五圓
二、一、五	林鑛利拂	一、二二一、九〇一元
三、三、一四	青島公產鹽證劵	一、二八〇、三四二圓
三、六、八	滿、山東、吉黑利拂	一四、五七八、七七一圓
三、七、五	電報利拂	八、五三八、二八五圓
三、七、五	林鑛利拂	三、八九三、六五七圓
三、六、三	林鑛電報利拂	二、七二五、九二七圓
三、九、三	滿、山、吉、黑、利拂	八、七四三、二五二圓
四、四、一六	林鑛電報利拂	五、五三七、九四四圓
四、七、一五	滿、山、吉、黑、利拂	三、〇四一、五五四圓
四、九、四	軍需利拂	五、五五一、六五〇圓
四、九、四	參戰利拂	一六、八二七、四九二圓
		一〇、四八一、四四七圓

卽ち二億五千萬圓見當となり、之を今の金に換算せば四億五千萬圓くらゐのところであらう。大差なきところと見るところであらう。

安樂椅子

笑えぬナンセンス　首相狙撃犯人と同姓の巡査が當地水上署に勤務してゐるが▲事件發生と共に逸早く報ぜられた本紙の號外を見て顏を眞蒼にしてゐる▲事情を聞くと佐郷屋巡査の弟が目下東京に出て生活してゐるがこの名前が富雄と云ひ狙撃犯人が留雄とあるからは一字違ひだ▲しかも犯人の身元は巡査の身元の隣村▲さあ居ても立つても居られなくなつた同巡査電通に問ひ合せて貰ふと「リウチ」で留雄に違ひなしその上犯人は私生兒であると聞かされホツとして「私の弟に限つてそんな大外れた事はしませんよ」と胸をなで下してゐた、笑えぬ話の一つ

市況（十四日）

株式

內地大引暴落 新東新高値

內地大引は東西兩市場共下落し新東は百二圓臺を暴落し諸株共高氣配を入れたので當市現物の新東も二圓高を演じ大新鐘紡新共堅調を辿つた

後場引

◇現物（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
商銀	―	―	―	―
信託	―	―	―	―
豆新	―	―	―	―
鈔新	―	―	―	―
水電	―	―	―	―

◇現物（乙部）

大新（寄引）[illegible]　新東（寄引）[illegible]　鐘新（寄引）[illegible]

特產

一般見送作ら 各品强調

後場の相場は依然として一般見送り商狀に推移し場面閑散ながら氣配は概して强調を辿つた但し豆油は出來不申

◇定期後場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　九十一車

▲豆粕（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二萬四千枚

▲豆油（出來不申）

▲高粱（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三十四車

▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆（裸渡込）	五八三〇	五八九〇
出來高	二十車	
普通大豆	（出來不申）	
豆粕	一七七〇	一七七五
出來高	五千枚	

豆油、高粱、包米（出來不申）

錢鈔

標金高に 鈔票の弱保合

後場の相場は人氣落付き一般氣薄ながら標金漸次しつかりし鈔票は五錢安と弱保合を辿つた

◇定期後場（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　期近二百八十一萬圓

◇現物後場（單位錢）

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金）一萬八千圓（銀對洋）一萬三千圓

商品

綿糸區々 麻袋變らず

大阪三品後場引は前場引に比べ近物保合、中、先物一圓內外高を報じ當市も小手合せあり、麻袋は變らなかつた

綿糸定期

銘柄	約定期	値段	數量
福助	一月限	一三六三	三〇
同	四月限	一二九六	三〇

出來高　六十梱

麻袋定期

銘柄	約定期	値段	數量
總筋	一月限	二五〇	一〇
同	三月限	二四八	二〇

出來高　三萬梱

市場電報

神戸特產

品目	値
大豆現物	四五〇〇
先物	三五〇〇
豆粕現物	二二七〇
先物	一二三
滿洲小麥	三七〇〇
豆油現物	一七八〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	五九八〇	五九六〇
新株	四六二〇	四六四〇
鐘紡	四五五〇	四五六〇
鐘新	一四五〇	一四五〇
東新	六四六〇	六五四〇
日糖	一〇〇〇	一〇八〇
郵船	三二〇〇	三一九〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十一月	一四三五〇	一四三六〇
十二月	一三八六〇	一三九〇〇
一月	一三五六〇	一三五七〇
二月	一三三七〇	一三三九〇
三月	一三一一〇	一三二〇〇
四月	一二九一〇	一二九二〇
五月	一二八八〇	一二八九〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十一月	一七九九	一七九九
十二月	一六四四	一六四九
一月	一六五六	一六五三

神戸期米

限月	後場寄	後場引
十一月	一八四七	一八五三
十二月	一六四一	一六四九
一月	一六三七	一六三五

虛弱兒童を收容する 保健學校と保健學級

州内校長會の實施案

「虛弱兒童を健康兒と同樣な取扱ひをすることは大きな間違ひである、これは何とか特殊な施設をして救濟しなければならない」さういふ聲は大連の教育者間に早くから聲高く叫ばれ校長會などにも度々

議題 に上つたのであるが何しろ特別の經費を要することなので具體的計畫を進めるまでには至つてゐなかつた、ところが最近保健學級實現の氣運が漸く高まり遂に推薦委員の手によつて虛弱兒童救濟の實施案が最近立案されるに至つた此の案によると各學校に保健學級を設置し、之に尋常二年から四年までの虛弱兒童を收容して

特殊 な教育を施さんとするものである、而して一學級の兒童數は二十名を限度とし、教科目は普通の學級と大差なく唯國語算術其の他の教科より幾分の時間を割いて保健上必要なる手當に充當する、學級擔任は一學級一名それに數校を兼ねた專任學校醫を置く以上の施設完成の過程としては先づ大連に於ては朝日、嶺前、伏見臺、下藤の五校、旅順に於ては一校を限定し明年度より三年計畫を以て保健學級を設置し

先づ 第一年次には各校に尋常二學年生の中から二十名の虛弱兒童を選定して收容し、之に必要なる教室、安息室等約五十坪を新築、擔任教員は上記の各校一名づゝを増員一六校兼務の校醫を置くことにする、更に第二年次には尋三を、第三年次には第四學年を

以上 は大連尋二より尋四までの在籍兒童六千三百八十九人の中虛弱兒童を五分としての實施案であるが財政緊縮の折から今直に之を實現するとは恐らく絶望に近いものであらうと見られてゐるのである

此の校は明年度から向ふ二ケ年繼續事業として完成せんとするもので、置き斯くして順次完成を期せんとするものである、尚此の施設の外別に總工費約五萬圓を以て建坪約五百坪の

獨立 した保健學校を創立し之に尋二から尋四まで六學級百二十人を收容し實施要項としては

一、保健を中心とした個人調查
二、日常健康本位の生活相談指導
三、個人的治療
四、保健體操、矯正體操、紫外線治療
五、大氣浴日光浴、土砂、海水浴等の自然に親しましむる施設
六、作業、育學園
七、營養給食並びに驅虫等の實施
八、休養に關する考慮
九、授業

羽織……や訪問着に 黑地の流行

黑の持つ落つきと上品さ

季節に從つてそれぞれ相應しい流行色が現れますが、それをよそにつれに一種の好みを見せてゐるのは黑であります。それは黑と云ふ色の持つ上品さからでもありませうが、元來日本人は昔から黑好みである事は爭はれぬ事であります

今年 の流行として特に訪問着や繪羽々織等に此の黑の好みが現れて居ります、先づ繪羽々織の黑がみの一例として、黑の紋綸子等、る、配色で現はしたもの、或ひは黑の紋金波の裾ぼかし地に白を眞で蘭の花を開かせ、ぼかしの部分に黑で現すといふ風のものなほ黑紋綸波地に蘭の蘭と、菊朶の葉の模樣を金茶、鼠その他の淡彩りですきりと染め出したもの等あります

訪問 着の方では配色に用ひて模樣を引きたゝせたものが多く、葡萄色に茶、鼠、黑等で氏と鶴とを淡く上品に現はしたものなどその良い例であります。丸帶にも白茶色に白の水と黑と、古代紫、錆青磁、茶等の色變り色で四季の花を染出したものなどあり、なほ小紋にも黑地を利用されて、何れも黑の落付きと、上品さを見せて居ります

危險な木炭の使用

一酸化炭素の害

木炭の燃料によつて發散される一酸化炭素は空氣の流通のよい内地のやうな構造の家屋では大して影響はしないが滿洲のやうな洋式建築では思はぬ中毒を起すことが少くない、そこで一酸化炭素の中毒極量はどの位であるかといふと空氣中の含有量一萬分の五であつてそれより以下であれば頭痛とか、めまひ程度で濟むが、之を越えると危險の度が加はり時には生命を奪はれることが少くない、そこで最もありふれた有毒ガスの中毒量を示すと

	中毒量%
炭酸瓦斯	三〇〇
一酸化炭素	〇、五—一
アンモニア	〇、三
硫化水素	〇、二—〇、三
亞硫酸	〇、〇三—〇、〇四
硫化炭素	一、五—一、六
クロール	〇、〇〇四
鹽酸 斯	〇、〇五—〇、一
青 酸	〇、〇五—〇、〇六

即ち自動車等のガソリンによつて發生する炭酸は案外危險率が少くクロールは最も危險である事が分る。一酸化炭素は之に比べると猛烈な瓦斯ではないが若し密閉した部屋で盛んに炭火を焚き室內に多量の瓦斯が溜ると自然害を及ぼす事になるから注意をしなければならない

唾液は神より惠まれた 貴重な消化劑

一日に七八合は分泌される

唾液は食物を思ふことによつて既に分泌されるのであるが、咀嚼時更に澤山分泌されるのであります或學者の計算によると、一日中に分泌される唾液の量は七八合に達するといひます。之は一日中に排泄する尿の量と同じだといふことであります。吾々は毎日尿の量と同等だけの唾液を口の中に分泌して居るのであります

唾液 の作用は食物中に含まれてゐる含水炭素を糖化するものでありますが、同じ含水炭素を糖化するものにヂヤスターゼといふものがあります。食物中の含水炭素を十分に消化させやうとするならば十分な唾液の分泌を計るかヂヤスターゼを服用するかですがヂヤスターゼは唾液の三十倍の消化力をもつてゐると計算されてゐますから、一日に七八合約千瓦出る唾液は約三瓦のヂヤスターゼを服むものに匹敵するわけであります

卽ち 唾液は無代價で得られる消化劑であります。然し乍らこの無代價ヂヤスターゼは其の人の心の持ち樣で或は多く、或は少く分泌されるものでありますからフレッチヤー氏が「食事は樂しくせよ」と强調して居るのも誠に意義あることであります胃病と稱する人が自ら胃病を苦にして毎食事毎に不愉快な思ひで

食膳 に向ふならば、それは自ら貴重な唾液の分泌を制止してゐるのでありますから從つて食物は十分な消化を遂げることが出來ません。又唾液は顎を十分に運動させることによつてより多く分泌されるのですから噛めば噛む程多量の唾液から分泌されます。卽ち食物は愉快に十分咀嚼すれば完全な消化を遂げることが出來るのですから食事は出來るだけ

愉快 に落付いた氣分で行ふ樣に注意することが大切であります。以上述べましたことは主として胃に一本の齲蝕もない場合の事であります

童謠 ばてつ

北村しげる

小さな
小さな
レールの上を
白い
白い
お馬が通る
小さな
小さな
おいへをひいて
今日も
何遍
往復したろ
人も通らぬ
一本野道

——傅家庄にて——

支那料理 婦人子供の喜ぶ 八寶飯のつくりかた

支那料理の中頃に「八寶飯」と稱する料理が出ますが、これは「點心」の部に入る料理でお菓子の一種であります。この料理は支那料理の點心中でも代表的なものでありますから時には家庭でのお八つや婦人のお客さまなどの場合料理として好適なものであらうと思ひます

▲材料 もち米、砂糖、砂糖漬の果物數種

▲つくり方 先づもち米二三合をよく洗つて普通の御飯より幾分やわらか目に炊き上げ、しばらく蒸してから程よく白砂糖を混ぜ、御飯に甘味をつけて置きます、そこで丸味のある深い丼の底に用意して置いた果物の砂糖漬七種を好みのデザインになるべく美しい模樣をこしらへます、こゝらの支那料理店では普通蓮の實、乾葡萄、杏、棗などを用ひてゐますが果物はなるべく數の多い方がよろしい、さてこれらの果物を丼の中にほどよくならべたら此の飾をこはさないやうに前に用意した甘い御飯を少しづゝ盛つて一ぱいにし、そのまゝ蒸籠に入れてしばらく蒸し別の鉢に受けて型をはづし取ります。

相談欄

▼何事によらず御相談に應じます
▼質問はすべて端書のこと
▼滿日相談欄宛て

虫齒治療

虫齒を治療したいと思ひますが三本の虫齒を治す費用日數、安く治してくれる、確かな齒科醫師を御教へ下さい（市内やまと）

虫齒を治療すると言つても單にセメントを充填するものもあれば金をかぶせるのもあり、又虫齒の程度によつても其の處置が違ひますから費用日數は齒科醫についてお尋ね下さい、又治療費は齒科醫師會で協定されてゐますから特に安く治療してくれるところはない筈です。

胃下垂症

胃下垂は治らぬものでせうか放つて置けばどうなりますか又胃下垂症による衰弱に罹けないでせうか、同病に對する養生法をお教へ下さい（旅順中西健三）

一口に胃下垂症と言つても體質によつて臟器が全體的に下つてゐるものもあれば幽門の狹窄症に續發する胃下垂症もあり其の原因によつて療法は一樣ではありませんが若し後者であれば直に治療をする必要があります、又胃アトニーに伴ふものならば大した心配はいりません、療法としては脂肪の多い食物を攝り胃の周圍に脂肪を沈着させる肥胖療法を施すか、機械的には下垂帶を用ひるのもよいでせう、若し停滯があるならばそれを下にして寢るやうになさい、肝油は好適の滋養物であるが食慾を減じないやうにして用ひなければなりません、とにかく一度醫者の診斷を受ける必要があります。

耳鳴りに困る

三十八歲、男、十五年來左耳鳴りし耳離れて居ます、醫療を試みましたがあらゆる良いといふ治療を試みましたが何の効もなく相變らず耳がジーン／＼と鳴つてゐます、何かよい方法はないものでせうか（藤井光三）

今日まであらゆる療法を講じ尚全治しないとすれば他に方法はないものと見なければなりません、

各校聖諭煥發記念事業瞥見……二……

朝日小學校の純日本式庭園

大連朝日小學校では聖諭煥發記念事業の一つとして國民思想涵養は先づ國民的趣味の養成から出發しなければならないといふので日本人の父祖傳來の憧憬である山水の美の縮圖として母國の『庭園氣分』を髣髴せしめるべく中庭に純日本式の庭園を築造した、此の庭園には山あり、池あり、橋あり、噴水あり、燈籠ありで、そこに梅、松、櫻、楓等の日本固有の樹木が配置よく植えられてゐる、

【寫眞は十一日の雪の日に寫した朝日校の庭園】

隨筆 支那の多妻主義（一）

千隈次郎

支那における一夫多妻の習慣について、日本人間には「支那人は妾が多い程、世間に對して顏が善いのださうだ」といふ人のあるのを、往々耳にするが、そんな馬鹿な話は絶對にない。唯社會的に勢力のある人や、財産家の好色漢がその勢力や金力で幾人もの女を納れて妾とするのを、社會が罪惡として深く責めなかつた、社會が深く責めなかつたからこれを敢てしたといふに止まつて、決して善い事とは考へてならないのである。

▽……△

人格の高潔な人や、新人達は、何れも心から之に反對はしてゐるが、何分にも先輩や目上がやつてゐる事ではあり、又如何に反對運動をして見ても、現在の支那の社會においては、未だ離るべき狀態にあるため、何等表面的活動をするに至らないものが多い。

▽……△

しかし道徳の覺醒と新人の叫びとに因つて、この風習も漸次その影が薄らぎつゝあるが、女ならでは夜の明けぬ國は我が日の本ばかりでなく、支那にもこの風習が絶對に無くなる事は、蓋し望み得られまい。支那人は如何なる動機で多くの妻妾を蓄へるかといへば、總括的には妾主義をとつても、社會が深く責めないから、金や勢力のあるものが大つぴらに其の好色心を滿足させるのであるが、これを細別するならば次の四となる。

▽……△

第一は早婚から來るもので、由來支那の男は早いのになると、十三四歲で結婚するため、嫁は自然壻よりも年上で、甚だしいのになると十歲も違ふのがある。初めの中こそ若い同志面白可笑しく、暮しても行けるが、年が重なるに連れて、夫は三十であるのに妻が四十になり、夫が四十になれば妻は五十であり、男がなほ元氣旺盛な中年であるに拘らず、女はもう中婆さんとなつて自然元氣も衰へて來る。如何に可愛い女房でも、毎日しなびた婆さんの顏を見てゐれば、まあ誰しも若いのが欲しくなるといふやうな譯で、若い佳人を物色するやうになる。

▽……△

第二は許婚から來るもので、支那では氣の合つた同志がお互に「オイ僕の嬢を君の息子の嫁に貰つて吳れんか」「ウムよからう」といふ調子で、先づ親同志で約束が出來てしまつて、然る後この事を娘と息子に相談でなく命令するのが普通であつて、この場合嫁も壻も決して否應をいふ事が出來ない、しかもこの二人は結婚式場で初めて顏を合せるばかりで、約束期間内に相逢ふ事は極稀である。又甚だしいのになると、「指腹爲婚」といつて「オイ君の妻君は近々破裂するさうだが、僕の處でも近々生れるが、どうだい生れるもの同志夫婦にしやうぢやないか」といふ風に、生れぬ先から手取早く決めておくのもあつて（この場合萬一同性が生れゝば、一生兄弟姉妹として交際させる）婚姻は全然當人の關心で、親達のみによつて決められて、見合も交際もせずに結婚するのであるから、お互に容姿の美醜や、性質の善惡などが解らない場合が多い。それで幸ひに嫁が美人で性質が善良で、壻の氣に入れば問題は無いが、萬一これに反すると壻殿のおさまらないのは當然で「いくら親だつて、あんなものを俺の嫁にするとは、人を馬鹿にしてゐる。何が何でもあんな女と一生連れ添はれるものかい」と憤慨するが、憤慨した處で一旦約束して然も式を擧げるに至つたものを破談にする事も出來ず、そこでお定まりの蓄妾となつて、遂には妻として、引ッ張込む樣になる。

滿日各地版

奉天

石炭の缺斤を嚴重取締り
奉天署が要所に關所を

奉天署では石炭の需要期に際し驛所に於て石炭運搬途中檢斤をなし嚴重取締りを行つてゐるが、石炭組合の協定による一噸の目方は正味千六百八十斤、風袋共千七百斤でこれを貫目に換算すれば正味二百六十八貫八百匁、風袋とも二百七十二貫となつてゐる、そして奉天で取扱はれてゐる石炭の一噸は十袋となつてゐるので一袋の目方は風袋とも十七貫二百匁が正確な目方となる譯である、故に一般需要者は石炭を買ひ入れる際、この目方に注意して檢斤をなし、また石炭組合員外のもので石炭の販賣をなしてゐるものもあるが、豫じめ需要者供給者間に諒解が出來てゐれば兎も角、それでなければ大體前記の通りとなつてゐるので注意されたいと、尙市內水上洋行事務部氏は石炭需要期間だけ臺秤四臺を奉天署へ貸與せるため奉天署ではこれを各要所に配置し石炭の檢斤を行ふことになつた

お客が強盜に早變り

十三日午前六時ごろ西塔大街三丁目鮮人■■■方に一名の鮮人が客を裝ふて入り來り突然強盜に早變りし、隱し持つてゐた出刃庖丁で脅迫し金錢十圓を強要したが、■■が驚いて逃げ込むのを見たこの強盜もまた吃驚して一物も得ずそのまゝ逃走した目下犯人嚴探中である

修養團聯合會が
全滿同志大會開催
十六日奉天で盛大に

修養團滿洲聯合會は同團創立二十五周年記念と教育勅語渙發四十周年記念を兼ね十六日午後滿鐵俱樂部道場で第四回全滿同志大會を開催するが、本年は修養團創立二十五周年に相當し今春以來全國各地では續々記念大會を開催し、殊に去る五月十八日東京日比谷公會堂に於ける全國團員大會には畏くも閑院宮殿下の台臨を辱けなうし優渥なる令旨を賜戴して全團員感激に燃えてゐる際とて、滿洲聯合會に於ても特に本部常務理事富田修後援會幹事長瓜生喜三郎兩氏を迎へて教育勅語渙發四十周年記念を兼ね盛大に第四回全滿同志大會を開催することになつたもので、同日午前九時十分より午後五時過ぎまで午前午後に分ち各種の修養行事や講話等を行ふ筈である

明年度も醫大は
斷食豫算?
森醫大幹事談

滿鐵本社で開かれた豫算會議に出席し十三日歸奉せる森醫大幹事は語る

本年度の豫算もこの會議で漸く承認され次いで明年度豫算についても種々審議されたが、本年度の豫算も滿鐵の收入減による經費節約と醫大の收入減とにより物件費方面まで切り詰め殆ど斷食豫算でごうやら切り拔けられるやうであるが、又明年度の豫算も現狀に基き同樣斷食豫算を繰返すやうにならうがその後は斷食豫算が續けられ不況が一層深刻になつて人件費にまで手がつけられるやうになるか、それとも景氣が盛返されるやうになるか現在の處では不明で現狀位なら絶對人件費には手をつけない積りである、尙大學の收入も一時は非常な減少を來してゐたので今後が憂慮されてゐたが今ではそれほどの收入減はないやうである

町のニュース

◇滿鐵で建設中であつた奉天驛の第一ホームよりの出口の鐵骨屋根は今回愈々出來上り柵のみとなつてゐるので十五日までにこれを完成し十六日から之を利用することになつた

◇安奉毎日新聞奉天支社では十三日午後六時から千歳において新聞通信記者その他當業者の會合を求めカフエー新取締令に關する座談會を開いた

◇吉敦線における共匪に殺害された鮮人に對する慰問に關しては先に在奉鮮人によつて慰問團が組織せられ去る十日西塔の鮮人幼稚園で總會を開催し追悼會、慰問使派遣等につき協議したさ

◇市內浪速通三番地支那雜貨商■■■方から十二日午後五時頃出火したが大事に至らず消し止めた、原因は高粱殼に紙で作られた天井に漏電したためで損害卅圓、又午後十一時半頃松島町十二番地■■■■方からも發火し壁一枚を燒いて鎭火した原因は煙突の火、損害約十圓

◇鐵山縣生れ鮮人林昌祿の妻崔氏(二〇)は十六年前夫に死別しその後は姑の許にあつて眞面目に仕へてゐたが、崔氏は一人居の淋しさのため不圖した事から不義の子を宿し人目を憚り本年六月姙娠のまゝ家出して今日まで歸宅せぬさいふので奉天署へも搜査願ひを出した

人事

▲森本地方法院長　十二日安東より來奉
▲中村第十九旅團長　十三日朝過奉安東へ
▲仲村奉天署警部　十三日撫順より歸奉
▲森醫大幹事　十三日大連より歸奉
▲デ・マルテル氏(駐日佛國大使)　十三日來奉
▲小關範士　十三日過奉本溪湖へ

長春

市場の魚類取締
嚴重にされたい
月例長春委員會開會

月例長春委員會は十二日午後二時より地方事務所會議室において開催、■崎議長、得丸副議長、山本赤羽、阿川三委員、竹中地方係主任、三原公費主任、龍谷交渉主任の諸氏出席、大岩所長、事務所側より得丸氏より最近着手した富士町六、七、八丁目の步道改修工事に對し施工時機に關し希望を陳べ、■崎氏適當に處置されたき旨を補足し、三原氏豫算關係を說明して答へる、更に■崎氏より最近の流行病による入院患者の死者に對し、屍體室において通夜その他の追弔をなす施設に關し病院側に研究を進める事とし次回に留保、得丸氏より傳染病發生率に關し市場における魚類等の取締を警察側にて今一層嚴重にされたき旨■崎氏より家庭研究所の趣旨普及宣傳の强調方を夫々希望、後者に對しては所長もその必要を認める、得丸氏遊興税の調査方針につき質し三原氏より中國人側は印紙納入、內地

營口

輸出終航近づく
日本側の不振に反し
支那側は相當の成績

支那側船舶業者の業績は日本側の不振に反し相當の成績を擧げて居る模樣であるが南支方面へは石炭大豆、豆粕等の輸出活況を呈し相當の利益を得たる趣きで終航も間もなきこと〻て一段の活況を呈すべしさ

車數を增加

永世街三義興自動車公司は乘合自動車營業開始以來良好の成績を收め目下四臺にて運轉して居るが道路修繕工事完成の曉には全市に亘りて運轉するよしにて尙車數も漸次增加する豫定であるさ

販路調查員

關東州水產會派遣の奧地販路開拓調查員松村繁雄、村上庄三郎、羽月治郞兵衞の三氏は十三日來營關係筋さ種々打合せをなし歸連した

北關夜話

十二日の地方委員會で「數島祭を初め社宅―つまり文化施設の完備した處に傳染病患者の多いのは何故だらう?」の質問が出た……

人側は警察署に對する申告により旨を答へ、得丸氏更にその嚴重調査方を希望、■崎氏より次回の懇談會提案の慎重熟案を望み、委員張國棟氏の缺格を報告して同三時四十分散會した

▲「安い魚を買ふから一つだれ」と■崎君が直截簡明、同時に「尤もこれは滿鐵社員でも上、中流はその點は大丈夫ですが」▲大岩所長「すると滿鐵社員は命がけで魚を喰つてるわけかな」で大笑ひ▲得丸君の遊興税の質問に三原主任が「自分で調査して居ます」と若くて好男子の三原君、此の調査は少々心配

白塔だより

▲山崎遼陽副領事　十三日奉天へ　文知事の轉任先は松花江(ハルビン)と張家口の間違ひであつたさ、文さん在勤一年足らずで數萬圓儲けたの噂ほんまかしら▲縣長の交迭で交渉員の張君も轉任說があるが後任知事が最初奉天外交辦事處の某課長さの說であつたがこれもどこかの鐵道に居る課長が昇任して來るらしい▲從つて張君の轉任も目下のところ未定▲滿鐵は社員の冬季運動に室內でバレーボールを獎勵して居るが、室內と云へば遼陽あたりでは小學校の講堂位、之では到底ものにならぬ殊に遼陽あたりでは經費がないと云ふ話し一層のことに下駄スケート位で屋外運動を獎勵しては如何それとも溫室育ちの方がよいのですかれ▲北嶺集會所も再興はしたが矢張り俱樂部さいふ經費問題で惱んでゐる、惡まれぬ北嶺在住社員のため何とか捻出方法はありませんかなと係の方で考慮中

滿洲里

露支衝突の
早くも滿一周年
支那軍は當日追悼會

露支交渉は成立しないが、支那側では滿一周年の來る十一月十六日公園に於て當時の戰死者追悼會を催す筈である、當日は蘇司令もハイラルから態々出席する筈である

露軍飛行機が卅二臺突如曉暗を破つて滿洲里市上空に飛來し市中に爆彈を投下して正式に戰鬪を開いたのは昨年の十一月十七日であつた、爾來既に一ケ年を經過して尙

遼陽

特產漸く出廻る
だが一昨年の半數に達せぬ

遼陽及び附近の特產物は昨年來西一帶洪水の爲め不作、一昨年に比するも尙五割以上の增收を唱へられ出廻り時期に入れば取引餘程旺盛なるべしと豫想されたるに拘らず、銀安と需要地の豐作にたゝられて出廻り更に振はず特產物商も手持無沙汰の氣味であつたが、昨今寒氣が加はると同時に漸く出廻り多くなり遼陽驛への出荷一日二十四五車に達するに至つた、之れさて一昨年の同時期に比すれば半數に達せぬ有樣であるが官銀號の特貸資金の流通により日一日と出廻り盛なるべしと豫想されてゐる

商民救濟に
官銀號貸出

遼陽官銀號支店では文縣長から縣內商民の窮狀救濟方につき交渉を受けたる結果、今回現大洋卅萬元を取り敢ず地券及び家屋擔保で貸出すことにしたが、利子一分七厘で十三日迄に既に五萬餘元を貸出したと、これがため特產物市場も漸く出廻りが始まり日一日と取引盛に行はれつゝあるさ

金光教大祭

遼陽金光教會では十六日午後二時から秋季大祭執行、祭典後沼線教會長の講話があるさ

公判延期

■康裡事件の公判は廿日開廷の筈であつたが十二月四日に延期

人事

▲中村旅團長　十三日朝安東へ
▲岩永第十六師團經理部長　同上南行

吉林

孫中山誕生日

省立民衆教育館にては十二日孫中山の誕生記念日のため書間は同館講演部職員を以て特別講演を開き夜間は第一講演會場に於て幻燈講演を講演主任は孫總理の精神を鼓吹して行つた

中學校夜學部

省城東林中學校にては夜間英學部を設置することゝなり、校長林栄松自ら教授することになつた、其期間は十一月十五日より十二月末迄であるさ

秦會辦歸吉

省城永衡官銀號會辦秦某は先般大連に趣き在連の大豆取引者間に弄走し同號の北滿方面に於て强制購

開原

最近の在監者

省城第一監獄所に於ける最近の在監者を調査するに七百八名あり又看守所にも拘禁者四百六十名ありさ云ふ

兒童慰安映畫

滿鐵勞務課主催の第三十九回兒童慰安活動巡映會は來る二十日昌圖十二月一日開原に於て開催の豫定なるがプログラムは左の如し
一、實寫　日月譚　一卷
一、漫畫　オイ等のスキー　一卷
一、喜劇　突貫ガラクタ列車　二卷
一、兒童劇　明日天氣になあれ　五卷

語學檢定試驗

滿鐵第九回語學檢定試驗華語科豫備試驗合格者に對する本試驗を十三日開原實業補習學校に於て施行

開原警察署へ
慰問金
軍人後援會から

帝國軍人後援會全滿洲支部にては駐滿軍隊並に警察官の勤勞を犒ふ

高等科研究會

高等科研究會は十二日開原小學校にて開催された出席者三十名に達し既報の通り午前中實地授業並に兒童の自治會代議員會並に高等科生徒の職業調查發表會等に一同の注意をひき、午後研究發表批評討議等合自遠慮なき意見の交換をなし午後五時頃終了したさ

地方委員茶話會

開原地方委員會にては十四日午後二時地方事務所に於て茶話會を開催し
一、市街地區劃に關する件
一、公費徵收に關する件
一、地方委員補缺に關する件
其他に就いて協議をなした

語學試驗委員

滿鐵語學檢定本試驗施行の爲め試驗委員秩父剛太郞氏外二名十三日來開

慶應庶務係長出張

開原地方事務所慶應庶務係長は要件を帶び海城野砲兵聯隊へ出張

安東

新塊炭値下
一トン十三圓五十錢に
需要者に福音

滿洲冬期間の必需品たる石炭は一般諸物價の低下を外に聲ばかりで更に値下げの實現がなかつたため炭價の下げよの聲は各方面に起り今や輿論化するに至つたので、安東炭友會では卒先して滿鐵と交渉を進めてゐたが地一般の振合ひもあり其の實現は困難とされてゐたところ今回漸くにして炭友會の希望が入れられる事となつて十三日より新塊炭一噸十三圓五十錢といふ大値引の上發賣する事に決定した、新塊炭は舊塊炭に比し殆ど遜色なき由にて舊塊炭一噸十六圓に比しその價格二圓五十錢の下値であるため一般家庭の採暖用燃料としては大いに歡迎さるゝに至らう、いづれにせよ石炭代の値下げは一般不況の折柄各方面から歡ばれてゐる

大々的防火宣傳
『油斷大敵』『火の用心』
來る十七日に行ふ

火災事故の頻發する結氷季節に入らんとする際、安東署、地方事務所、安東火災保險協會は共同主催の下に來る十七日を期して大々的防火宣傳デーを催す事となつた、當日は警察の自動車及びオートバイに各當務者が乘込み「油斷大敵」火の用心等の防火標語を印刷した約一萬枚の宣傳ビラを安東全市に撒布し防火宣傳の徹底を期す

丸中製材所燒く
溫突の焚過ぎ

十一日午後四時五十分新義州府內本町一番、丸中製材所內宿舍より火を發し忽ち火の手は八方に擴がつて事務室及工場に燃え移つた、急報に依り第一、二、三部消防は直に馳せ付けて防火に努め續いて守備隊初め營林署、王子製紙、安東滿鐵の各消防も應援消火に努めたるも折柄の北西風に煽られて容易に鎭火せず

工場は

乾燥し切つた木造建であり構內には多數の製材、屑板、鋸屑等山積して居た事とて紅蓮の焔は物凄い渦巻となつて構內を舐め盡し、更に附近に立並ぶ住家に延燒せんとしたが消防隊必死の努力に依り辛うじて喰止め午後七時頃一旦鎭火したるも、餘燼は二度燃え上り消防組再度の出動に依り十二日午前零時三十分に至り全く消し止めたが近來の大火であつた、出火場所は事務室隣りの支那人現場係合宿住宅で、原因は溫突の焚過ぎから

引火し

たものらしく當日工場は休業職工苦力は殆ど不在

安東氷滑部
幹事會

寒氣嚴しくなつてウインタースポーツの季節となつたので安東氷滑部は十二日午後二時から地方事務所會議室に於て第一回幹事會を開催し
鴨綠江氷上大リンク設置の件、日本代表選手滿洲派遣の件、會員募集の件、大選手養成の件
その他につき協議するところあつたが、鴨綠江大リンクは江上の凍結を待つて適當の箇所に例年通りセパレートコースの理想的リンクを新設し、陸上リンクは六道溝のトラック內に設け、陸上リンク設置に就いて第一の難事とされて居る注水其他は奉天リンクのそれを學ぶ事となり幹事を同地に派遣する模樣である、陸上リンクは要所々々に電燈を點じて夜間の練習に便ならしむる筈である、なほ歐洲派遣代表選手の豫選は地理的關係から奉天リンクの完成を待つて同地に於て十二月中旬頃行はれる事となつた模樣である

送別演奏會

辯護士富永■■保氏は近く一家を擧げて東京に轉任する事となつたが安東ピアノ同好者は多年斯界に功勞ありし富永夫人のため來る十六日午後二時から安東高女校講堂に於て送別演奏會を催す事となつた斯界の名手多數出演することゝて盛況を豫想されてゐる

大石橋

士官學校入學

大石橋守備第三大隊本部附高橋曹長は過般施行せられたる陸軍士官學校採用試驗に見事に合格し來る十二月一日少尉候補者として入校する事となつたので本人の喜びは勿論であるが直屬上官たる寺尾大隊副官は本人以上に快悅として語る

高橋曹長は人格高潔にして思慮周密而かも業務に對して熱心溢るゝばかりである、大隊本部書記さして極めて多忙なる事務に拘らず此の競爭激甚なる入學試驗に合格したるは洵に偉さするに足る、本人は受驗に志してより酒煙草は固より茶まで廢し湯水を飲みて勉强したとのことである、同僚中にても高橋は何時就寢し何時起きるのかを知る者無く何時も精勵努力しつゝあつたには驚いてゐたが今回見事に試驗合格の名譽を贏ち得たのも必死の努力に對する當然の報酬として何れも感嘆してゐる次第である

家庭慰安映畫

大石橋地方事務所勞務課特選に係る本年掉尾の家庭慰安活動寫眞は十一月十三日午後六時半より公會堂に於て開催したが吹雪にも拘らず盛會であつた

輸組役員總會

大石橋輸入組合に於ては十三日午後六時より小林理事宅に於て役員總會を開催し業務狀況並に聯合會よりの通知事項等の報告をなし各役員の意見を聽取すると共に小林理事自身の組合員に對する希望等を述べ九時過ぎ解散した

義理に堪へかね
少年の鐵道自殺
(上)　崎田少年を繞る哀話

生母と養父母との間に挾まり義理の重みに堪へかね秋に木ノ葉の散るが如く十八の蕾を最後として岡山縣下の三石附近の鐵路の露と消え果てた安東中學五年崎田正壽君……幾多春秋に富む彼れは何故に死んだか、彼が死ぬまで無分別か、生母の親、世の經過をのべて世の親……

子たるもの〻前に捧げやう、彼の生母は現在安東縣五番通菓子商冠那平の妻として何の苦勞もなく生活を續けて居るが彼女が嬰りの十八歲の頃、市內市場通に相當の店舖を構へてゐた菓子商■■の店に知人の世話にて下女奉公に住み込んで居る內、性に目覺めた彼女は其の內に戀の相手を見出し甘い戀に囁きに日の經つのも忘れてゐる內遂に最後の肉體關係迄結び健康體の彼女は姙娠の身となりやがて玉の樣な男兒を分娩した之が本記事の崎田生である

◇

此に於て彼女も最も力となるべき戀の相手は無情冷酷にも彼女と嬰兒を振捨てて行方を晦ましてしまつて養育してやらうと言ふものもなくそれさて罪もない無心の赤兒を捨てる程鬼の如き心も起らず彼女は日夜惱み暖え淚の渴かぬ日さてはなかつた

◇

然し其の後山田夫人より哀れな母子の物語りを聞くや非常に同情を寄せる樣になり主人の結果他人に世話するより引取つて養育してやらうと言ふ事となり今より十八年前即ち大正元年十一月二十三日の事であつた

其の內此の事情を知つた市場通雜貨店山田某氏の夫人が現在の養母である崎田の妻女に對し彼女の哀想なる彼女の物語りをなして引取つて育てゝ吳れる人はないであらうかと相談をされたのは大體其の頃の事であつた、其の子を引取ると言ふ事は其の子の將來を思ふと若し問題でも起つては困るから新聞紙上等ではよく見受けるところから問題でも起つては困ると相談には乘らなかつたが、先方に對して申譯さなる話をしてから

其の生母から溫かき養父母の懷に引取られた赤ん坊は崎田家の長男正壽と命名入籍されたのであつた母乳でなく牛乳で育てる兒養父母の苦心は並大抵ではなかつた事は勿論なれども早く成長を樂しんでゐたが生れつき病弱な赤ん坊は胃腸を損ね成田、大阪、滿鐵と市中の小兒科專門醫を片端から伴れ步き島の嘆かぬ日はあつても崎田の赤ん坊の病院へ行かぬ日はないと近隣の人々から噂されるまで苦心したものであるが、依然として病氣がつき纒ひ生死の間を彷徨する有樣で此の上は神佛の加護に賴る外なしと妨兒が二歲の時養父は一生涯果物を斷ち養母は髮を切つて神佛に誓ひを立て祈願をこめたのであつた。

斯くて漸次小康をたもちつゝ五歲迄育てたが又もや大病に罹り醫者から到底駄目であると最後の宣告を下され茲に於て養父母は悄然まで準備をしたが瀧石の難病も漸く癒えたのであつたそれより三ケ年間妨兒の經過はぐが如く漸次快方に赴いたのであつた、正壽八歲の時養母は母子二人連れで知多半島新四國八十八ケ所高野山等を巡つて禮參りを濟ませたと言ふ事である、斯くて病弱ながら小學校を卒業し去る大正十五年安東中學校に入學、在學中は優秀の成績を以て今年の春五年級に進み來春は卒業と迄漕ぎつけたのであつた彼正壽は卒業後は更に內地の高等工業學校に入學すべく考へて受驗の準備をなしつゝあつた、此處に於て年老いた養父母は書勞の甲斐があつたと互に喜びかつ行末を樂しんで居たのである。

低資借入問題 漸く解決す

六十五萬圓の融通で 死地の撫順救はる

【撫順】鑛產に鑛產を重ね流動資金涸渇經濟的窮境のどん底にある撫順新市街住民三年越の念願たる不動產組合低利資金借入問題が伍堂理事、築島次長等の最後の骨折で漸く解決死地に瀕せる撫順市が茲に救はれる事と確定した、それは「六十五萬圓を限度として滿鐵の保證に依り內地より短期の

低利資金

を借入れてやる」と云ふので而もその利子は年五分乃至六分と云ふ低利で從來の利率一割六分に比すると實に一割年六萬五千圓の差ある上据置一年九ケ月で拂へばいゝと云ふ有利な條件である、但し右低利金貸付には左の三條件がある

一、往時千金市街に居住せる者で露天掘擴張のため新市街に移轉自ら家屋を建て現在家屋を持つもの

二、現在窮狀にありと認める者、但し既に會社の保證で低利の融通を受けてゐるものは除く

三、償還能力ありと認むるもの

以上の條項に該當する組合員を主體として金融機關を組織し市街移轉に關連し二度と炭礦乃至滿鐵にこれ以上の無理を云はぬと組合員一體となつて責任を持つて誓ふ場合は明日にでも前記六十五萬圓を限度として低資の世話を滿鐵がしてやらうと云ふのである、これは撫順の町が他沿線と全然趣きを異にし滿鐵事業遂行上市街移轉のやむなきに至りたる際次の如き特殊事情ある爲特に保證の便宜を與へてやらうと云ふ事になつたのである即ちその

特殊事情

と云ふのは概略次の如き事情である、古城子露天掘擴張の爲め千金の舊市街より現在の新設市街に移轉したる際建築規定嚴なる爲め撫順の購買力に不相應なる家屋を建て一見市區整然大都市の觀をなす町は出來たがその間內輪は何れも火の車で流動資金を越大なる家屋に固定しつくし流動資金全く涸渇の狀態となり遂に右家屋を擔保として年一割六分以上借金をしてゐるので全市の商家が動きがとれなくなりその據替りの必要あり昭和三年十一月不動產組合を設立組合一體となつて低利資金の借入方を正隆銀行に依賴せる、同銀行は二年越に組合をひつぱり廻して置きながら當時撫順支店長たりし某の無誠意極まる態度に依つてドタンバで見事背負投げを喰はされし形となり市民を擧げて激昂せるも遂に及ばず遂に

三年越の

懸案となり本年二月山西炭礦長當時炭礦を通じて左記三案をさげて請願書を滿鐵に提出するに至つた、即ち第一案、百五十萬圓程度の動產會社を設立する故その半額七十五萬圓の株を滿鐵で引受けて貰ひ度し、第二案組合員の不動產を七十五萬圓程度で買收され度いと第三案、五十萬圓程度の融通又は保證をされ度し等であつたが爾來迂餘曲折の交涉後本年六月築島次長來任、次で七月伍堂部長赴任、兩氏の最後的斡旋で滿鐵本社でも充分研究、考慮されたのである、この聲一度傳はるや右組合成つて空しく三度目の儀鬼門に迎ふ年の瀨を迎へんとし死に直面せる撫順の町至る處に歡聲湧き直接交涉ある組合員は勿論、經濟的關係ある撫順市全體のものが始めて救はれたる如く狂喜してゐる

瓦房店 父兄會に寄附

當地澤井淸氏は令孃忌明に當り本日父兄會に金二十圓御寄贈した、尙當會を通じて當家政教室に金十圓を寄附した

熊岳城 實習所第二期生 本月末出所 全部滿洲に止まる

熊岳城農業實習所第二期生はいよく所定の實習を終了し本月末を以て出所する事になつたが自らトラックを運轉し率先して土にまみれ收穫にはげむ小原所長の精勵振りがよく所生を感化せしめ良好の成績を收めて來た處より今回出所する實習生も皆滿洲に止まり農耕にいそしむ事となつた、今其の希望申込中の耕作地は鞍山、貔子窩農事會社、普蘭店方面であると

「僕の研究」愈々精進 昆蟲の慰靈祭

熊岳城「僕の研究」と題してキリギリスの研究を出版した熊岳城小學校生、本宮要君はキリギリスの外幾百千種の昆蟲を研究しつゝあるが該冊子出版せらるゝや各方面の教育者、昆蟲研究者、博物學者よりごしご激勵の手紙が續着し或は參考書、採集器等も今後益々研究に資すべき種々送り届けが到着して居る、因に同君が其の間殺した幾千の昆蟲の爲めに來る十五日自宅に於て慰靈會を催す由

給水タンク 給水使用開始

熊岳城實習所で工事中であつた給水タンクは舊タンクの二倍餘の高さを有する新式タンクとして竣工し既に給水使用する事となつた、なほ十七萬圓の工費を費したといふ農業實習所第三農場の牛舍其他もいよく落成したので從事員一同も同社宅に移轉したが今回竣工した牛舍は小原氏の發案に成る米國式の牧草攪拌タンクや新式の牛乳消毒場パスチースの製造場等理想的のものだといふ

鞍山 防火の特別警戒 寒氣に向ふと同時に 鞍山消防隊の盡力

鞍山消防隊では愈々向寒となり火災期に入つたので萬一の場合を慮り每日機械器具の使用消火栓の故障の有無隊員の出動準備演習等を行ひ目下每日午前九時より一時間市內一圓に渡つて警戒し夜は特別警戒を實施し大いに防火に努力して居る

滿鐵醫院 ガラ空き 珍らしい現象

鞍山滿鐵醫院の入院患者は近年稀な少數にて外來患者も亦昨今非常に減少し傳染病棟は暫くガラ空同樣で鞍山の衞生狀態は頗る良好であると

石川醫師篤行

鞍山赤城町理髮職人坂口源助は本年三月朝鮮より來鞍働いて居たが九月頃肋膜炎と腹膜炎に罹り難澁して居るのを石川醫院主石川義助氏が同情し二ケ月間親切に施療投藥して來たが病狀益々惡化入院の外なくなつたので隣家の小川洋服店主が警察署に願ひ出で衞生會に相談し鞍山醫院特別施療患者として入院加療せしめることに決し十二日入院せしめたが石川醫師は貧困者に對し無料診療を施すこと多く其の奇特な行爲に對し其の筋でも感じ亦一般からも喜ばれてゐる

市街整美取締

鞍山警察署では最近市街一圓に廣告ビラや宣傳ポスター等が電柱や並木に貼られ或は人道に立看板を立て掛けたりして甚だ市街整美の上より注意すべきことも多く署では十二日より市街整美の取締を開始したが一般は處罰を受けたり注意を受けたりせぬ樣充分注意されたしと

佛教學校映畫

鞍山知恩寺內鞍山佛教日曜學校では十三日午後六時半より赤城町演藝館に於て日曜學校資金募集の爲め活動寫眞會を開催したが盛況であつた

協和會總會

鞍山北三條町協和會では十二日午後五時より本年度總會を實業協會堂に於て開催し決算並に來年の豫算を行ひ役員の選擧を行つたが大體に於て重任し親宴を張つたが盛會であつた

工大の辯論會

旅順工科大學學生第三回辯論大會は十二日午後六時三十分より昭和園に於て開催聽衆約三百餘名先づ學生を第一に職業婦人から公休日に當つた花界の姉さん連で一寸學生の辯論會には不似合な光景、豫定のプログラムに依つて

小林周次郎、古賀俊甫、歐野政治、藤崎饒、森永卓弌、渡邊孝三井武雄

の諸氏得意の熱辯能辯を振ひ最後に久保田駐在武官の支那の警備と我が海軍に就て興趣ある講演あり同九時四十分盛會裡に閉會した

法院便り

十二日旅順高等法院覆審部に於て開廷せる刑事公判は▲旅順の強姦未遂で一寸人騒せをやつた小出尙(一七)に對しては被害者より告訴取下げをなしたので訴棄却となり▲無線電信違犯和田賢太郎に對しては續行次回は二月十八日▲詐欺永井韓作に對しては安東縣怡隆洋行の王人フミ、ジョウ(日)婦人)鮮人店員金文奎兩名の證人調べあり結審となり言渡しは十九日▲同濱田英太に對しては同上▲匪賊姚學玉は職權變更となり次回未定

市中の噂

步兵第九聯隊から入院中傷給を割いて國防費の一助にして呉れと申出た笹井上等兵の美擧に對し又同聯隊の某兵卒から金三圓を憲兵分隊に送つて來た▲同分隊では「どうも褒賞する樣で面白くないから發表しない……」と云ふ、美談美擧は大に獎勵して好さそうなものだが矢張り之れも「見解の相違」と見える▲旅順醫院の賣店は近く院內の外科部へ通ずる右角の一室に移轉するそうで從來のやうに一々門の處迄買出しに出掛る必要がなくなり患者のためには結構なことである▲入院中であつた管內鷄冠咀王會臣の長女王貞女(三)のお腹の膨れる奇病は去る十日加藤外科部長執刀で大手術を行つた▲何しろ珍しい事とて醫官醫員總出で見學した、手術は一時間半ばかりで終つたが取出した肉塊は實に五千瓦、一貫三百目強、コレワ「胎生的腎臟腫瘍」と云ふのでコンナ大きなものは全く珍しいと云ふ▲之れが爲め內臟はスッカリ橫の方へ押しつけられ兩肋骨の如きも上部へ突起してゐたさうで胎內から既に此疾患があつたのである▲可哀想にも此少女も到底議論は無いのであるが十二日朝遂に學術的貢獻を殘し死亡した要するに刀圭界のため三年間の現世に姿を現した少女であつたのだ

旅順 晚蠶飼育狀況 甚しく不良 空頭性軟化病發生

旅順管內に於ける晚蠶飼育狀況を見るに

▲飼育戶數一六戶▲掃立枚數三八〇枚▲同時期自八月廿日至同三十日▲上簇は期日九月二十五日至十月二日▲收繭量六一五、六五〇匁▲同價格九五六圓七三〇▲上繭一貫最高價格二圓三九〇▲同上最低價格一圓一七〇▲同上平均價格一圓五七〇▲蠶種一枚の收繭量は一六二〇匁

即ち飼育狀況は蠶種は蠶絲會社製造に依る日支三元交雜種で比較的漫種にして發生狀況は概して良好を示し本期飼育者全部は日本人にて戶數は前年に比し減ぜるも掃立枚數に於て四十六枚即ち一割強の增加を示してゐるが一般的には掃立後の經過良好ならず早きは二眠前後より空頭性軟化病の發生を見甚だしく成績のものは半數、他は全滅に近き狀態である、これが原因は晚秋の飼育方法當を得ず所謂追掃立重掃の弊に陷つたゝめか又秋蠶病の後の影響を受けて桑葉の成熟充分ならず雜蠶甲不注意に摘葉せるものゝ爲め多くは蠶兒をして榮養不足に陷らしめたるが原因なるべく更に繭取引の合理化を計るべく當期生產繭に就いては各荷口に對し特定の方法に依り檢定用繭を取り日拂絲系試驗により生繭百匁に對する實系量を換算しこれに掛目を乘じたるものを眞價として取引せる由にて蠶業に供給の[illegible]は不足ではなかつたと

刑務所の 街頭進出 作業係の活躍

旅順刑務所の作業係ではたゞさへ官業橫暴、民業壓迫だとの非難を耳にするため近くトラック一臺を購入し狹い旅順より廣い大連への地方進出をなす由で第一着手として作業品の實物展覽並に定價の表示を行ふ由である、因に刑務所現在の作業は二工場を持つて約七十名の作業員が銳意その業務に努めつゝあるが何んと云つても一番安いのが金銀細工、精巧な方面では塗り物細工や表裝類で洋服部の如きは不評だけどんなものかと云ふ調子の大盛況である、尙又年賀狀も百枚十五錢、五十枚位だつたら十錢位で印刷して呉れるが申込は十一月末迄であると

歸順直後の霧社蕃 (4)

十五年まへの思ひ出

東京にて　旭　京　生

立鷹 の一夜明けて又も銃手を先導に山を下り霧社に還る途上ロードウ蕃社を訪へば、霧社の上丘半里の懸崖傾斜地にある蕃屋約五十此邊りの部落としては小なるもので增田警部補・谷田巡査に導かれて部落內に入れば二三年前は吊せし人の首ありといふも今は影も形もなく筧の水淙々音をなして落ち、日當り好き地點を選びし山村に蕃人男女親ろ歡迎し悉く開放して見せる、恰も農家で出働き居る者も多く男女兒童は集り來りて飽れ、中には片言交りに內地語を語りて好意を表するもあり、歸途の豚と交はりて各戶に飼へる犬の吠へ立てる間を各戶に入りて見る

家屋 は石盤石又は土砂にて掘り下げて以前は銃眼を設けたれば今も其跡があり、周圍に樹木小石等を積み上げ細き柱を立て屋根は茅葺なるも山地に多き石盤石にて葺けるもあり、銃器は一通り引揚げたれど槍、弓等の武器尙存して勇武を誇る屋內は土間にて其隅に竹張の寢臺を設け冬は樹木を焚きて煖を取るも夏は甚だ涼し、什器の所狹き迄に並べられ其數や雜器は內地人にも

愛玩 さる、又各一棟又は二棟の倉庫を有し柵圍ひにて地上三四尺の所を床底とし恰も二階建の如く、四邊の柱には大なる圓形の木蓋を附して鼠の攀るを妨ぐ、庫內には粟を貯へ稀に衣服を藏するもあり粟は總の儘一年分を貯へ新作穫らざれば之を食はず一年後れの不味なるを食ふも用心深いが蕃婦之を木臼に入れて舂き精白して湯の中に入れ粥の如くして食ふ又冷して食ふもあり醱酵を待ちて所謂蕃酒を製するもあり副食物は

飼養 せる豚、雞等を用ゐまた川魚を漁り鳥獸を獵す、野菜は作らず果物は天然の儘を探取してゐる、かくして蕃人は頗る呑氣な生活をしてゐるが財產といへば人首は最早問題にあらず生命より二番目の銃器は次第に引揚られたれば(尤も本島人より密買行はる)倉庫の糧食と衣服裝飾品であるが裝飾品中には人の齒を以て製したるもの

人骨 を磨たるものなどあり、刺墨は禁止後は無きを誇るも蕃婦は少女に刺墨なしさて僅あり更に示し公學校通ひの少女能く語りて內地人と異らざるものがあり女子の耳の環は本島人も同樣未だ廢止せざるも總て十六七ソロくお化粧を覺へ裝飾を首にし手にす、又顏る面貌の整へる者があり色相黑きも

美人 の種少からず而も近時男女の關係漸く嚴重ならずして以前は耳を殺ぎ、指を切るはまだしも首を取りたる例もありしが最近は私通もあり結通も行はるといふ所謂文明の賜か否か、南蕃は狀況を異にするが北蕃は其蕃社のある所要害を選んで水神を考へ高からず低からざる地點を擇び宛然一個の城塞を成す、即ち得意の鬪爭のために謀る用意であるが隨つて蕃社と蕃社の間には爭鬪地帶とも稱すべき地域があり以前は全然耕作することは不可能なりしも近時は漸次之を撤去し首狩と

爭鬪 との主な仕事を失ひし男子が從來女子に委せ切りの稼業を行ふに至り農耕に從事するものが多い、農作は粟、甘藷、豆類、稗、陸稻等にして山地を勝手放題に開作して植付け其耕地に出稼ぎする場合は假小屋を設けて起臥し數日を送りて仕事が終らざれば歸らず又山野を跋涉することが巧妙なれば遠きを厭はず寡少の人口を以て廣大なる山地を獵してゐるのである、されば山地探檢を目的とする當吏も濁水溪の源頭は之を究めざれども

蕃人 は跋涉して能く之を知り萬大溪の上流山に激する奔流が石盤石を粉碎し土砂を崩壞して永久に無盡藏の濁水を製造してゐるとは蕃人の話であるが萬大蕃社より四五里の上流深山幽谷近寄るべからずといふのである、ロードウ蕃社を出でホーゴー蕃社を經て霧社に引返し公學校を見る眉溪を過ぎても一來し道を埔里社へ歸還する行程は往路に慣れたる苦力に依りて危險を感ぜざりし臺車が今度は不慣れの蠻勇に押さしたため險路疾走に命がけの

冒險 を冒しつゝ進行する間に果然脫線又脫線して同行の補田氏は投げ出されて六七間の谷底に轉げ込み手足に數ケ所の負傷をする騷ぎで幸ひ上は命あつての物種と步行して九死を豫防し漸く無事に此山地蕃界探檢を終り埔里社に歸着した

不老不死 仙遊記 (四十七)

竹內克己　淺枝次朗畫

眞仙は去る

師尙詔は東門の敗兵を收容して居る所へ、西の門からも妻金花の部將らがやぶれ歸り

「妙法夫人はおしくも亂軍中に戰死されました」

と報告する。

始めの程はよもやと思つてゐたが、敗かへるもの、かへるもの全部が、そうと報告するので、流石の主將もがつかりし、果ては男泣きになくのであつた。

「おれはもと良民であつたが涉縣の山中に二十萬兩の金を得たことからこんな風になつたのだ。あの金をもつてさへ居れば今頃は一富豪の民として子孫も安樂にくらせたろうに、秦尼にすゝめられついその氣になり、しかも秦尼は逃げてしまひ、愛妻金花はあへなくなり、力とたのむものはなくなつた二人の子はいまだおさなく、行末が案じられるし、兄弟は涉縣で誅へられるし、霸王の夢どころではない。おれの運命ももうこれまでだ」

と、劍を拔いて自殺しようとするを左右の部將は走りよつてこれをとゞめ

「昔、漢の高祖はあれ程度々敗けましたが、尙よく天下をとつたではありませんか、まだ城中には二萬人の兵と、優に一年を支へるに足る糧がございます。城を堅く守り、隙を見て官軍を擊てば勝てぬこともありますまい。おはやまりになつてはなりません。元帥がそんなことをなさると徒らに軍心を動搖せしめる許りですから……」

師尙詔は部將の慰めに、幾分心を落つけ、再びその氣になつたが心中少しも樂しまなかつた。

林桂芳は敗軍を整理し、賊將の妻金花の戰死を冷干氷に知らせやうと思つて、その室にいつて見ると、冷は何處へいつたやら影も形も見えない。

さては去られたのかと、當番の兵卒を叱りつけ

「貴樣らは何故、先生が去られたのを知らないのか、あれ程にしておいたのに、斬罪にも處すべき奴ぢや」

「私ども決して御命令を怠つてゐた譯ではございません。冷先生は金花の戰死をお聞きになると、これでわしの仕事も濟んだからと、俄になり、私どもには室外に居て用事を待てとおつしやいましたので……お室においでにならぬ筈がないと思ひますが……いつの間に……」

林桂芳は心に思ふよう、冷先生の去來は全く我々では測り知ることは出來ない。今賊軍中にもはや妖術をつかうものがなくなつたので、師尙詔だけなら、我々でも大丈夫と思はれて何處かへ行かれたのであらう。

それにしても一言おつしやつていただけばよいのに……お名殘りおしいことだ。

その時曹提督から司令部に集合の命令が來た。いつて見ると提督はニコニコして

「祝杯を擧げるにはまだ少し早いが、金花が死ればもうこちらのものだ。で今日は心ばかりの內祝いでれ……」

各將校はそれぞれ戰鬪の激しかつたことを話す。

管寰は金花が石を飛ばし、風を起して兵士の頭をくだき、骨を折つたことなどを話し、あれは不思議な術だ、ほんとにあれには困つたなどゝ話すと、各將校も感心して聞く。林桂芳はふと何心なく

「そんな術位は珍しくもない。此の前の秦尼の時こそはほんとに……」

と、言ひ出したが、林岱と文煌がしきりに目でその話はやめろと合圖をしたので急に口をつぐんでしまつた。

曹提督はこれを聞いてまだ秦尼の生きて居ることを思ひ出し、大いに驚き

「そうだつた、そうだつた、わしは秦尼の生きて居ることを全く忘れてゐた。此の妖婆は金花の師匠といふからは、より以上にしたたかな奴に違ひない。林總兵官、今君の話しかけた此前の時とかの秦尼の戰ひぶりを是非話してくれ」

林桂芳は一度口に出したことであるし、もうこうなつてはいはない譯にもゆかないので、そもそもの始めから話し出すのであつた。

文煌が林岱を助けたこと、が惡い兄や兄嫁に迫害せられたこと、そして夫婦とも冷干氷に助けられ、旅費を貰つて荊州に訊れて來たことなど……

この話を聞くもの、或は感じ、或は賞め、かくて秦尼との鬪ひに及ぶや何れも驚嘆これを久しうしたのであつた。曹提督は

「その人こそ眞仙である。若しその眞仙がゐなかつたら賊軍は今頃どの位猖獗を極めて居るかわからない。如何に眞仙が人に知られることをいやがつたとて、わしは是非自らいつて御禮へせなくては……」

と、新に祝宴の用意を命じて、迎へにと立ち上るのであつた。

林桂芳はおどろき

「いやそれがその、冷先生は神術で何れへかいつてしまはれましたので……」

林岱と文煌もこれを聞いてがつくりし

「それはほんとうなのですか」

「ほんとうとも、ほんとうだ。それも今しがたいつてしまはれたので、實は名殘りと思つてゐたところだ。……提督閣下の前でがうそをついてなんとせう」

曹提督は

「それではまだ此の近くに居るに違ひない。人をやつて探して見よ」

「いやいや、閣下、冷先生は過日秦尼に敷百里をゆかれ、過日秦尼はれた時の如きは馬上から雲にのられた位で、いまとてはさがしたとてむだでございませう」

「そうか、わしはさうそう仙に會ふ機會を失つた。殘念なことをした。それもわしに緣がないからであらう。しかたがない」

それからなほも冷干氷に關していろいろなことを文煌にたづね一同ともに感歎してきくのであつた。

聖上
御愛馬吹雪にお召
大演習を御統監
御座所高く錦旗燦然と輝き
龍顔に御微笑を拜す

【岡山十四日發電通】今十四日は大元帥陛下が今次特別大演習を三備の野に統させらる最初の日である、陛下にはこの朝六時早くも御起床、大元帥の御軍裝にて金谷參謀總長、奈良武官長等と戰況を按ぜられたるのち八時四十三分、野外自動車御鹵簿を

整へさせられて大本營御出門、沿道に埋める赤子の群に擧手の御會釋を賜ひつゝ岡山驛御着、八時五十分岡山驛御發車、廣島縣福山驛に向はせられ九時五十五分福山御着、兩備鐵道に御乘り替え十時二十二分兩備假驛着御、此處

にて御愛馬吹雪に召され野外統監部に駒を進め給ふた、この時御座所高く揭げられた天皇旗は金光燦然として折柄の秋光に輝き映えた、野外統監部には閑院、梨本、賀陽、朝香の各宮殿下、李鍵公殿下を始め金谷幕僚長以下幕僚將校、上原元帥以下各際

觀將校外國使臣等が奉迎申し上げた、畏くも陛下には直に演習統監に移らせられ

双眼鏡
を御手に金谷幕僚長の御說明を御聽取あらせられつゝ最とも御熱心に兩軍力戰の樣を御統監、時折龍顏に御微笑さへ拜された、斯くて統監を終えさせられた陛下には福山高等女學校敎諭たる豫備陸軍中尉坂本龍作氏の御前講演を御聽取の後福山市役所に行幸、縣治功勞者等に御賜謁學業品、獻上品等天覽の後二時四十五分福山驛御發、三時五十七分御機嫌麗しく大本營に還幸あらせられた

殺人未遂現行犯で
首相狙擊の佐鄕屋を起訴
金山檢事正以下協議の結果
犯人の黑幕檢擧を命ず

【東京十四日發電通】東京地方裁判所檢事局は金山檢事正以下協議の結果犯人の背後と見らるべき人物の檢擧を命じてゐるが佐鄕屋の犯行は法律上計畫的なる殺人行爲と認められ殺人未遂現行犯として今夕までには起訴收容さるゝであらうと

犯人は藝妓の私生兒
原籍地に住んだ事はなし

【長崎十四日發電通】首相狙擊犯人佐鄕屋留雄の戶籍面摘錄　長崎縣北松浦郡大島村大字大島百八十七番戶、戶主平民佐鄕屋

スミ養女イソ私生兒、明治四十一年十二月一日生、母の家に入るを得ざるに依り一家創立のため明治四十一年十二月七日出生屆出、同日受付、イソは明治四

十年頃彼杵で藝妓をしてゐるうち氏名不詳の土方の胤を宿し間もなく行方不明となつたが、留雄出生のため形式的屆出したので留雄は一度も彼杵に住んだ事

大演習は豫定通り遂行

【岡山十四日發電通】時報は演習なし

木炭屋さんの書き入れどき

ストーヴには未だすこし暖かい――と言ふので今木炭屋さんの書き入れどきです、いよ〳〵本格の寒さに這入つてストーヴやペーチカを焚くやうになると炭事に賣れゆきが激減するから面白いぢやありませんか、カンカンを燃つた火鉢を囲んで熱いチーヤの盃をはるかに聞いてゐるさまたどうしても滿洲の冬らしい氣分になれません、

佐鄕屋留雄
多少苦學したらしい

【長崎十四日發電通】長崎縣兵事課調査によれば佐鄕屋留雄は昭和三年赤坂區で徵兵檢査を受け學歷としては尋常小學校を卒業したのみであるが受驗の際は中學二年終了の認定を受けてゐる點に見て多少苦學したらしく身長五尺一寸九分體重五十九キロ丙種合格である

證據蒐集の爲
判檢事某方面に出張す

【東京十四日發電通】濱口首相狙擊犯行の物的證據蒐集のため渡邊、藤本兩豫審判事、木內、鈴木兩檢事は家宅搜索のため某方面へ出張した

支那時局も先づ一段落
時局好轉で蔣介石氏有頂天
高木陸郞氏の視察談

中日實業公司副總裁高木陸郞氏は社用を帶び南京、上海視察中であつたが十四日入港大連丸で來連、最近の支那事情につき語る

先月の終り大連から上海方面に行つたが南方の空氣は隨分變つたものだ、北方とは全然

お話に
ならぬスマートなところがある、恰度蔣介石氏は時局の好轉に有頂天になつてゐるし、副司令に押された張學良氏も全く蔣氏の心持通り動きまあ支那時局も一段落と云ふところだらう、私が出發の前日、張學良氏が南京に入つたが大した人氣で素晴らしい歡迎を受けて

ゐた、財界方面もどうやら小康を得たらしく餘り騷いでゐなかつた、全體會議も十二日から開催されてゐるが今度はまあ

顏合せ
と政府の一部に人事の異動を見る位の事だらう、行政委員長の椅子が空いてゐる

水上署で船客名簿調査
犯人在連說に

首相狙擊犯人が曾て在連したといふ確報が入ると共に當地水上署に於いても同人の動靜に關し調査の必要上當時の船客名簿をくつて嚴しい調査ぶりを示してゐる

地にも傳はつたが大演習は統帥權に基く、陛下御親裁の純然たる軍事上の行事なれば參謀本部方面では如何なる事あるとも豫定通り遂行する方針だと

越鐵事件公判

【東京十三日發電通】越鐵、山手兩私鐵疑獄事件の辯論は十三日午後、江橋辯護士の後を受け湯川辯護士佐竹氏のため辯じ檢事の威嚇に依り種々の供述をしたものだと暴露して石郷岡檢事の注意を受くるなど波瀾あつて午後六時閉廷

表面的
にしても好感をもつてゐる、一面これは東北省とは全然立場が異つてゐて滿蒙の地ほど直接利害關係がないためであらう、要するにこの時局の一段落によつて日本に對する態度が變つて來やしないかと思ふといふのはまだ南の人達には日本の滿蒙におけるすべての事は日本の諒解を得ればならないと思つてゐたものが、直接東北省側との握手によつて

奉天側
が何等日本側の制肘を受けず交通方面の事にしてもドシドシ自力でやつて行くのを見て寧ろ驚異の目をもつて見てゐる位だ、張群氏邊りは痛切にそれを感じてゐるらしい、次に永井外務次官はあゝいふ人だと諒解し今では何等問題になつてゐない、自分は數日滯在のうへ再び上海方面に行くつもりでゐる

しその他今度の東北拖込みに有力な功を樹てた張群氏や李石曾氏の拔擢も考へられるところだしその他今次の時局に關係した人々の論功行賞もあると思はれる、一部に外交部長王正廷氏が辭める如く傳へられてゐるがそんな事はあるまい、要するに南方支部は東北支部に比較して日本には假令

レントゲンで確實に流產
大阪醫大の長橋博士が成功
學界注目の的となる

【大阪特電十四日發】レントゲン光線による避姙方法は既に醫學界に確證されてゐるが、最近大阪醫大教授長橋正道博士は更に一步を進めた研究の末レントゲンによる人工的流產の出來得る實驗に成功したので、これを近く學界に發表することになつた、この實驗の成功は我國は勿論世界醫學界においても初めての事で、從つて同博士の成功は學界注目の的となつてゐるが、レントゲン線による人工流產の實驗は單に動物に止まらず、同博士によつて人間にも數十例をもつてゐるから

有力で
實驗の結果によれば流產を行ふ適當な時期は普通姙娠三四ケ月の場合が最もいゝが、これより少くてもまた多くても差支へなく、光線を放射してから流產する迄には普通二週間から七週間位で百パーセントの確實性をもつて胎兒は死亡して出る、しかも光線を適當に放射すると姙婦は何らの苦痛感もなく胎兒の出る時も殆ど苦痛を件はないといふのだから外科的流產に危險を伴ふ姙婦には特に効果的だといはれてゐる

明大つひに豫科の臨休發表
學生側の要求條項

【東京十四日發電通】明大騷動に關する三派聯合委員會は十四日午前の會議の結果漸く要求條項を決定し學長に提出する事となつたが最初の實行委員の要求とは相距る事遠く强硬派豫科學生は大いに不滿を感じ反對氣勢を擧げてゐるので當局は十四、五兩日豫科の臨時休校を發表した、要求條項の重なるもの

一、授業料一割値下
一、圖書館建設
一、記念館寄附金は明年三月で打切る事
一、大學、豫科の自治權確立
一、學生消費組合の設立

等である

旅順方家屯の人殺し判明

去月二十五日午後十一時三十分ころ旅順方家屯會安家屯一七番地、侯德升方に於て主人侯德升（四七）を一〇の下に殺害せる犯人について旅順警察署に於て極力搜査をつゞけ一方、容疑者五名について嚴重取調べ中、十三日午後三時半に至り右容疑者中の郭某は遂に包み切れず眞犯人たることを自白

中の滿鐵旅客課長下津春五郞、旅客課連絡係主任貝塚參事は十四日夜行にて歸任

北海道留萠を大暴風襲ふ

【札幌十三日發電通】十三日午前三時頃留萠に突如大暴風襲來し風速三十五米突の烈風となり午前六時頃には雪を交へ、ために電柱倒壞、電話線切斷等被害夥だしく屋根の吹飛ばされたもの約百戶その他倉庫役場小學校倒壞し被害多く三十年來の大暴風であつた

するに至つたので引つゞき連類者の取調べを行つてゐる

富士紡川崎工場の爭議惡化

【川崎十三日發電通】去る一日來爭議中の富士紡川崎工場は形勢險惡を加へ爭議團側は十二日再度要求書を提出したが一蹴され、同夜十一時頃工場表門に殺到投石し窓硝子十數枚を破壞したので目下川崎署で警戒中である

竊盜四人縊死す
獄衣帶を窓にかけて

目下旅順刑務所に服役中の前科四犯の王環光（三〇）は竊盜罪にて懲役四年の刑をうけ昭和三年入所したものだが、十三日午前五時三十分頃より同六時頃までの間に於て地下室第一號獨房に於て自己の獄衣帶を窓にかけ縊死を遂げた

一ケ月に亘つた早大騷動無事解決
學生側、調停案を承認

【東京十三日發電通】早大學生聯合委員會は十三日午後一時學生ホールに約三百名出席して開會、午前中クラスから集めた中野調停案に對する全學生の賛否を持寄り最後の採決を行つた結果五對二の割合にて中野氏の調停案を承認することに決定し午後五時散會した

實行委員は直に大隈會館に回答を待てる中野氏にこの旨を傳へ中野氏は恩賜館にて高田總長と會見、學生側が正式に解決條件を承諾した旨報告、かくて一ケ月に亘るさしもの紛擾も無事に解決していよ〳〵十四日より一齊に授業を受けることゝなつた

鮮滿會議出席者
安東における鮮滿旅客打合會議に出席

鐵道沿線に馬賊接近
出廻期と共に

洮南地方における馬賊は冬期特產物の出廻り期に近づいた爲め漸次鐵道沿線に接近しつゝあり、荷物運搬歸りの馬車夫が頻々として襲はれつゝあるが、去る十日夕刻には洮南市街より停車場まで客を送つた乘用馬車が又復襲はれ馬二頭と馬車夫の所持金全部を奪はれた、停車場より市街迄は相當の距離ありその間人家なき爲め從來もこの地點に於て數度同樣の事件あり、今後も收穫時期のことゝて何時事件發生するやも知れず、邦人旅行者は同地に夕刻到着の列車を選ばぬ方がよいと

大豆とバラス積兼用の貨車
試驗の結果頗る好成績

滿鐵々道部では本年度豫算で最新式貨車百十五輛を鐵道工場で新造することゝなつてゐたが、工場の都合で內三十五輛は次年度に繰延べることになつた、而してこの新造貨車百十五輛中、大豆積兼バラス積の新案貨車五十輛餘を製作することになつてゐるが、バラス兼用貨車は底部から少量づゝしかも徐々にバラスを線路內に落す最新式の工風になつてゐる、十三日午前大連埠頭構內に於て石炭をバラスに代用滿載の上試運轉を試みたが頗る好成績であつた、然るに石炭はバラスに比し

非常に
輕いので兩三日中に周水子驛から小野田セメント會社間の引込線でバラスを滿載し試運轉を行ふことになつた、若しこれに成功すれば本年度內に新案の兼用貨車十五輛乃至二十輛の製作をなす筈だといふ、從來滿鐵の鐵道用バラスはバラス積貨車を線路に停止せしめ必要の量だけを線路外に落して更に線路內に持込まれてゐた關係上、線路工事は勿論列車運行上にも頗る不便であつたが前記貨車の新造で線路內にしかも列車を運轉しつゝバラスの配給が出來ることゝなるから能率の上からも經濟上からも非常に惠まれるわけである

不戰五名を殘し大連快勝す
觀衆立錐の餘地なき盛況
十三日の對鮮鐵柔道戰

鮮滿對抗柔道戰復活の前提戰として大なる期待を以て迎へられて居た朝鮮鐵道局對全大連の柔道試合は十三日午後四時四十五分より滿鐵大連道場にて約千名の觀衆にとりまかれて擧行、定刻兩軍選士それ〴〵十八名は土崎朝鮮、關大連兩監督に連れられて入場、型の如く兩軍挨拶をなし滿鐵運動會長事長野村氏の挨拶の辭によつて

火蓋を
切つた、大連先鋒山野一級先づ朝鮮先鋒吉原一級をほうむり横田朝鮮初段鮮軍二名を倒して優勢となつたが、朝鮮側中堅池及び香月の各二段活躍、池二段は二名を香月二段は一名を倒し大連側中堅を漸く挽回し觀衆手に汗を握る、大連副將中野四段平山二段一名を倒せし

のち田中二段、朝鮮側四將野口三段、三將中村三段を見事倒し副將森田三段と引分け、朝鮮大將川村四段と大連五將宮崎三段の對戰となる、宮崎三段川村四段を終始壓しこれを屠つてとゞめを刺し大連大將以下六名を殘して勝ち六時三十分盛會裡に閉戰した、戰績左の如くである（〇は勝ち）

全大連　朝鮮

〇先鋒一級山野（肩上四方）先鋒一級吉原

山野攻勢に出づる二分吉原の巴投げをかへして肩上四方に代へて勝つ

一級山野（引分け）一級金　山野寢業で攻め立てる後陣寄內股で攻めたが成らず引分けさなる

一級龜井（引分け）初段松原　第二呼鈴直前松原送り出しめて龜井だつたが引分けとなる

〇初段橫田（跳腰）初段鄭　開始後直に橫田得意の跳腰できめる

〇初段橫田（跳腰）初段川本　二分左跳腰

初段橫田（引分け）初段小川

〇初段今田（肩上四方）二段土崎

初段今田（引分け）三段吉田

初段井上（引分け）二段古瀨　井上しばしば特意の左背負ひで攻め立てたが古瀨また左かまへのためにはずされ引分けとなる

初段加藤（體落し）二段池〇　加藤優勢に見えたが見事な體落して池勝つ

初段田中（體落し）二段池〇　三分やゝ崩れかけた體落して池再び勝つ

二段大畑（引分け）二段池　第二呼鈴直前大畑拂腰裏で業をさつたのみ

二段井崎（跳腰）二段香月〇

二段伊藤（引分け）二段香月

二段成松（引分け）三段西村

〇二段平山（內股）三段高尾　平山釣込腰で攻め好く適される第一呼鈴直前內股で平山勝つ

二段平山（引分け）三段近藤

〇二段田中（跳腰）三段野口

〇二段田中（上四方）三段中村　田中直に大外刈より背負ひに移る鋭い業で攻める中村好守後田中再び大外刈の業をさり直に橫四方で押へ上四方に移って勝つ

二段田□（引分け）副將三段森田　二分森田左釣込み足業でとつたが田中好守好防副將と引分けとなる

〇三段宮崎（內股）大將四段吉田　五分宮崎見事な內股で大將をほうむる

三段宮崎（不戰）

三段今里（同上）

三段三間（同上）

副將三段岡部（同上）

大將四段吉田（同上）

日滿無線聯絡
電報緩和されん

この四日以來內地臺灣間電信線が全部不通となつたので東京、臺北間無線通信輻輳のため大連、東京間無線連絡は臨時休止中であつたが內地臺灣間有線線は十三日夜一線だけ恢復したので當地遞信局では日滿間電信線も目下二線不通の折柄早速日滿間無線連絡を復活し極力無線により電報を疏通することゝしたから日滿間通信は幾分緩和される見込である

海の唄〔一一三〕

仲木貞一作　林唯一畫

秋の訪れ（七）

書生が這入つて來たが、それには氣もとめず玄關へ出て來た。すると和雄をも伯爵邸の書生と間違えたのか、玄關に立つてゐた二人の男は、

「ちよつと、伯爵にお目にかゝりたいのですが――」

と、石を投げるやうに口を揃えて云ふのだつた。

が、和雄はそれが誰人であるかに氣付くと「失禮な奴だなあ」と思つた。直にその男も和雄を見て自嘲に近い感情に支配されたらしい。

和雄は挨拶もせず突ッ立つてゐた、が素知らぬ風も出來かねて

「今、書生が來ますから……」

と、云つた。相手の一人は例の田部だつた。

その途端、書生が追ひかけるやうに廊下を走つて來て、和雄の袖の下から聲を落して、

「夜分は一切お目にかゝりませんことになつてゐられますので、また、明日でもおいで下さるやうにとのことでございます」

書生の冷然とした調が、一刻も早く二人の立退きを要望してゐるらしく尖つた。

和雄は無關心らしく見せて、かまはず玄關を出て行つた。

「ぢや、明日は何時頃に伺へば、お會ひ下さいますか、それを伺つてきて下さいませんか」

一人の男が、さも苛立しげに書生の顔を見上げた。

「これからいらつしやる時は、電話をかけてからいらして見て下さい」

書生は一層冷然とした態度を應揚に示めた。

「然し電話だなんて云はずに、もう一度伺つて下さい。少し急ぎの用事で伺つたんですから」

と、云ふのは、骨骼の猛々しい偉丈夫然とした方の男だつた。

「あなた方は、今までに伯爵にはお逢ひしてゐる方なんですか?……初めての方は新聞社にしろ、何處の方にしろ……」

「なにを云ふんだ。僕はあの新聞社の田部といふものなんだぞ。もう幾度も伯爵には會つてるんだから、さう云ひ給へ」

居直りのやうに暇憾な口調に早嚙りしたかと思ふと、玄關へどつかりと腰を下してしまつた。そこで、その田部の權幕に恐怖を覺えたのか――あゝ、田部さんでしたか――と云ふと、慌たゞしく廊下を走つて伯爵の居間の方へと行つたが、やがてまた引返してきた。

「兎に角、此度お電話をかけ下すつてから、おいで下さるやうにとのことでございますから……伯爵の御面會時間は此の頃、午前中と限られてますので……」

と、冷たい理智を上塗りしたやうな態度で云つた。その態度に何か侮蔑を感じたのか、田部は――さうですか、然し――と云ひかけた時、伴れの男から袂を引ッ張られて、そのまゝ口を噤んだ。

「仕方ない行かうよ」

一人の男が腰を下してゐる田部に云つた。

「よし行かう! 逢つてくれないと云ふなら是非もない、行かう!」

「さよなら〳〵」

二人は牛のやうな恰好をして門を出た。

「えれに權式振つてるもんやなあ。中井伯爵と云へば評判の平民的だときいてるのに……」

「フン」

田部は、如何にも面白くないと云ふ風に佛頂面をして云ひながら

「吉村君!」

と、ちよと丁寧に、伴れの男の苗字を呼んで、

「なに、さう悲觀したもんでもないよ。また此度行つて、執拗に攻に口説くですなあ。それにあの野郎ばかりが何も恰な樗きでもないのだから。たゞ秋月の奴、あんな伯爵夫人の肖像なんか描きやあがつて、巧に夫人に取入つてゐるのが、癪の種なんだ。そいつも序に邪魔してやらうといふんだからね」

「まあ、そりやさうだらうが……」

門を出ると、こんな會話をして行くのを、先刻、歸つたらしく見せかけて門を出た和雄は二人の後をつけてゐた。どうやら、田部の伴れの男の吉村と云ふのは、見覺えのある男のやうな感じがしてならなかつた。

秋雜吟

大連　蒼原句會　紅村

何鳥か聲ひときは高し紅葉山
の香の故あらたなり　治節
何乞ひの聲にめざめし霜の朝

秀峰

小春日の縁先に椅子持ち出しぬ
小春日の雲を映して野の小川
すぎし日の功もゆかし菊の宴
咲きの菊うそ寒く時ぐれけり
松のところ〳〵に紅葉かな
蔦紅葉茂りし家や琴もろろ
竹垣のこわれしところ菊の盛りかな
行く秋や巖に波のしぶきかな
みづうみに靜もる影や紅葉山
古松老杉鬱として紅葉もなかりけり
水涸れし小川の岸や野菊咲く
乳を慕ふ子なきやみし夜寒哉
大輪の菊一鉢や廣間
國旗交せし大玄關や菊薫る
藁干せる山家の畑や櫨紅葉

谿洗

ほこらかに式に大輪の菊白し
細沼に水澄む湖や雁のこゑ
老木立日ねもす落葉はらり〳〵かな
庭や菊ほこらかに朝日映ひ
老舗に培かはれ咲く菊の鉢
菊一輪書齋に活けし朝の秋
石垣のこわれしところ蔦紅葉
雨戸くる寢ざめに菊の匂ひけり
さむらひの行列續く秋かな
置く霜に趣へり代朝の菊
聳え立つ奇岳奇岩の紅葉晴れ
神さびし社の森や紅葉散る
紅葉谷流れに添ふて徑細し
ゆく水に蘆の葉垂れて雁の聲

色染子

雁のこゑ明け見れば肌寒し
山に鐘つく僧や秋の暮
窓下の草枯れゆけり秋の風
裏山は昨日にかはる紅葉かな
庭先きも嵐のあとの落葉哉
椽側に小猫いねむる小春日や

新刊紹介

▲恩寵廿年（大連基督教青年會）日本基督教青年會創立五十周年と共に、その歴史過程二十年の記念祝賀會を擧行した大連基督教青年會の記念出版であるが、日露戰爭の恢復後漸く五十にして人類愛の大旗を翳して基石を大連の地にてトしたY・M・C・Aが、今日の隆盛を見るに至つた發展段階を年史的に編纂したもので、基督教青年會の濫觴たるロンドン基督教青年會の創始を述べ、次いで萬國基督教青年會同盟に至り、これが日本に渡來してより大連基督教青年會が生れるに至つた淵源を說き、それより年次に施設的に務展して來つた青年會の趨勢を說き及ぼしてゐる、殊に第六章、青年會の去現及將來の項は大連基督教青年會創立當時より直接その事業に當つた人々の回顧的述懷といつた意義深いものを收めてゐて、一讀この聖事業に對する敬慕の念を抱かしむるがある、本書は今後における青年會の發展が豫想されるだけ一つの記念モニユメントとしての役割の上に光彩燦然たる記録となることを疑はぬ（非賣品、大連市敷島町六七大連基督教青年會發行）

農林省獎勵　わさび栽培

反二千圓になる

最近農林省盛に獎勵してゐる山葵の栽培は一般の農家には未だ知られて居ないが一番安い時でも貫二十圓もするので一反歩も作れば優に二三千圓の利益はある。因にこの事實を知つた長野地方は既に年產額百萬圓以上の利益を上げて居る。こんな利益の多い山葵の栽培は山でも畑でも季節なく一度作れば恰も金鑛を探當てた樣なものでありまする農家にとつては寸時も見逃す事の出來ぬ好副業である。いくら栽培しても需要は無限で販路には少しも心配ない。なほ此栽培法及販路、詳細、知りたい方は

東京・本郷・駒込曙町　不二合名會社　振替東京四九九九二番　宛にハガキで申込ば當局の獎勵に基き著述した「有利な山葵栽培法」といふ美本に種子まで添へて實費一圓也で三百名限り頒本する由。人より一歩先んじて申込あれ!